

福島県

「台風第 19 号等」住民避難行動調査業務 報告書

令和2年8月

株式会社サーベイリサーチセンター

「台風第 19 号等」住民避難行動調査業務

報告書

目次

I 事業概要	1
1-1 事業目的	2
1-2 台風第 19 号等での避難行動に関するアンケート 調査概要	2
1-3 集計と分析における注意事項	2
II 調査結果 まとめ	4
2-1 調査の背景と目的	5
2-2 調査結果概要	5
2-2-1 台風第 19 号又は 10 月 25 日の大雨による被害状況	5
2-2-2 居住地周辺における水害リスク認識	5
2-2-3 情報の入手状況	5
2-2-4 避難状況	7
2-2-5 避難した理由	8
2-2-6 避難しなかった理由	9
2-3 避難促進に向けて	10
2-3-1 避難した人、避難しなかった人の特徴	10
2-3-2 避難行動への影響要因	14
2-3-3 避難促進に向けた方策案	18
III 調査結果	20
3-1 回答者属性	21
3-2 調査結果	24
3-2-1 台風第 19 号発生前の水害や避難に対する考えについて	24
3-2-2 台風第 19 号の雨が降る前の行動について	44
3-2-3 台風第 19 号の雨が降りだしてからの行動について	50
3-2-4 10 月 25 日の大雨時の行動について	74
3-2-5 台風第 19 号および 10 月 25 日の大雨による被害について	88
3-2-6 その他	91
IV 参考資料	95
4-1 アンケート調査票	96

I 事業概要

1-1 事業目的

台風第19号等で被害を受けた世帯を対象として、「台風第19号等での避難行動に関するアンケート」を実施することとした。

この調査は、台風第19号が上陸した令和元年10月12日（土）～13日（日）と、大雨被害が発生した令和元年10月25日（金）～26日（土）に、被災者が防災情報をどのように入手し、それに基づき、どのような行動をとったのか、また、日ごろ地域の危険性等についてどのように認識されていたのかなどを調査し、今後の迅速で的確な避難行動に役立てていただくことを目的とする。

1-2 台風第19号等での避難行動に関するアンケート 調査概要

- (1) 調査対象 福島13市町において令和元年台風19号および10月25日の豪雨による被害を受けた世帯主
- (2) 調査手法 郵送にて配布・回収（自記式）
- (3) 調査期間 令和2年2月28日（金）～3月23日（月）
- (4) 調査主体 福島県
- (5) 回収数/回収率 7,123件/53.9%

	町村名	母集団数	母集団に占める割合	悉皆/抽出	抽出率	調査対象数	母集団における自治体構成比を乗じた回収数(A)	回収数(B)	調査対象数に対する回収率	回収総数に対する回収率	ウェイト値
1	福島市	673	3.32%	悉皆	100%	673	236	394	58.54%	5.53%	0.60
2	郡山市	7,689	37.91%	抽出	25%	1,922	2,700	958	49.84%	13.45%	2.82
3	いわき市	5,355	26.40%	悉皆	100%	5,355	1,881	2,724	50.87%	38.24%	0.69
4	須賀川市	1,619	7.98%	抽出	75%	1,214	569	641	52.80%	9.00%	0.89
5	相馬市	1,516	7.47%	抽出	75%	1,137	532	567	49.87%	7.96%	0.94
6	二本松市	121	0.60%	悉皆	100%	121	42	83	68.60%	1.17%	0.51
7	田村市	149	0.73%	悉皆	100%	149	52	89	59.73%	1.25%	0.59
8	南相馬市	367	1.81%	悉皆	100%	367	129	206	56.13%	2.89%	0.63
9	伊達市	998	4.92%	抽出	75%	749	351	497	66.36%	6.98%	0.71
10	本宮市	1,011	4.98%	抽出	75%	755	355	465	61.59%	6.53%	0.76
11	川俣町	139	0.69%	悉皆	100%	139	49	83	59.71%	1.17%	0.59
12	塙町	106	0.52%	悉皆	100%	106	37	61	57.55%	0.86%	0.61
13	石川町	538	2.65%	悉皆	100%	538	189	355	65.99%	4.98%	0.53
		20,281	100.00%			13,225	7,123	7,123		100.00%	

1-3 集計と分析における注意事項

- ・回答比率（%）は、小数第2位を四捨五入して、小数第1位までを表示している。このため、回答比率の合計が100%にならないことがある。
- ・2つ以上の複数回答ができる設問では、回答比率は原則として100%を超える。
- ・本アンケート調査の標本抽出率は自治体によって異なり、本アンケートで回収されたサンプルの自治体構成比も、母集団（被害を受けた世帯）の自治体構成比と異なる。このため、全体の結果については、回収さ

れたサンプルの自治体構成比を母集団（被害を受けた世帯）の自治体構成比に補正した上で算出する、ウェイトバック集計を実施している。具体的には、母集団（被害を受けた世帯）内における自治体構成比に本アンケート調査の回収総数を乗じて算出した自治体毎の本来あるべき回収数（A）と、本アンケートで回収されたサンプルの自治体毎の回収数（B）から、自治体別にウェイト値を算出の上（A/B）、当該サンプルが属する自治体のウェイト値をサンプル毎に付与し、各設問におけるそれぞれの回答数にウェイト値を乗じた集計を行っている。

- 自治体別の集計結果については、自治体ごとの有効回答数に基づいた集計結果を掲載している。

II 調査結果 まとめ

2-1 調査の背景と目的

本調査は、台風第19号が上陸した令和元年10月12日（土）～13日（日）及び大雨被害が発生した令和元年10月25日（金）～26日（土）に、被災した県民が防災情報をどのように入手し、それに基づき、どのような行動をとったのか、また、日ごろ地域の危険性等についてどのように認識されていたのかなどを調査し、今後の迅速で的確な避難行動に役立てていただくために実施したものである。

調査対象者は福島県内の13市町に居住し、台風第19号及び令和元年10月25日大雨において被災した世帯である。自治体によって調査対象者の抽出率が異なることから、調査対象自治体を全体とした場合の全体的な傾向を把握するため、集計結果については、自治体別集計を除き、推計を行っている。以下、調査結果のとりまとめにあたっては、推計結果をもとに記載する。

2-2 調査結果概要

ここでは全体の推計結果をもとに、日ごろ地域の危険性認識、被災世帯の防災情報入手状況、避難状況等について概観する。

2-2-1 台風第19号又は10月25日の大雨による被害状況

台風第19号又は10月25日の大雨において、浸水によって自宅が何かしらの被害を受けた人（問44）は86.2%、土砂災害によって自宅が何かしらの被害を受けた人は44.2%である。自宅の被害に対して役所から示された「罹災証明の判定内容」（問45）をみると、88.7%が「一部損壊以上」の判定を受けている。

2-2-2 居住地周辺における水害リスク認識

台風第19号発生以前における住まいの地域で洪水・浸水などの水害発生に対する認識（問9）をみると、水害が「近いうちに起きそうだと思っていた」人は16.7%であり、「ここ10年くらいの間に起きそうだと思っていた」人を合わせても、住まいの地域で水害が起きる可能性を考えていた人は25.4%と、4人に1人の割合にとどまる。

また、台風第19号が上陸した10月12日、雨が降る前の台風第19号に対する認識（問16）をみると、「たいした被害はないと思った」（33.6%）、「水害が起きるとしても過去に経験した範囲に収まるだろうと考えていた」（47.0%）など楽観的で、「被害が出そうなので、台風の影響が強まる前に避難が必要と考えていた」（12.4%）人は1割程度であり、多くの人にとって想定していなかった被害であったということがうかがえる。

2-2-3 情報の入手状況

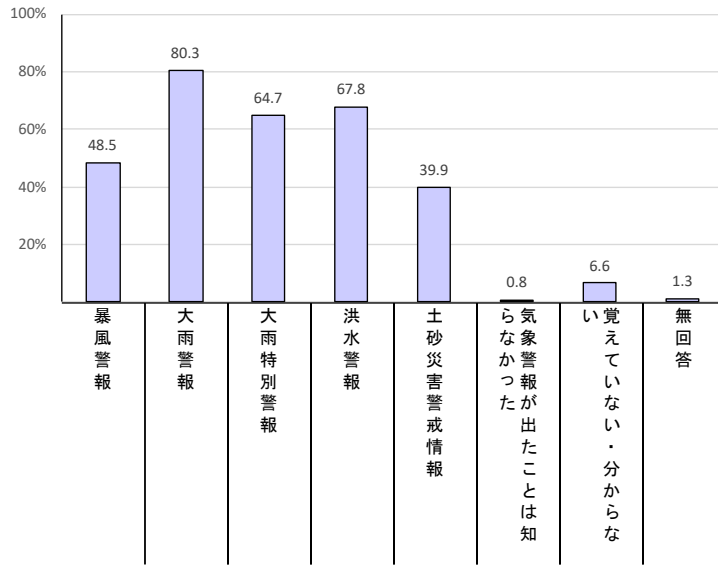
台風第19号に伴い発表された、何かしらの気象警報を見聞きした人（問19（1））は91.3%である。また、何かしらの避難情報を見聞きした人（問20（1））は、80.5%を占めており、台風19号の際、大半の人は気象警報や避難情報を入手していたと考えられる。

情報の主な入手源についてみると、雨が降り出す前の台風第19号に関する情報の入手源（問17）、雨が降り出してから気象警報の入手源（問19（2））においては8割以上、避難情報の入手源（問20（2））においては6割以上で「テレビ」が最も高いが、そのほかにも様々な媒体を通じて情報を入手していたことがわかる。

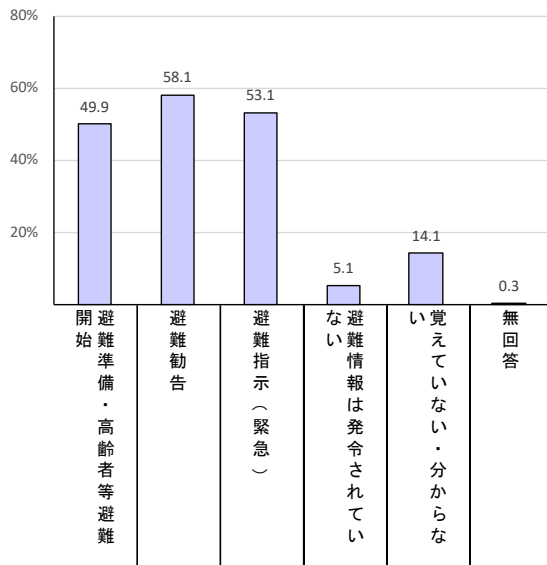
入手源としてテレビに次いで高いのは、問17、問19（2）、問20（2）のいずれにおいても「市町村が発信する防災メール（エリアメール）」であり、特に避難情報入手（問20（2））では4割以上と高い。旧来型の「防災行政無線（屋外スピーカー）」、「戸別受信機（自治体が貸与する防災ラジオを含む）」の

割合と比べても、情報入手源として有効であったことが示唆される。

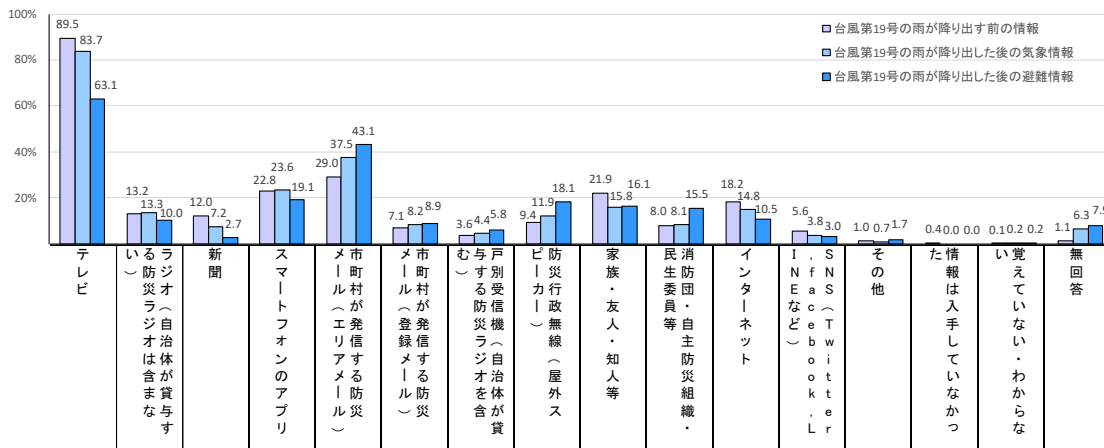
【入手した気象情報（問 19（1））】



【入手した避難情報（問 20（1））】



【情報の入手源（問 17,19,20）】

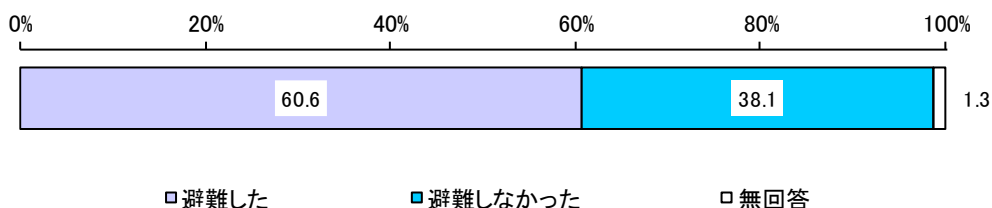


2-2-4 避難状況

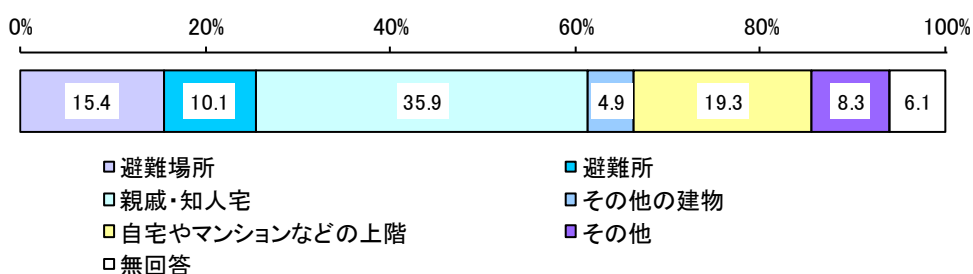
台風第19号上陸の際の、自宅が被災する前の避難状況（問21）は「避難した」人が60.6%となっている。最終的に避難した先（問22）は「親戚・知人宅」が最も高く35.9%、次いで「自宅やマンションなどの上階」が19.3%、「避難場所」が15.4%となっている。

問21 避難有無と問22 最終的な避難先の回答結果から避難行動を分類すると、《水平避難》（問22で「避難場所」「避難所」「親戚・知人宅」「その他の建物」「その他」）が45.2%、《垂直避難》が11.7%、《避難しなかった》が38.1%であった（なお、問22で最終的な避難先が回答ないサンプルはここでは無回答扱い）。

【台風第19号上陸時の避難の有無（問21）】



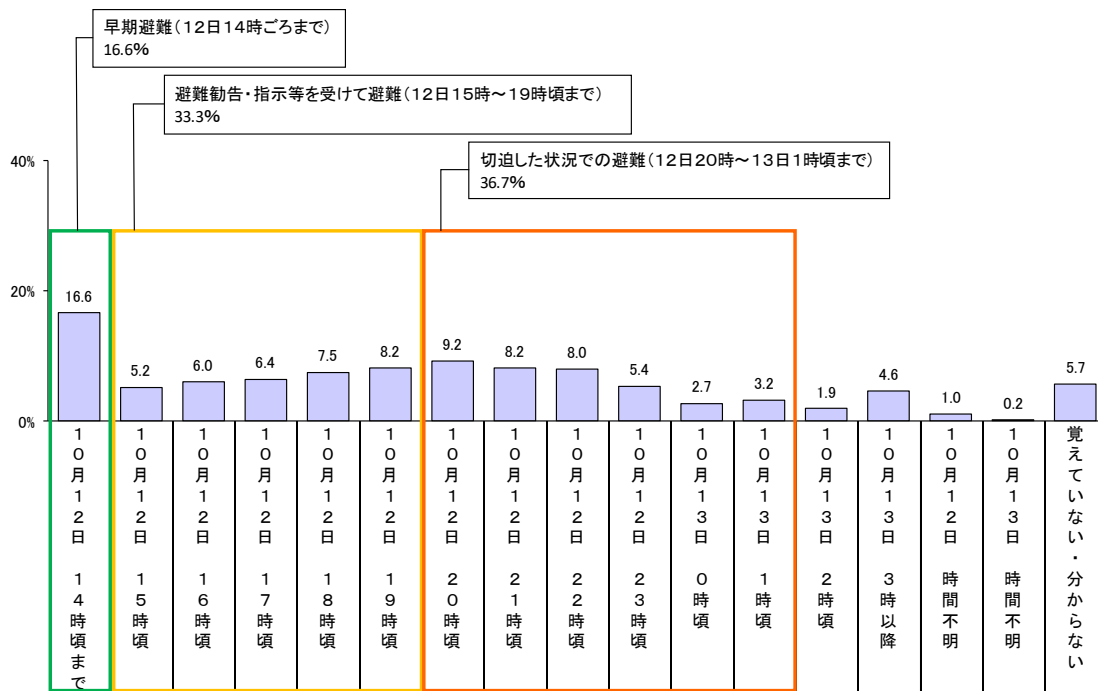
【台風第19号上陸時の最終的な避難先（問22）】



台風第19号で大雨警報が発表されたのは14時9分である。以降各地で次第に雨は強まり、自治体にもよるが15時～18時頃には避難勧告が、それ以降に避難指示が発令、さらに19時50分から22時にかけて大雨特別警報が発表されている。雨は日付が変わった13日2時ころになると各地で弱まり、4時～5時頃には、今回の調査対象自治体では雨はやんでいる。

避難開始時刻をみると、大雨警報発表前であり比較的雨が強まる前の12日14時頃までの早い段階で避難を開始した人はおよそ1割半ば、避難勧告や避難指示が発令されていた12日夕方から19時頃までに避難を開始した人はおよそ3割半ば、暗くなりすでに災害が発生している可能性が高い、大雨特別警報が発表され強い雨が降り続いていた12日20時頃から13日1時頃の間避難を開始した人はおよそ3割半ばとなっている。

【避難開始時刻（問 24）】

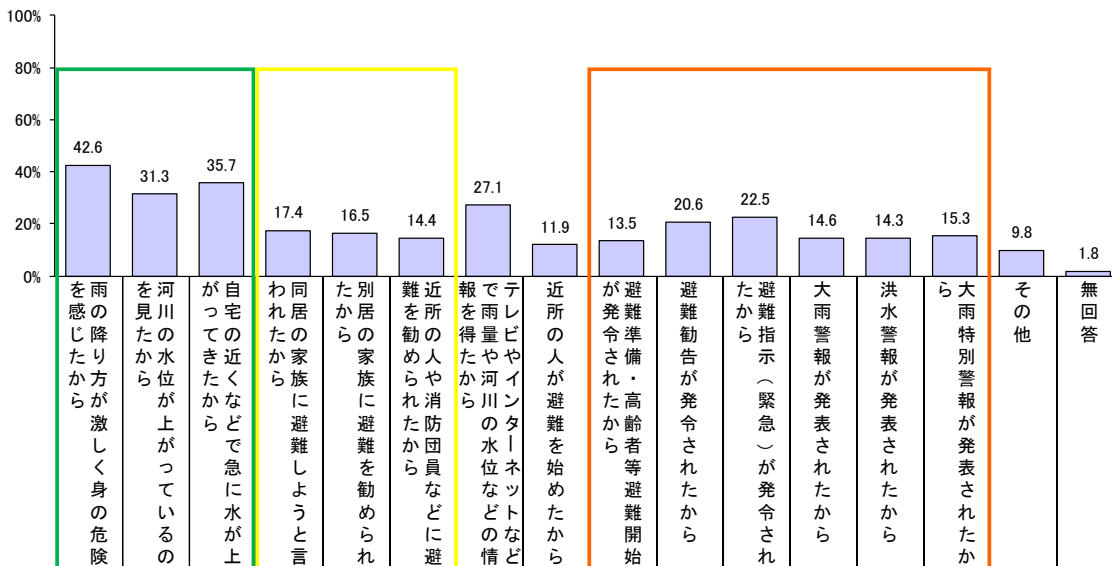


2-2-5 避難した理由

台風第19号上陸の際に自宅が被災する前に避難した理由（問23）をみると、「雨の降り方が激しく身の危険を感じたから」（42.6%）、「自宅の近くなどで急に水が上がってきたから」（35.7%）、「河川の水位が上がっているのを見たから」（31.3%）が避難開始の理由として高い。

一方、「大雨特別警報が発表されたから」（15.3%）など気象警報は1割台、「避難指示（緊急）が発令されたから」（22.5%）といった避難情報は1~2割程度、「同居の家族に避難しようと言われたから」（17.4%）など人からの呼びかけも1割台と、「雨」や「水」の状況に比べて避難の理由に挙げた人は少ない。

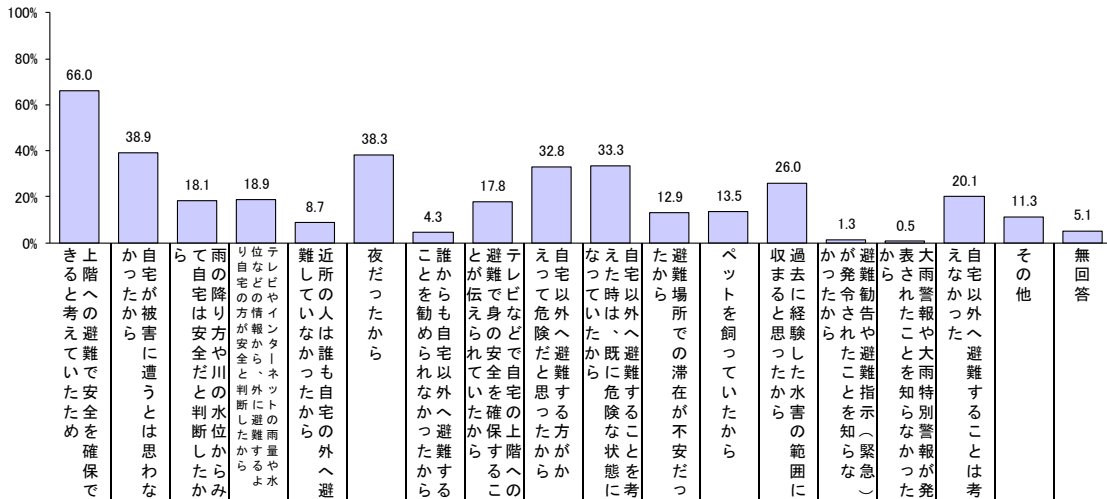
【避難した理由（問 23）】



避難にも自宅を立ち退いて避難した場合と、「自宅やマンションのなどの上階」に避難した場合の2通

りがある。このうちの後者、すなわち《垂直避難》を選択した理由（問 28）をみると、いざとなれば「上階への避難で安全を確保できると考えていたため」（66.0%）であり、そもそも「自宅が被害に遭うとは思わなかったから」（38.9%）と考えた人も多かったといえる。その後、「自宅の近くなどで急に水が上がってきたから」（問 23/67.6%）身の危険を感じ、もともとの想定通り「自宅やマンションの上階」に避難を開始した人が多かった。自宅やマンション以外へ避難しなかった理由（問 28）をみると、「夜だったから」（38.3%）や「自宅以外へ避難することを考えたときには、既に危険な状態になっていたから」（33.3%）が高いことから、《水平避難》するには雨の状況や時間帯から危険な状況になっており、自宅において《垂直避難》が適切に実施されたこともうかがえる。

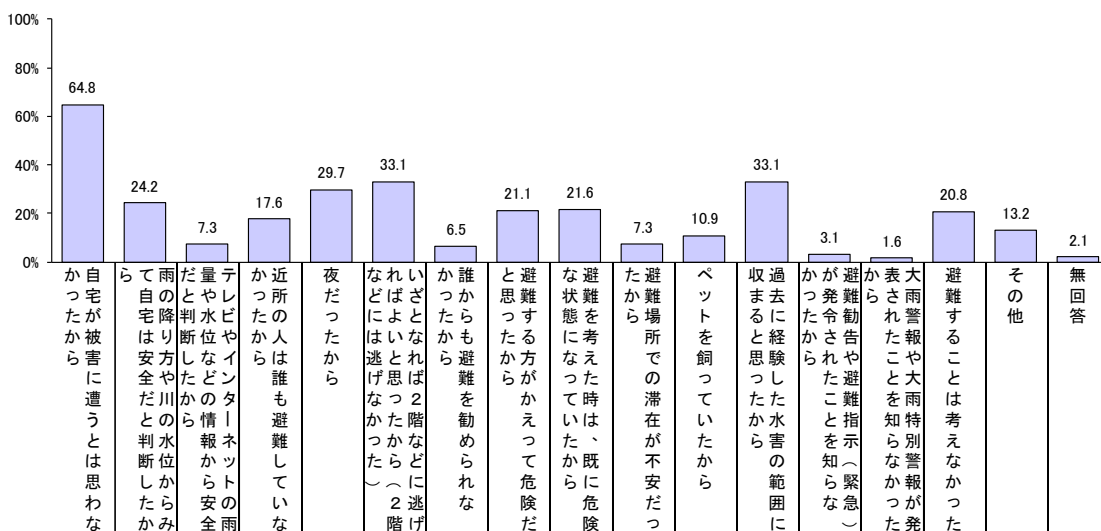
【自宅やマンション以外へ避難しなかった理由（問 28）】



2-2-6 避難しなかった理由

自宅が被災する前に避難しなかった理由（問 29）は「自宅が被害に遭うとは思わなかったから」が 64.8%と最も高く、次いで「いざとなれば2階などに逃げればよいと思ったから（2階などには逃げなかった）」、「過去に経験した水害の範囲に収まると思ったから」がともに 33.1%となっている。

【避難しなかった理由（問 29）】



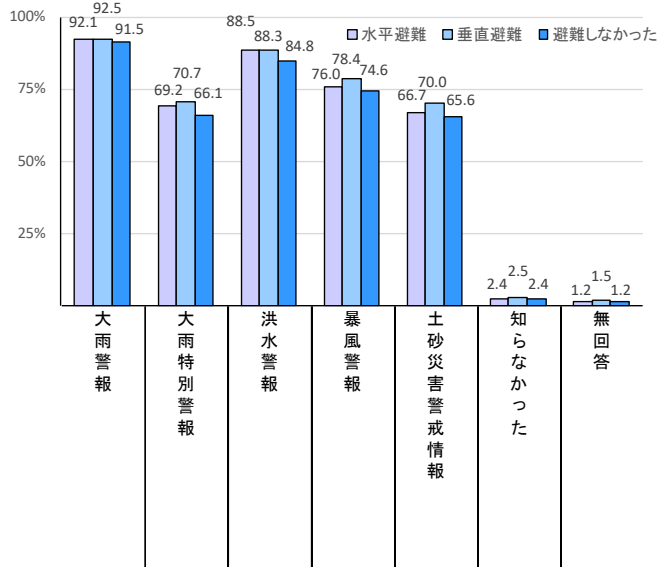
2-3 避難促進に向けて

2-3-1 自宅が被災する前に避難した人、避難しなかった人の特徴

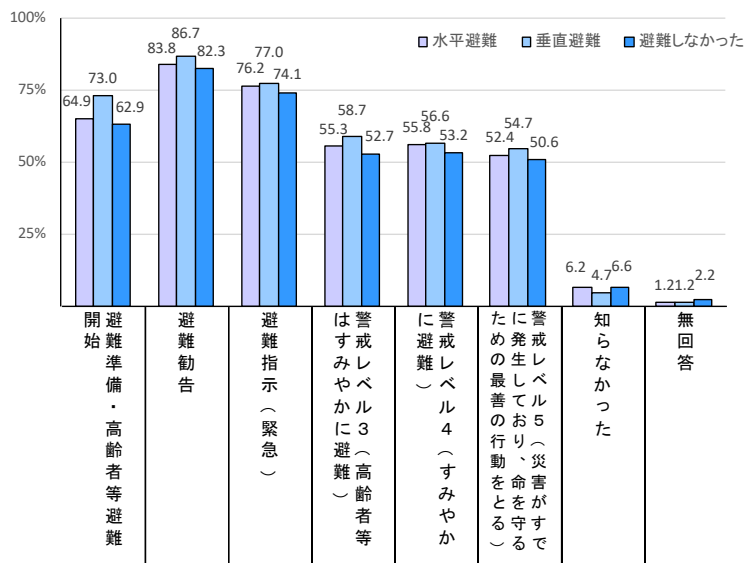
ここでは避難類型ごとの避難行動にかかる特徴を整理する。

気象情報に関する用語の認知状況（問 14 (1)）や避難情報に関する用語の認知状況（問 14 (2)）を避難類型別にみると、《垂直避難》した人では「避難準備・高齢者等避難開始」が《水平避難》した人や《避難しなかった》人に対して 1 割程度高いという差異はあるものの、それ以外の各種情報について、《水平避難》した人、《垂直避難》した人、《避難しなかった》人の間で用語の認知状況に差はみられない。

【気象情報に関する用語の認知状況（問 14 (1)）】



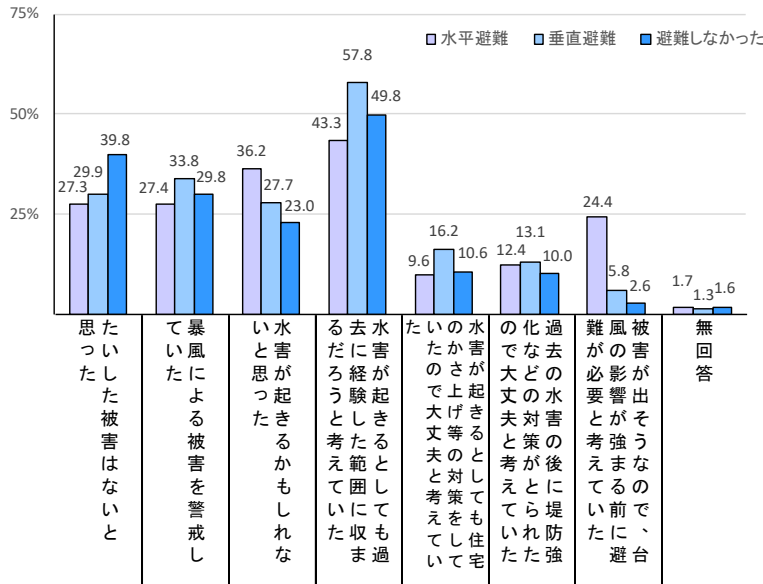
【避難情報に関する用語の認知状況（問 14 (2)）】



雨が降り出す前の台風 19 号に対する認識（問 16）を避難類型別にみると、《水平避難》した人でも「たいした被害はないと思った」が 27.3%、また、「水害が起きるかもしれないと思った」が 36.2%、「水害が起きるとしても過去に経験した範囲に収まるだろうと考えていた」が 43.3%など、雨が降り出

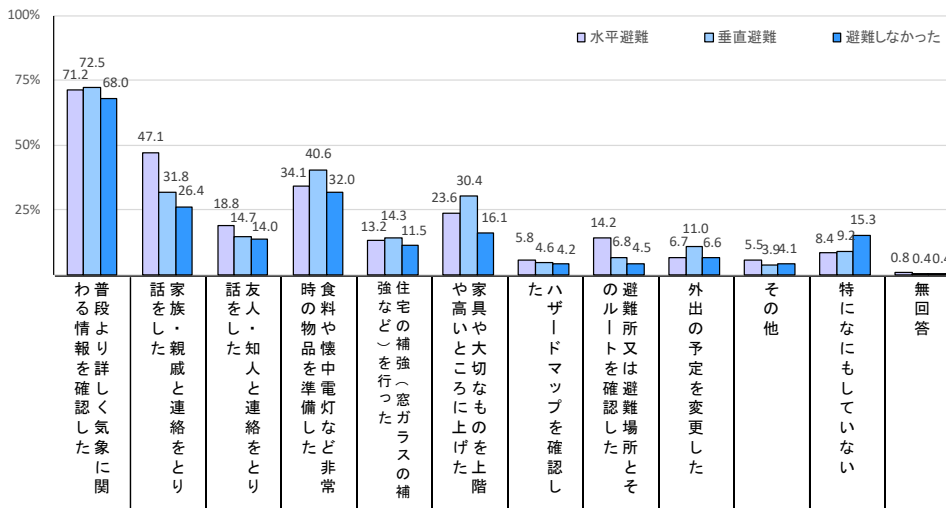
す前の時点での認識では、必ずしも甚大な水害を予想していたわけではない。しかし、「被害が出そうなので、台風の影響が強まる前に避難が必要と考えていた」と考えた人は24.4%で、《垂直避難》した人や避難しなかった人に比べて20ポイント程度高く、あらかじめ危機感を抱いていた人の割合が高かったことがわかる。一方、《垂直避難》をしていた人では「水害が起きるとしても過去に経験した範囲に収まるだろうと考えていた」(57.8%)が高いほか、《避難しなかった》人では「たいした被害はないと思った」(39.8%)と考えていた人の割合が高く、「水害が起きるかもしれないと思った」(23.0%)と考えていた人の割合が低いのが特徴的である。

【雨が降り出す前の台風19号に対する認識（問16）】



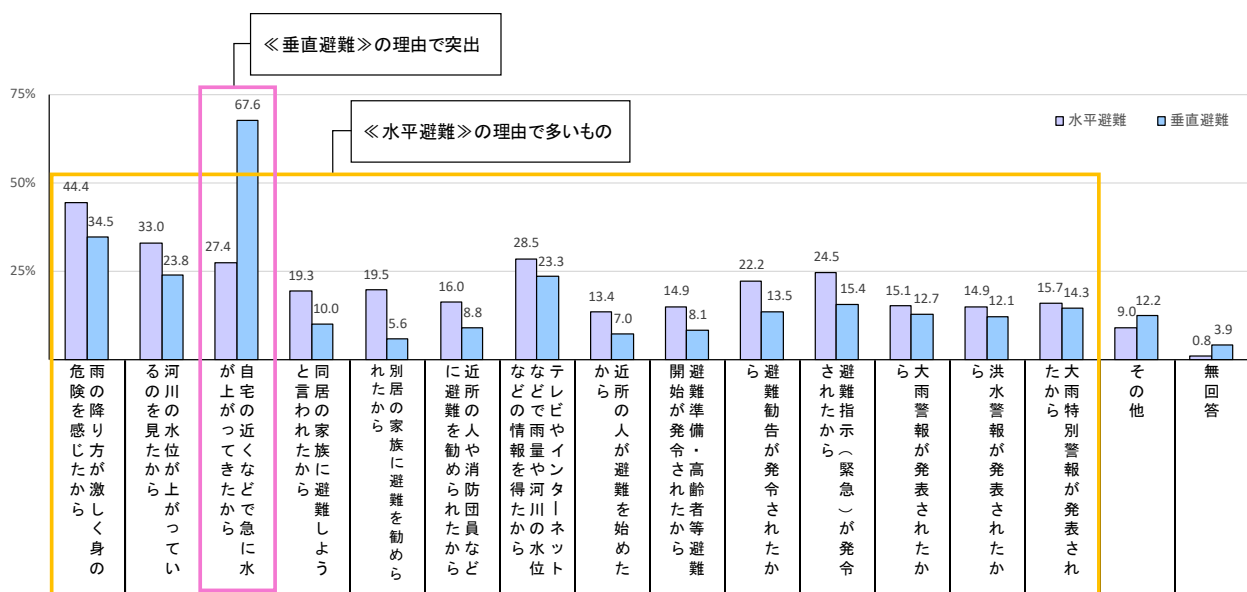
雨が降り出す前の行動（問18）を避難類型別にみると、いずれの避難類型でも、「普段より詳しく気象に関わる情報を確認した」が7割前後であり差はみられない。《水平避難》した人では「家族・親戚と連絡をとり話をした」(47.1%)が半数近くと高いが、避難の相談やどこへ避難するかの連絡などのやり取りをしたケースが多いと考えられる。また、「避難所又は避難場所とそのルートを確認した」が若干高くなっている。《垂直避難》した人では、「食料や懐中電灯など非常時の物品を準備した」(40.6%)、「家具や大切なものを上階や高いところに上げた」(30.4%)人が多い。《避難しなかった》人については他の避難類型と比べて特段高い回答はなく、逆に「家族・親戚と連絡をとり話をした」(26.4%)、「家具や大切なものを上階や高いところに上げた」(16.1%)が低いなど、避難に向けた行動をとった人が少ない傾向にある。

【台風第19号の雨が降り出す前の行動（問18）】

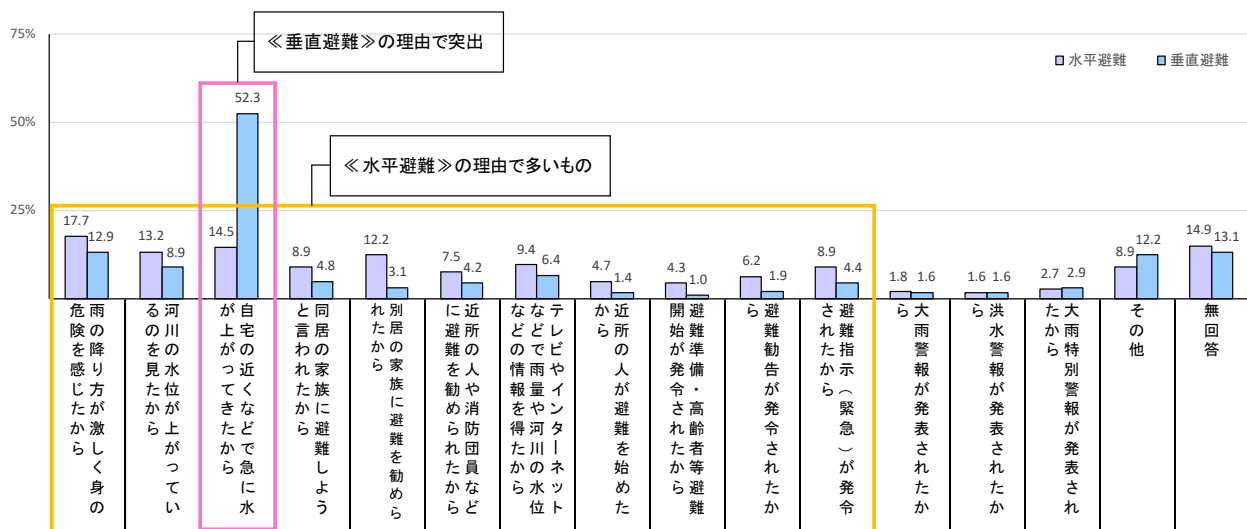


避難した理由（問 23）を避難類型別にみると、《垂直避難》した人では「自宅の近くなどで急に水が上がってきたから」が 67.6%で、《水平避難》した人と比べて 40 ポイント高い。避難する決め手となった理由をみても「自宅の近くなどで急に水が上がってきたから」（52.3%）で突出しており、切迫した状況になってから避難行動を開始したことがうかがわれる。一方、《水平避難した》人では《垂直避難》した人に比べて「雨の降り方が激しく身の危険を感じたから」（44.4%）、「河川の水位が上がっているのを見たから」（33.0%）、「避難指示（緊急）が発令されたから」（24.5%）、「避難勧告が発令されたから」（22.2%）、「同居の家族に避難しようと言われたから」（19.3%）、「別居の家族に避難を勧められたから」（19.5%）が 10 ポイント前後高くなっている。避難する決め手となった理由については突出した理由はなく多様である。なお、《避難しなかった》人の理由（問 29）は 2-2-6 で述べたように、「自宅が被害に遭うとは思わなかったから」「過去に経験した水害の範囲に収まると思ったから」のように台風第 19 号上陸後も、自宅が被害に遭うことは考えない人が多かったことがうかがえる。

【避難した理由（問 23）】



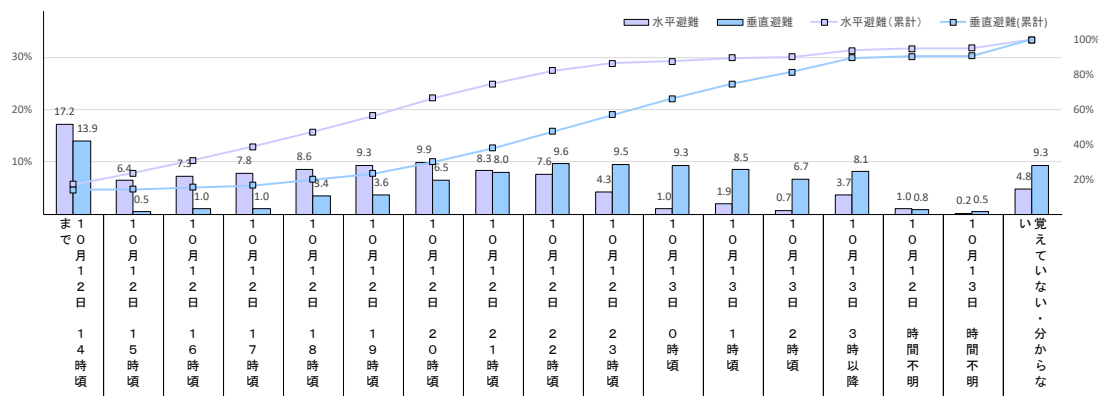
【決め手となった避難した理由（問 23）】



避難開始時刻（問 24）を避難類型別にみると、《水平避難》した人では大雨警報発表前であり比較的

雨が強まる前の12日14時頃までの早い段階で避難を開始した人はおよそ2割、避難勧告や避難指示が発令されていた12日15時頃から19時頃までに避難を開始した人はおよそ4割、暗くなりすでに災害が発生している可能性が高い大雨特別警報が発令された後の12日20時頃から13日1時頃の間避難を開始した人はおよそ3割となっている。一方、《垂直避難》した人では、大雨警報発表前であり比較的雨が強まる前の12日14時頃までの早い段階で避難を開始した人はおよそ1割、避難勧告や避難指示が発令されていた12日15時頃から19時頃までに避難を開始した人はおよそ1割、暗くなりすでに災害が発生している可能性が高い大雨特別警報が発令され強い雨が降り続いていた12日20時頃から13日1時頃の間避難を開始した人はおよそ5割となっている。以上から、《水平避難》した人では比較的早期に避難を開始しているが、《垂直避難》では切迫した状況で避難を開始した人が多いことがわかる。

【避難開始時刻（問24）】



これまで述べてきたことを避難類型ごとに整理すると、以下の通りとなる。

《水平避難》した人の特徴

- ・台風19号の雨が降る前の時点で「被害が出そうなので、台風の影響が強まる前に避難が必要と考えていた」と考える人が比較的多い。
- ・台風19号上陸時、「雨の降り方が激しく身の危険を感じたから」、「河川の水位が上がっているのを見たから」、「避難指示（緊急）が発令されたから」等、避難した理由は多様。
- ・《垂直避難》した人と比較して早い時間帯に避難を開始している傾向。

《垂直避難》した人の特徴

- ・台風19号の雨が降る前の時点では「水害が起きるとしても過去に経験した範囲に収まるだろうと考えていた」と考える人が比較的多い。
- ・台風19号の雨が降る前の行動として、避難の準備をする人は比較的多い
- ・台風19号上陸時、「自宅の近くなどで急に水が上がってきたから」避難した人が突出。
- ・事態が切迫してから避難を開始した人が多い。

《避難しなかった》人の特徴

- ・台風第19号の雨が降る前の時点では「たいした被害はないと思った」と考える人が多い。
- ・台風第19号の雨が降る前の行動として、避難に向けた行動をとった人が少ない傾向。
- ・台風第19号上陸後も自宅が被害に遭うことを考えなかった人が多い。

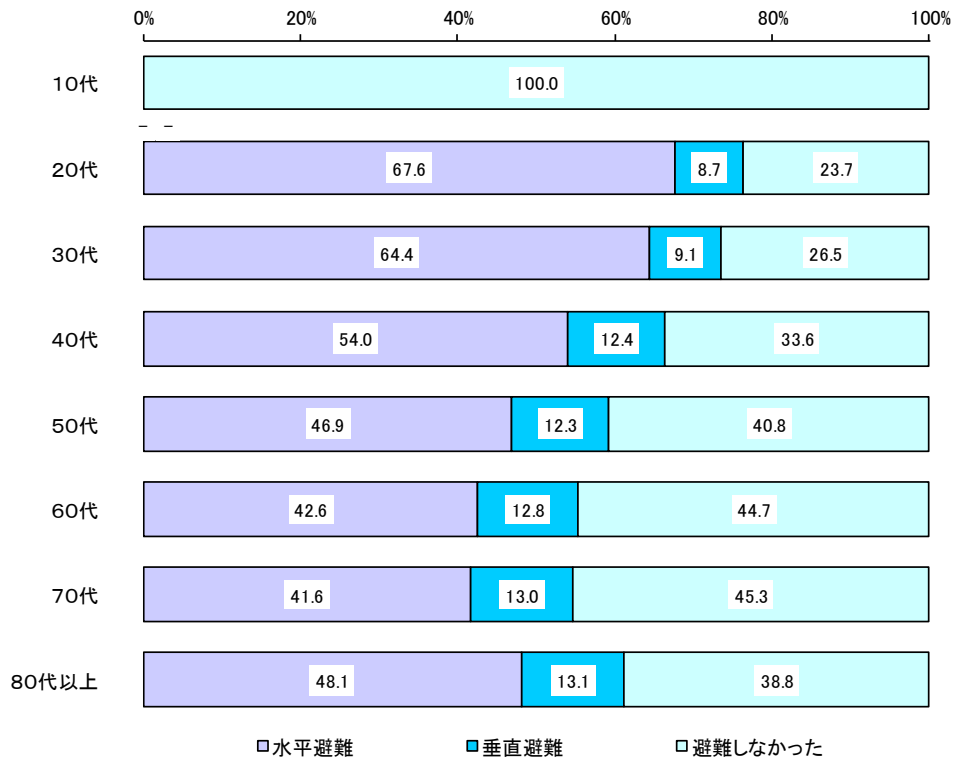
2-3-2 避難行動への影響要因

ここではいくつかのクロス集計の結果をもとに、避難行動に何が影響するのか分析する。

■年代による避難行動への影響（問1）

年齢が低いほど《水平避難》した割合が高い傾向。

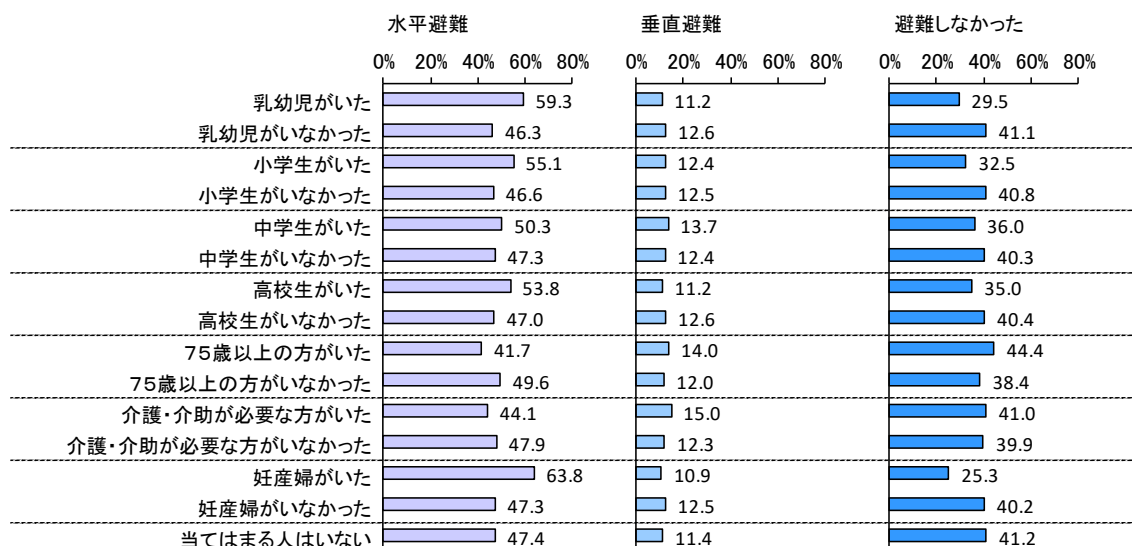
【年代（問1）】



■子どもや要援護者等の有無による避難行動への影響（問3（2））

同居家族の中に妊婦や子ども（特に乳幼児、小学生）がいた場合、《水平避難》した人の割合が高まる傾向がある。75歳以上の方がいる場合、《水平避難》する割合が下がり《避難しなかった》人の割合が高い傾向がある。介護・介助が必要な方がいる場合は避難に特段の影響はみられない。

【同居家族（問3（2））】



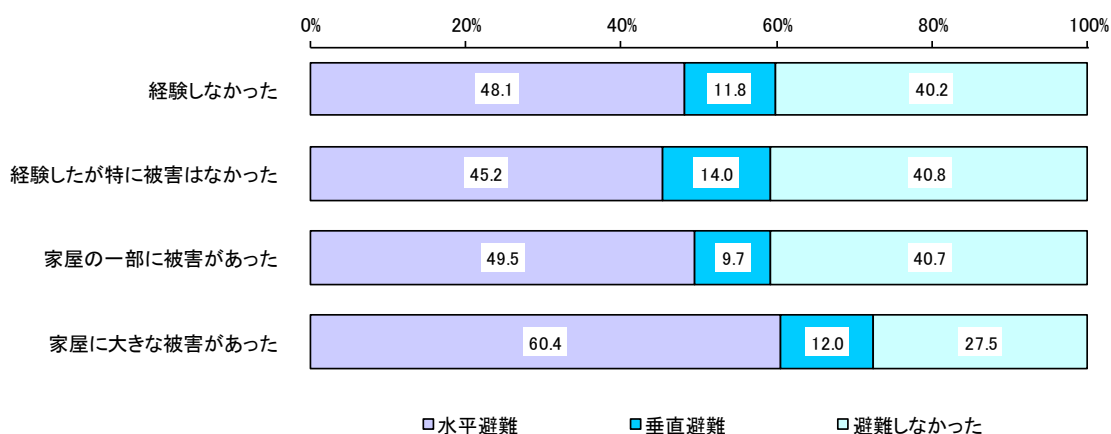
■過去の被害経験による避難行動への影響（問7）

過去の被害（昭和61年8月豪雨（8.5水害）、平成元年台風13号、平成10年8月末豪雨）において「家屋に大きな被害があった」経験がある場合には、台風第19号上陸時に「水平避難」する割合が高まる傾向がある。

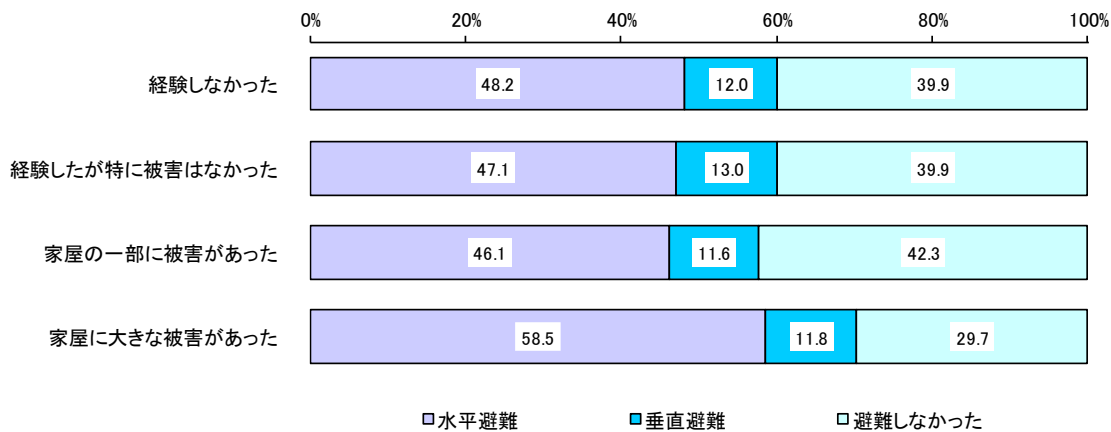
なお、10月25日の大雨において大雨警報が発表され、特に大雨のとなった相馬市、南相馬市、いわき市において避難有無をみると、台風第19号災害経験後も避難した人の割合は増加していない。相馬市、南相馬市では避難類型に傾向の変化はないが、いわき市では台風第19号の時と比較して、10月25日の大雨の際は「水平避難」の割合が増加し、「垂直避難」の割合が減少した。

【過去の被害経験（問7）】

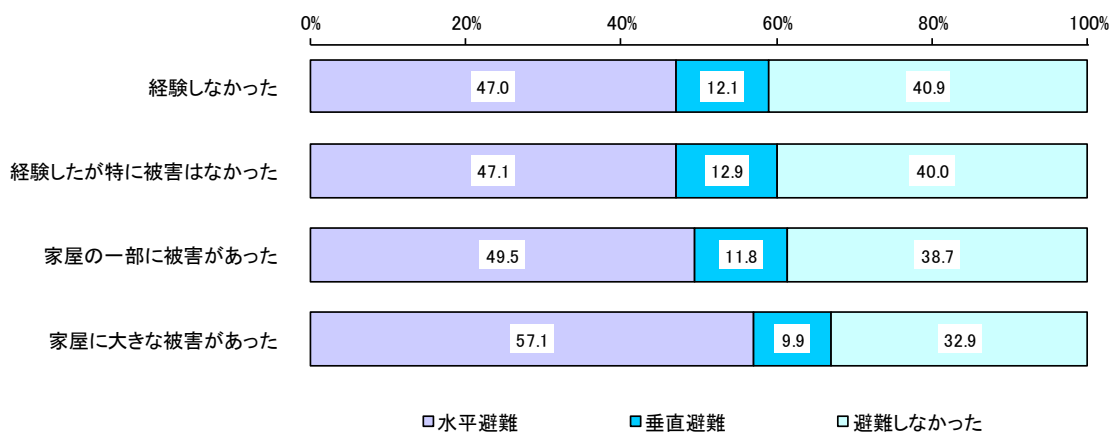
①昭和61年8月豪雨（8.5水害）



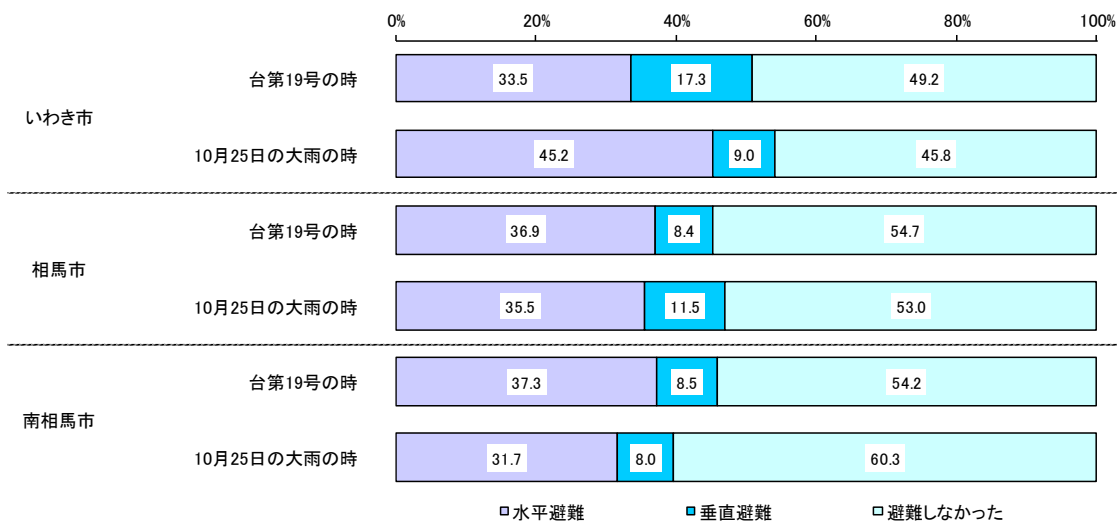
②平成元年台風13号



③平成10年8月末豪雨



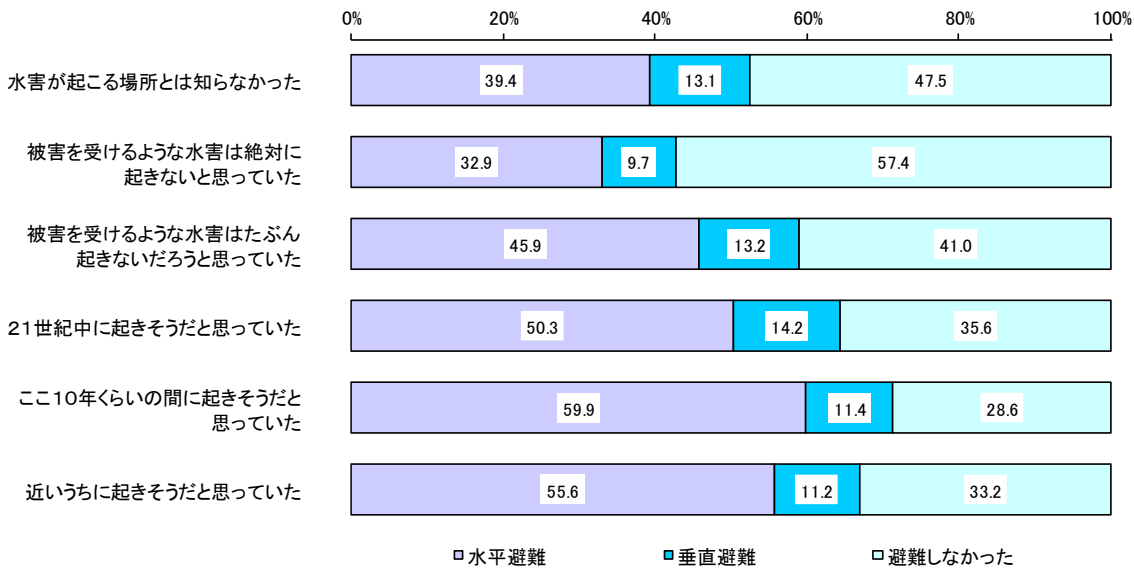
【台風第19号および10月25日の大雨の避難類型（問21,問22,問34,問35）】



■居住地域における水害想定有無による避難行動への影響（問9）

居住地域において洪水・浸水などの水害が発生するか起きることへの危機感が強いほど、「水平避難」する割合が高くなる傾向がある。ただし、「ここ10年くらいの間に起きそうだと思っていた」人や「近いうちに起きそうだと思っていた」人でも一定数「避難しなかった」人は存在する。

【居住地域における水害想定（問9）】

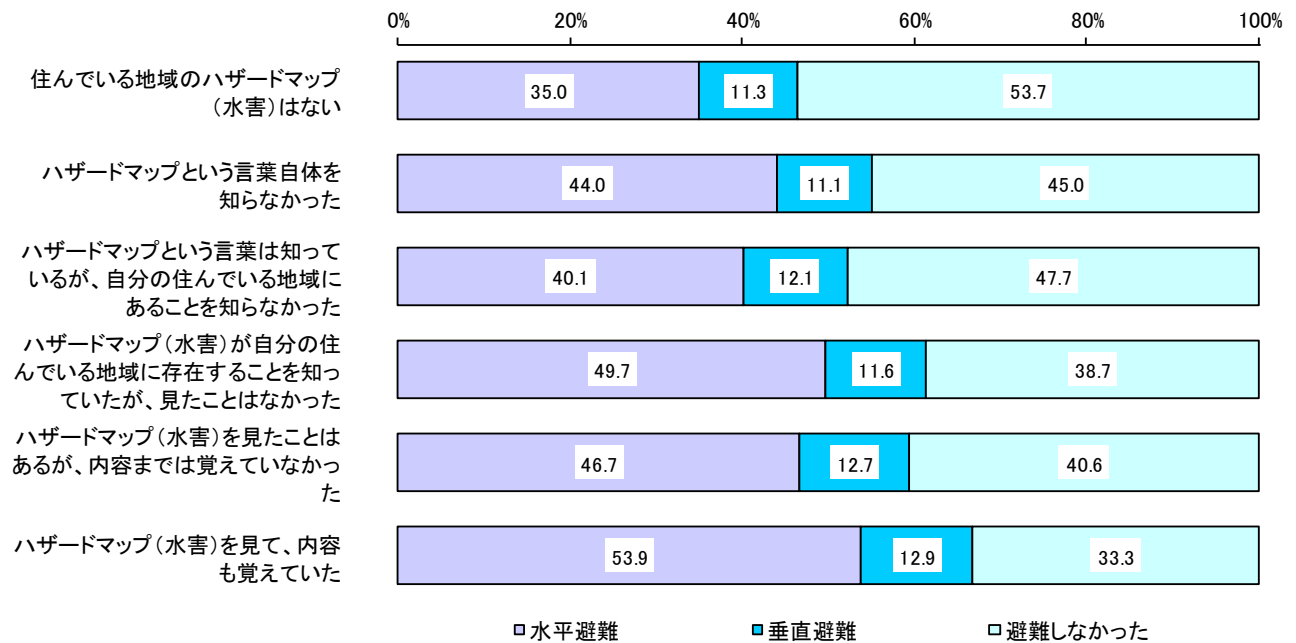


■ハザードマップ（水害）の認知状況による避難行動への影響（問10）

ハザードマップ（水害）の認識、理解度が高いほど、《水平避難》する割合が高い傾向。《垂直避難》した人はハザードマップ（水害）の認識、理解度により傾向の差はみられなかった。

※ただし、本アンケートでは回答世帯がハザードマップ（水害）上で浸水域内なのか域外なのかは把握できないことに留意する必要がある。

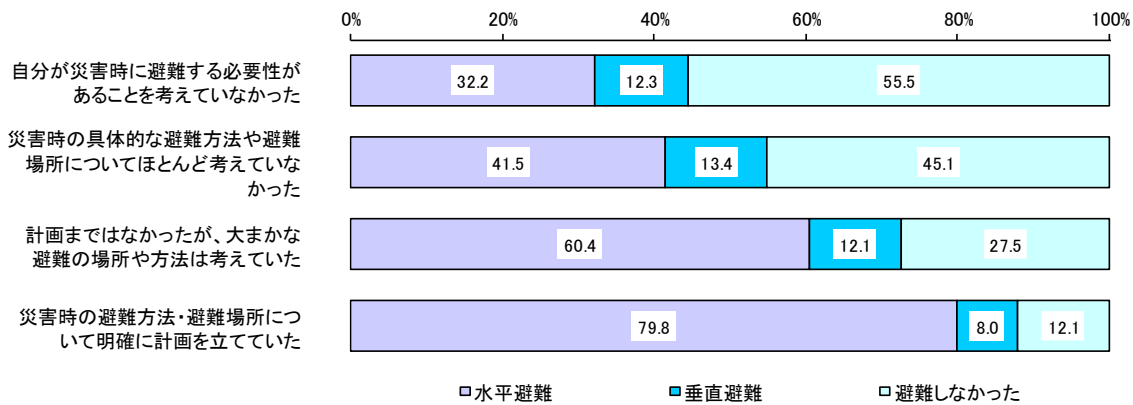
【ハザードマップ（水害）の認知状況（問10）】



■風水害時の避難計画の有無による避難行動への影響（問12）

風水害時の避難計画をより具体的に定めていた人ほど《水平避難》した割合が高く、《避難しなかった》人の割合が低い。

【風水害時の避難計画の有無（問 12）】



2-3-3 避難促進に向けた方策案

以上、アンケートの結果を踏まえて避難促進に向けた方策案を記す。

■居住地域の水害リスクを認識し、いざというときの避難計画を考えておくこと

避難行動を促進するための取り組みを考えるにあたり自宅が被災する前に避難行動を実行した人の特徴をみると、ひとつには居住地域の水害リスクの認識の有無が挙げられる。台風 19 号による被災前の居住地域における水害想定有無（問 9）では水害が起きる可能性が高いと考えていた人は「水平避難」をしていた傾向がある。また、本アンケートでは回答世帯がハザードマップ（水害）上で浸水域内なのか域外なのかは把握できないことに留意する必要があるが、ハザードマップを認識・理解している人では「水平避難」した人が高くなる傾向（問 10）がみられ、居住地域の水害リスクの認知状況が避難に関係していると考えられる。

もう一つは、いざというときの避難計画の有無が関係している。風水害時の避難計画を台風 19 号発生前に立てていたかどうか（問 12）をみると、「計画まではなかったが、大まかな避難の場所や方法は考えていた」で約 7 割、「災害時の避難方法・避難場所について明確に計画を立てていた」で 8 割半ばの人が避難している。また、風水害の避難場所（問 11 (2)）や避難所（問 11 (3)）の場所について認知していた人は「水平避難」行動を起こしやすい傾向がみられることから、より具体的な避難計画が「水平避難」に繋がっていたと考えられる。

一方、台風 19 号又は 10 月 25 日の大雨のうち被害の大きかった方の浸水による被害（問 43）をみると、「流出・全壊した」「床上浸水した（2 階まで浸水）」を合わせても 3.2%にとどまっている。土砂災害に遭った世帯もあるため一概には言えないが、今回の災害では結果的に「垂直避難」が正しい避難のあり方であったケースも多かった可能性がある。

先に述べた居住地域の水害リスクの認知状況、いざというときの避難計画の有無は、本アンケート結果からは特段「垂直避難」との関係性がみられないが、ハザードマップ等での浸水予想を的確に踏まえた「垂直避難」も正しい避難行動の一つの選択肢であることを周知することで、避難促進につながる可能性があると考えられる。

以上、土砂災害の可能性も含め、自身の居住地域において水害に見舞われる可能性があることをしっかり認識し、いざというときの避難計画を立てておくことで、次の水害の際に自身の避難の必要はあるのか、必要な場合はどのように避難すべきなのか判断できるようになり、スムーズな避難行動につながると考えられる。

■避難情報の伝え方の工夫

台風 19 号上陸の際、情報の取得源を年代別にみると、若年層では「スマートフォンのアプリ」「市町村が発信する防災メール（エリアメール）」「インターネット」「SNS（Twitter, facebook, LINE など）」が高く、高年層では「ラジオ（自治体が貸与する防災ラジオは含まない）」「消防

団・自主防災組織・民生委員等」など旧来型の情報源から避難情報を入手している人が一定数いるなど年代によって差はあるものの、大半の人は、「テレビ」や「市町村が発信する防災メール(エリアメール)」を中心に様々な情報源から避難情報を入手していた(問20(2))。

しかし、避難した理由(問23)をみると、「避難勧告」や「避難指示(緊急)」といった「避難情報」をきっかけとした人は少なく、むしろ「雨の降り方が激しく身の危険を感じたから」「河川の水位が上がっているのを見たから」「自宅の近くなどで急に水が上がってきたから」「テレビやインターネットなどで雨量や河川の水位などの情報を得たから」等の「雨」や「水」の状況から身に危険が迫ってきていることを感じ、避難行動を起した傾向がある。また、避難しなかった人に対してどのようなきっかけがあれば避難したか(問31)を尋ねると、「もっと危機感のある避難情報の提供」が4割半ばと高いことから、情報によって避難の促進を図るために、より危機感や切迫感を感じることでできる情報のあり方、出し方を検討することが重要と思われる。

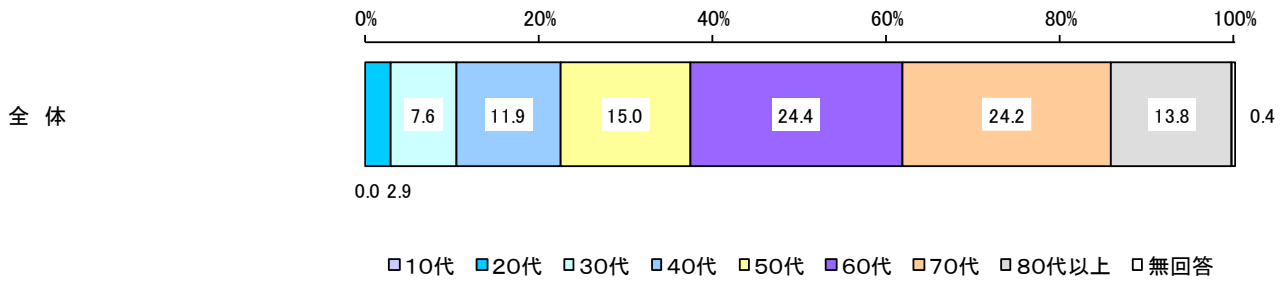
具体的には、

- ・問14(2)において警戒レベルの認知度が半数程度であることや避難情報よりも「雨」や「水」の状況が避難のきっかけとなっていることから、「避難勧告」や「避難指示(緊急)」等避難情報や気象警報の、警戒レベルとの紐づけを含めた避難情報の意味合いの浸透と切迫感のある呼びかけ内容の検討
- ・テレビやインターネットなどによる雨量や河川の水位などの情報の充実(危険度分布だけでなく、居住地域付近の河川の様子映像など)
- ・問31で「役場職員や消防団員等からの呼びかけ」が3割半ば、「役所等の広報車の呼びかけ」がおおよそ3割と高いことから、行政や消防団等の組織からのダイレクトな呼びかけといったことが考えられる。

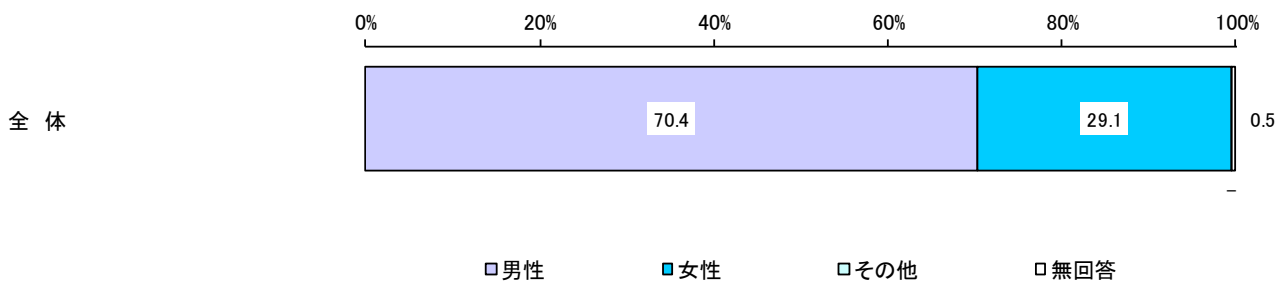
III 調査結果

3-1 回答者属性

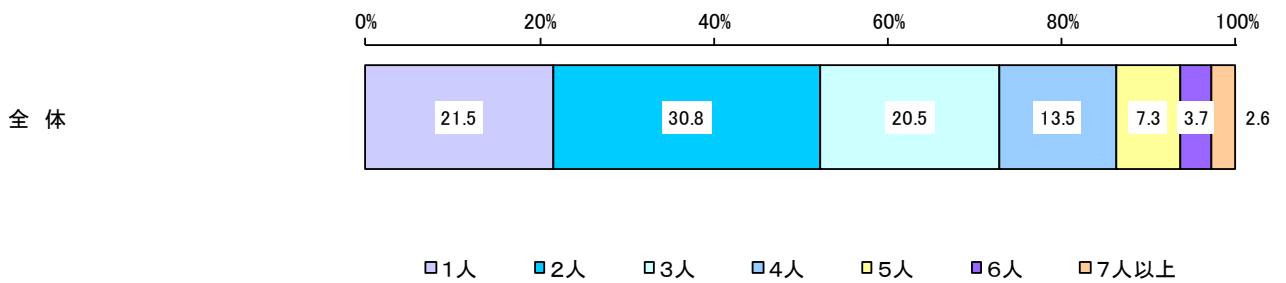
【年齢（問1）】



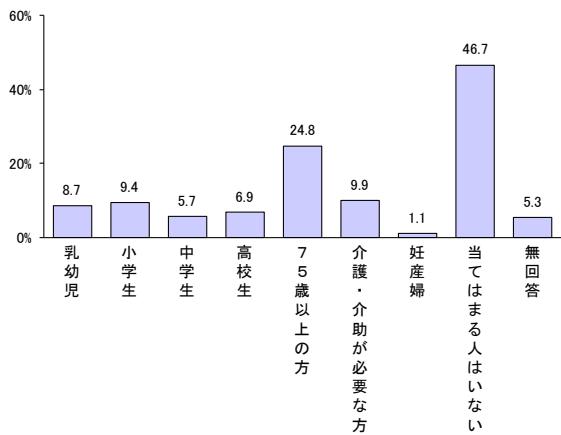
【性別（問2）】



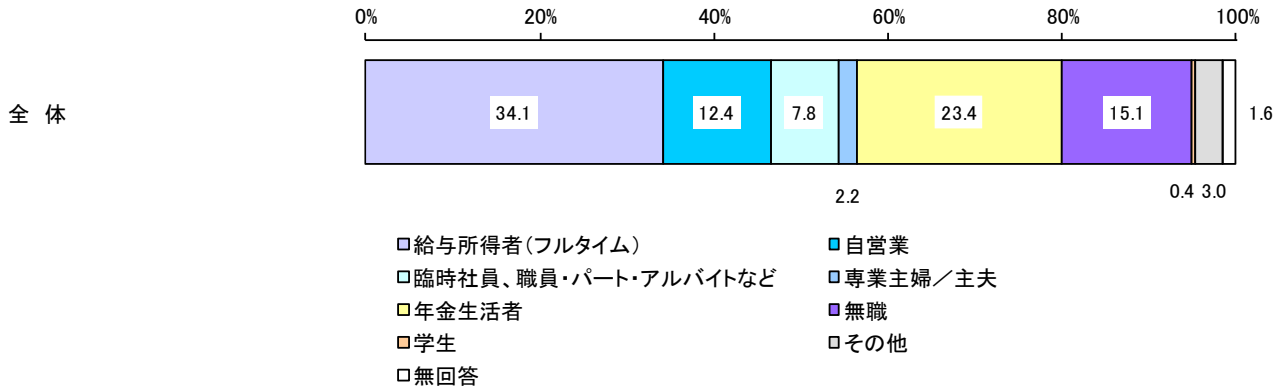
【同居家族人数（問3（1））】



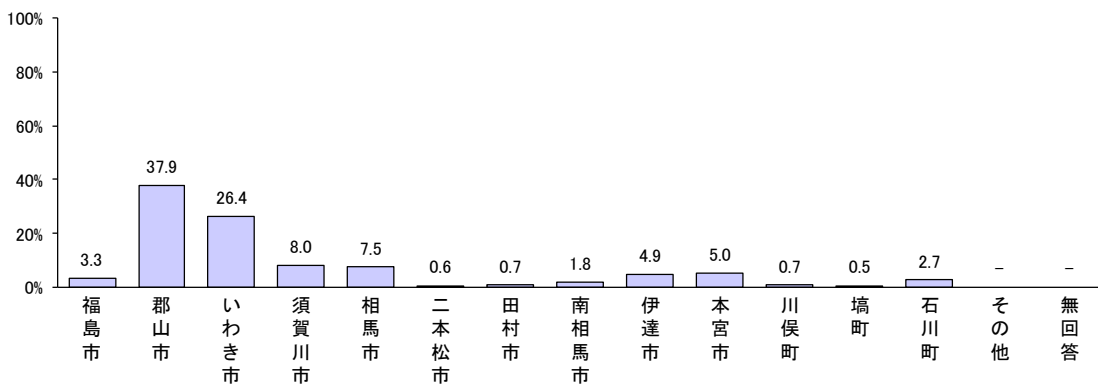
【同居している家族（問3（2））】



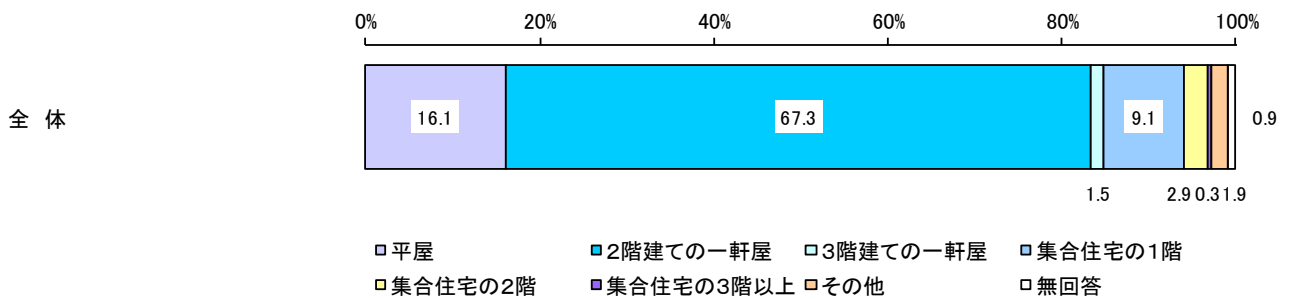
【職業（問4）】



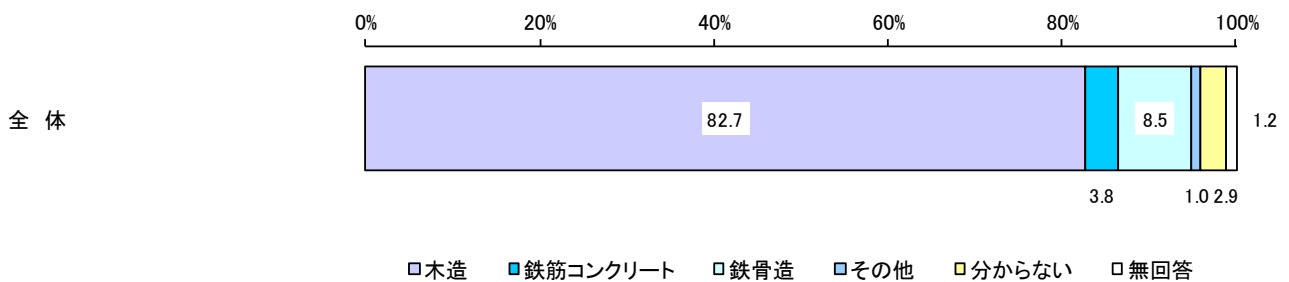
【居住地域（問5（1））】



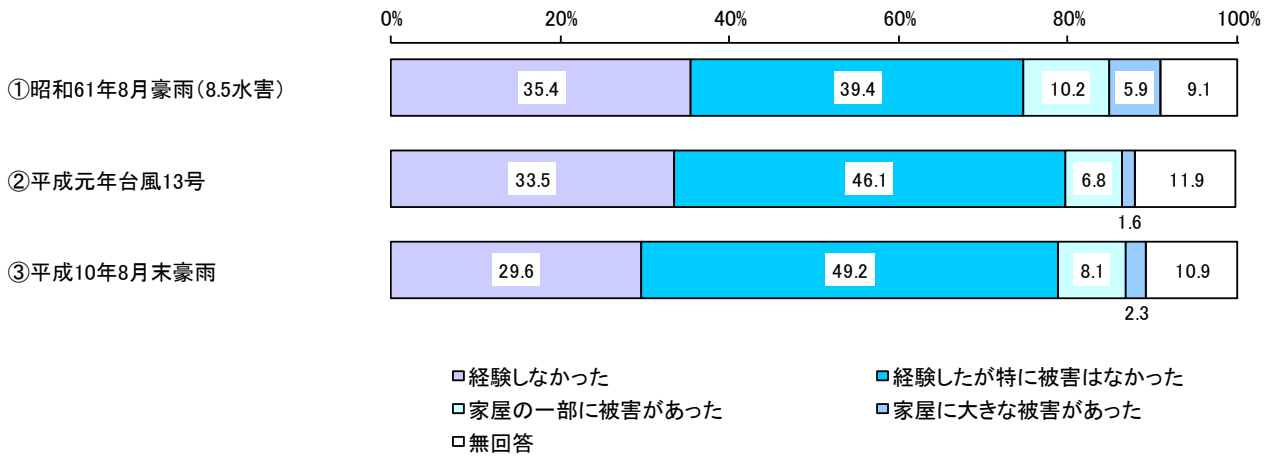
【自宅の形状・階層（問6（1））】



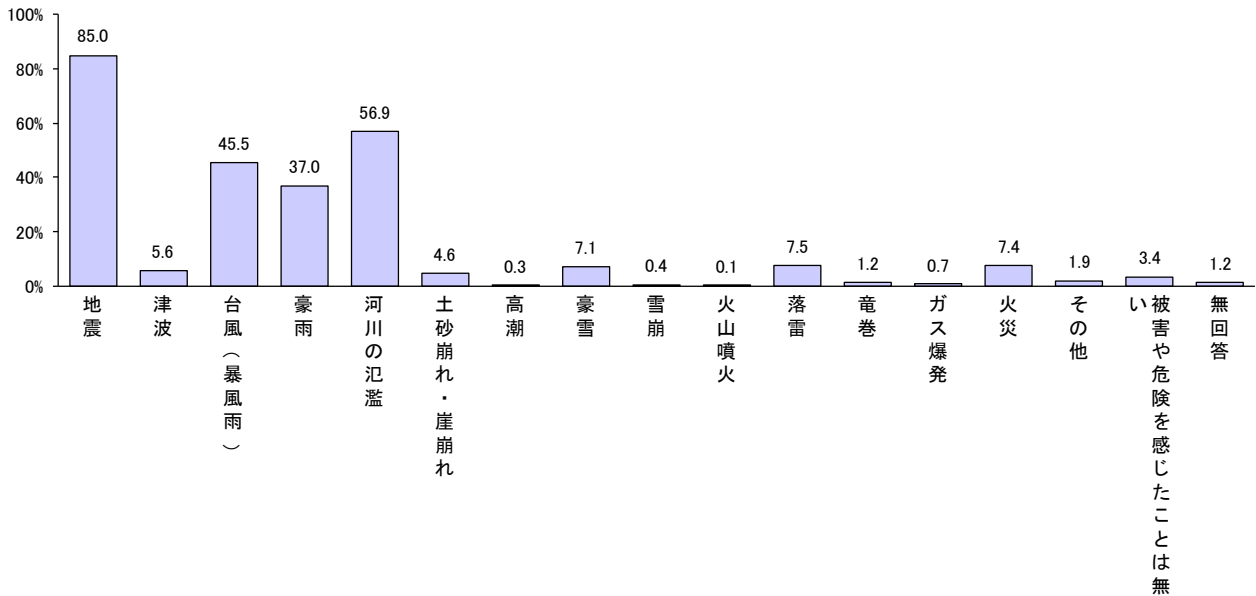
【自宅の構造（問6（2））】



【過去に経験したことがある災害（問7）】



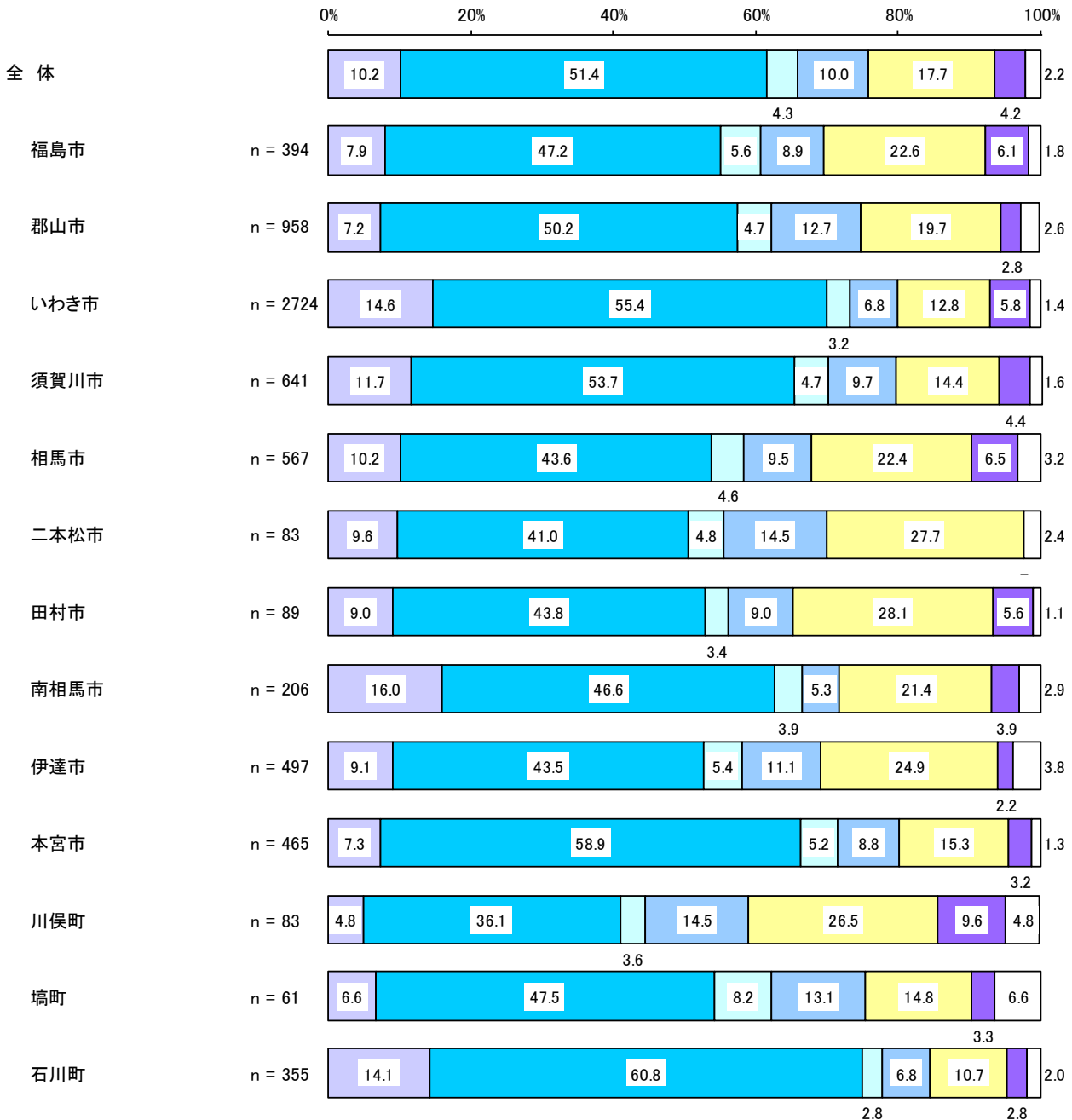
【被害を受けたり危険を感じたことのある災害（問8）】



3-2 調査結果

3-2-1 台風第19号発生前の水害や避難に対する考えについて

問9. 台風第19号発生前、あなたがお住まいの地域で洪水・浸水などの水害が発生すると思っていましたか。(○は1つ)



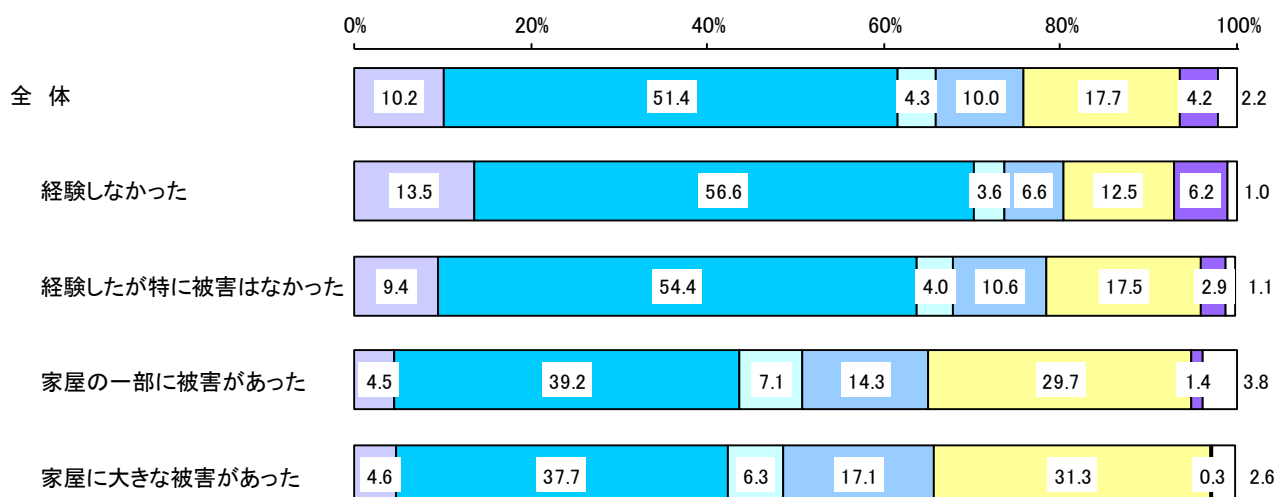
- 被害を受けるような水害は絶対に起きないと思っていた
- 被害を受けるような水害はたぶん起きないだろうと思っていた
- 21世紀中に起きそうだと思っていた
- ここ10年くらいに起きそうだと思っていた
- 近いうちに起きそうだと思っていた
- 水害が起る場所とは知らなかった
- 無回答

洪水・浸水などの水害が発生すると思っていたかどうかについては「被害を受けるような水害はたぶん起きないだろうと思っていた」が51.4%と最も高く、次いで「近いうちに起きそうだと思っていた」が17.7%、「被害を受けるような水害は絶対に起きないと思っていた」が10.2%となっている。

市町別にみると、「被害を受けるような水害はたぶん起きないだろうと思っていた」がいわき市、本宮市で55%以上、石川町で60%以上と全体に比べ高い。

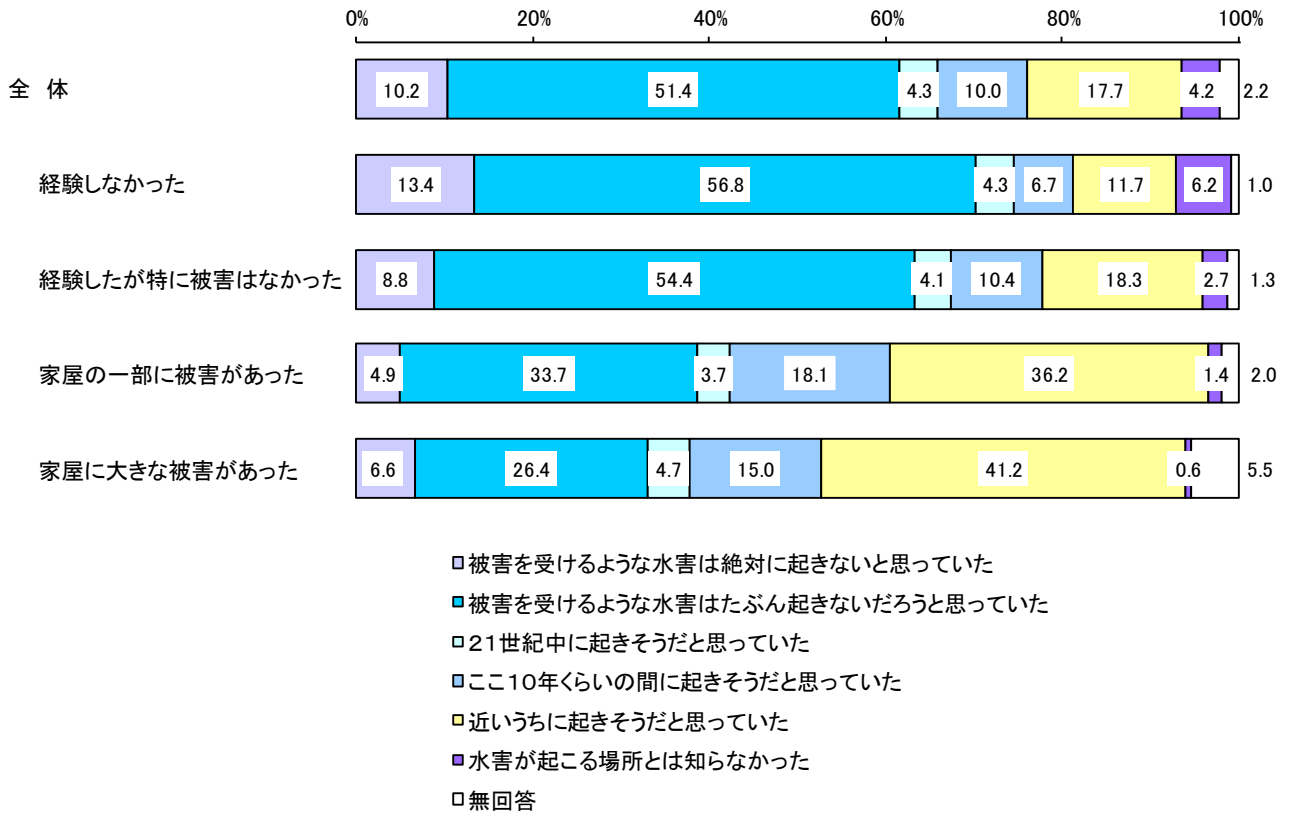
【過去に経験したことがある災害別（問7）】

①昭和61年8月豪雨（8.5水害）

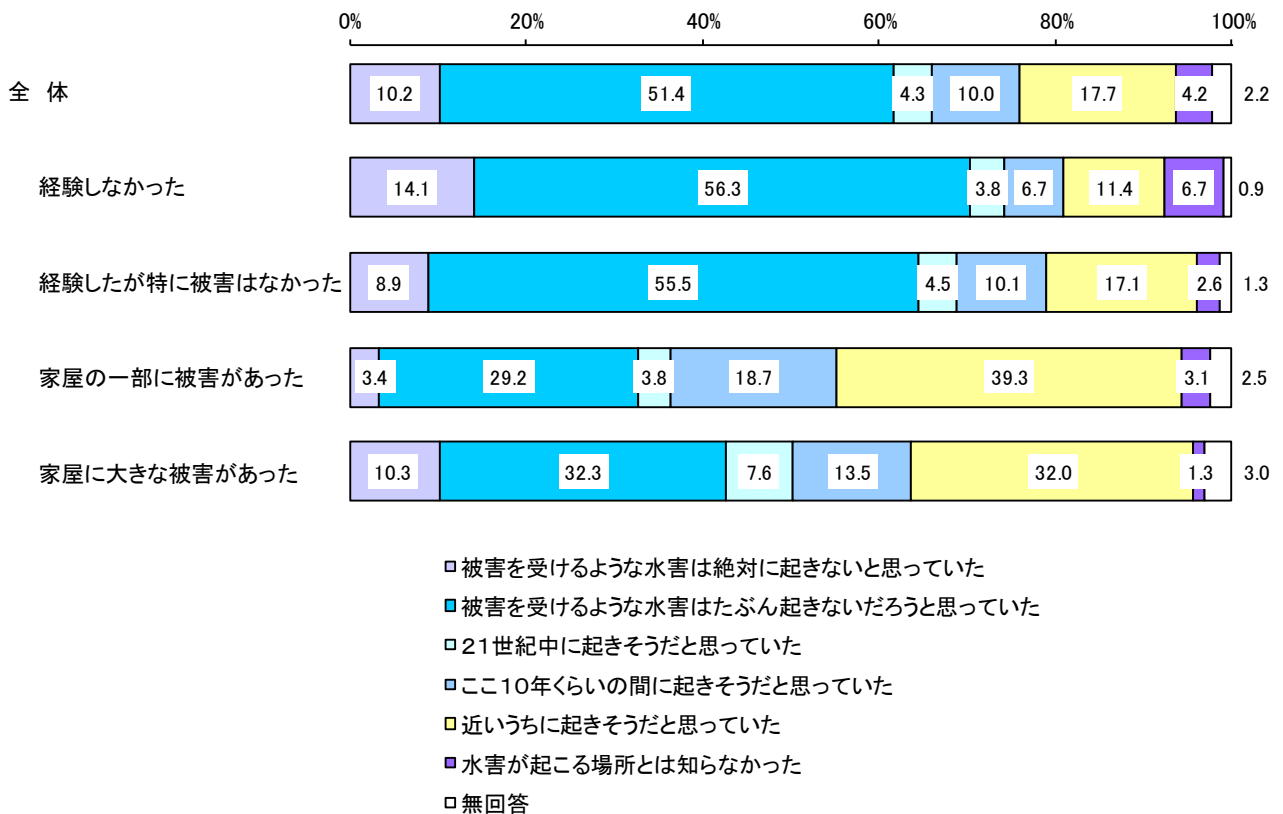


- 被害を受けるような水害は絶対に起きないと思っていた
- 被害を受けるような水害はたぶん起きないだろうと思っていた
- 21世紀中に起きそうだと思っていた
- ここ10年くらいに起きそうだと思っていた
- 近いうちに起きそうだと思っていた
- 水害が起る場所とは知らなかった
- 無回答

②平成元年台風13号

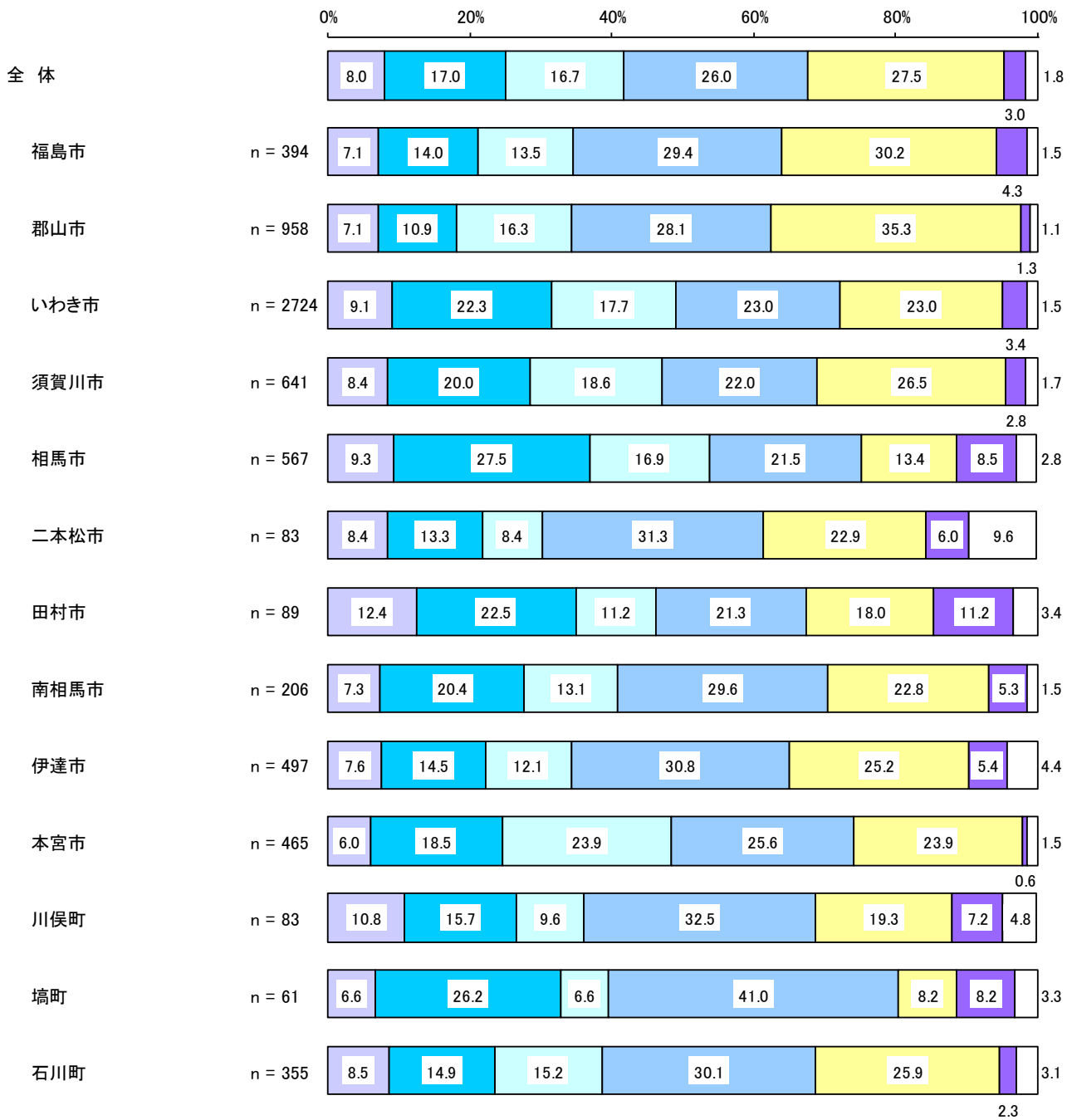


③平成10年8月末豪雨



過去に経験したことがある災害別にみると、いずれの災害でも「近いうちに起きそうだと思っていた」が家屋の一部に被害があった層、家屋に大きな被害があった層で10%以上全体に比べ高い。

問10. あなたのお住まいの地域の「ハザードマップ(水害)」を台風第19号発生前に見たことがありますか。(○は1つ)

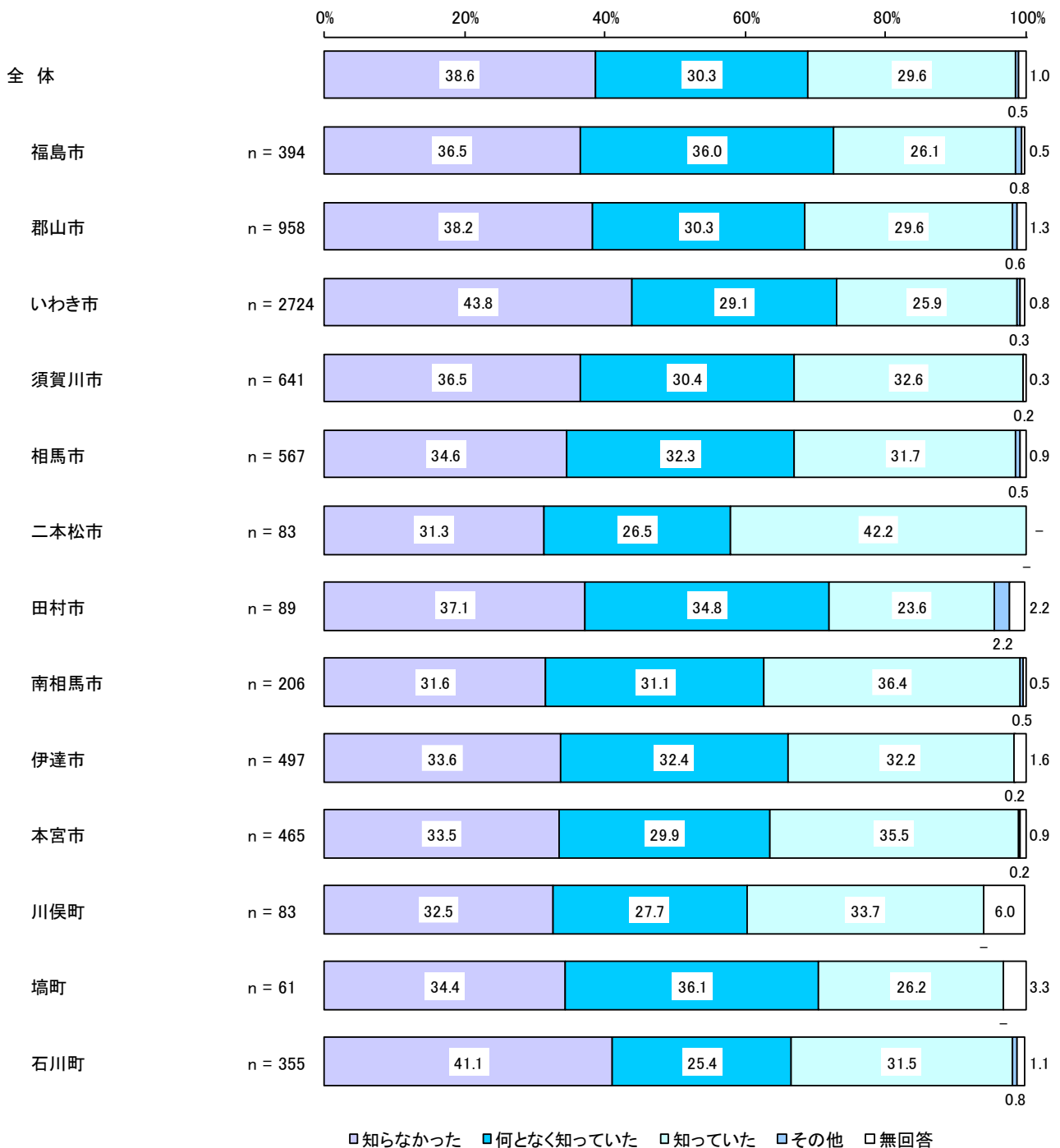


ハザードマップ(水害)を台風第19号発生前に閲覧していたかどうかについては「ハザードマップ(水害)を見て、内容も覚えていた」が27.5%と最も高く、次いで「ハザードマップ(水害)を見たことはあるが、内容までは覚えていなかった」が26.0%、「ハザードマップ(水害)が自分の住んでいる

地域に存在することを知っていたが、見たことはなかった」が16.7%となっている。

市町別にみると、「ハザードマップ（水害）を見て、内容も覚えていた」が郡山市で35%以上と全体に比べ高い。

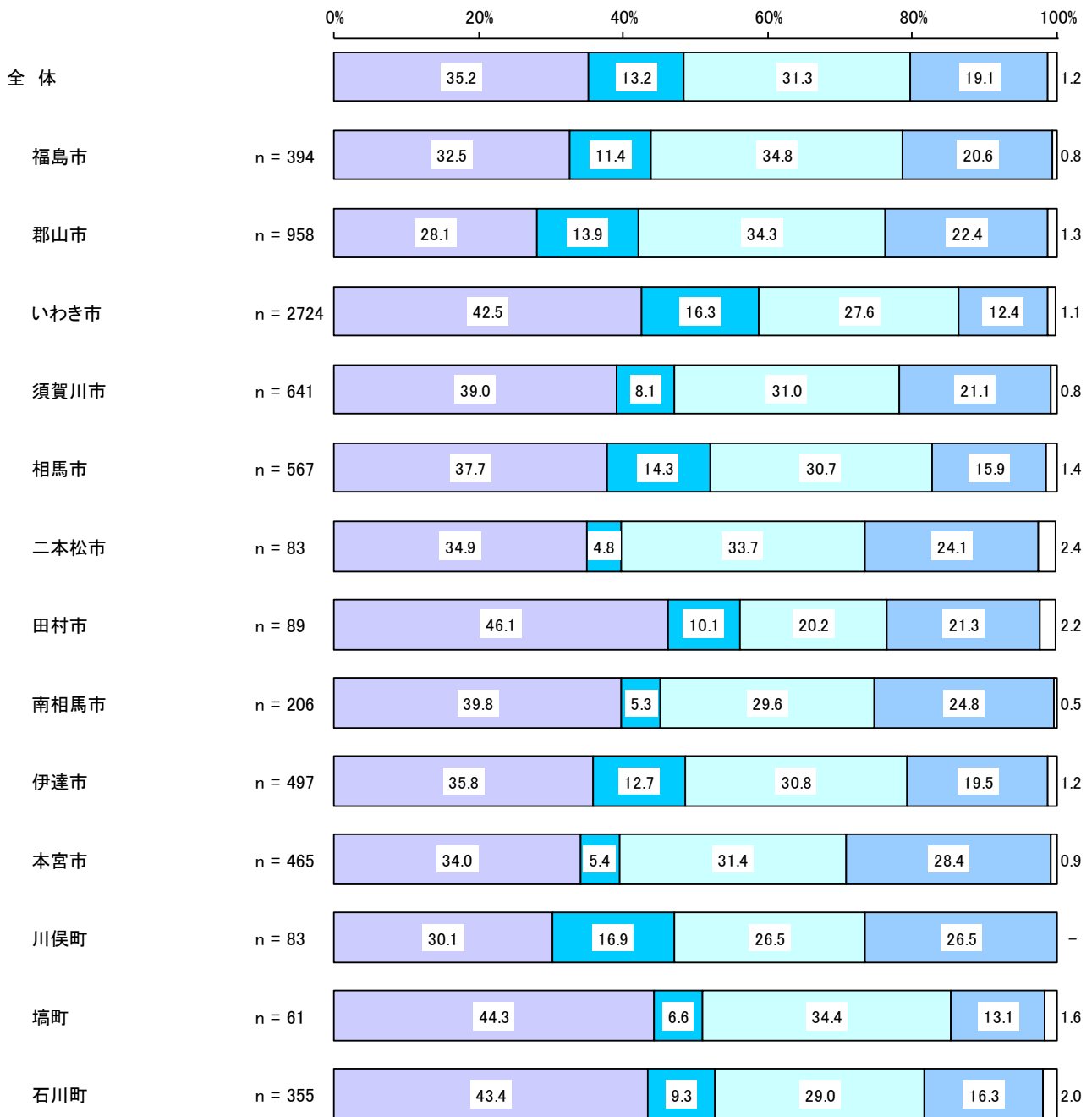
問11(1). あなたは「風水害時の避難場所」と「風水害時の避難所」の違いについて、台風第19号発生前に知っていましたか。(〇は1つ)



「風水害時の避難場所」と「風水害時の避難所」の違いについて、台風第19号発生前に知っていたかどうかについては「知っていた」が29.6%、「何となく知っていた」が30.3%となっており、合わせた“認知層”は59.9%となっている。

市町別にみると、“認知層”が二本松市、南相馬市、本宮市では65%以上と全体に比べ高い。

問11(2). あなたは「風水害の避難場所」について、台風第19号発生前に知っていましたか。(〇は1つ)



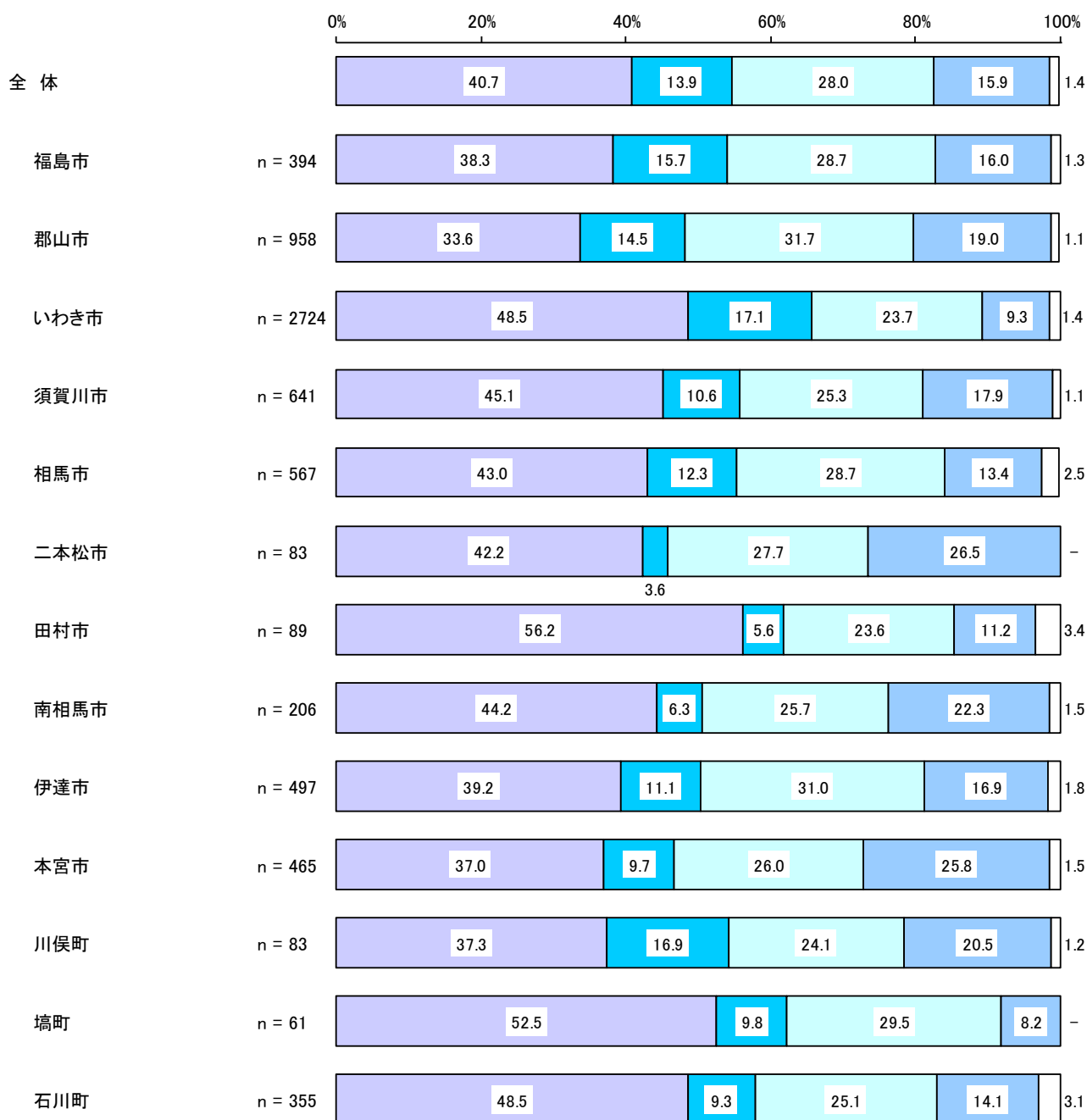
- 自分が避難場所に行く必要があることを考えたことはなかった
- 避難場所に行く必要があることは知っていたが、避難場所がどこか知らなかった
- 「たぶんここだろう」という見当はついていた
- 広報・ハザードマップ・訓練などで正確に知っていた
- 無回答

風水害の避難場所について、台風第19号発生前に知っていたかどうかについては「自分が避難場所に行く必要があることを考えたことはなかった」が35.2%と最も高く、次いで「たぶんここだろう」という見当はついていた」が31.3%となっている。なお、「たぶんここだろう」という見当はついていた」と「広報・ハザードマップ・訓練などで正確に知っていた」合わせた「認知層」は50.4%となっている。

市町別にみると、「自分が避難場所に行く必要があることを考えたことはなかった」はいわき市、田

村市、埴町、石川町で 40%以上と全体に比べ高い。また、“認知層”は福島市、郡山市、二本松市、本宮市で 55%以上と全体に比べ高い。

問11(3). あなたは「風水害時の避難所」について、台風第19号発生前に知っていましたか。(〇は1つ)



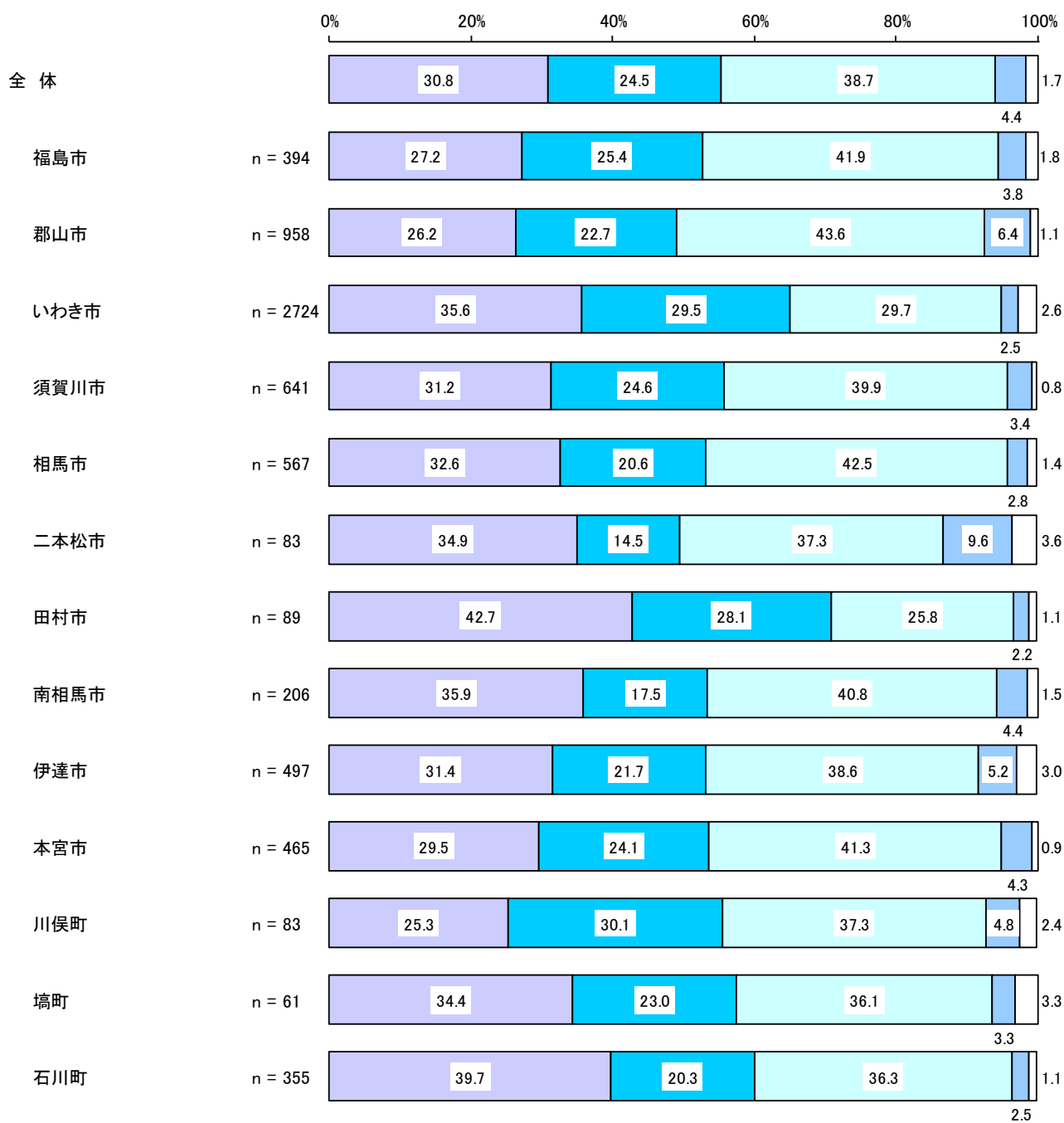
- 自分が避難所に行く必要があることを考えたことはなかった
- 避難所に行く必要があることは知っていたが、避難所がどこか知らなかった
- 「たぶんここだろう」という見当はついていた
- 広報・ハザードマップ・訓練などで正確に知っていた
- 無回答

風水害時の避難所について、台風第19号発生前に知っていたかどうかについては「自分が避難場所に行く必要があることを考えたことはなかった」が40.7%と最も高く、次いで「たぶんここだろう」という見当はついていた」が28.0%となっている。なお、「たぶんここだろう」という見当はついていた」と「広報・ハザードマップ・訓練などで正確に知っていた」合わせた「認知層」は43.9%となっている。

市町別にみると、「自分が避難所に行く必要があることを考えたことはなかった」はいわき市、須賀

川市、石川町で45%以上、田村市、塙町で50%以上と全体に比べ高い。また、“認知層”は郡山市、二本松市、本宮市で50%以上と全体に比べ高い。

問12. あなたは「風水害時の避難計画」を、台風第19号発生前に立てていましたか。(○は1つ)

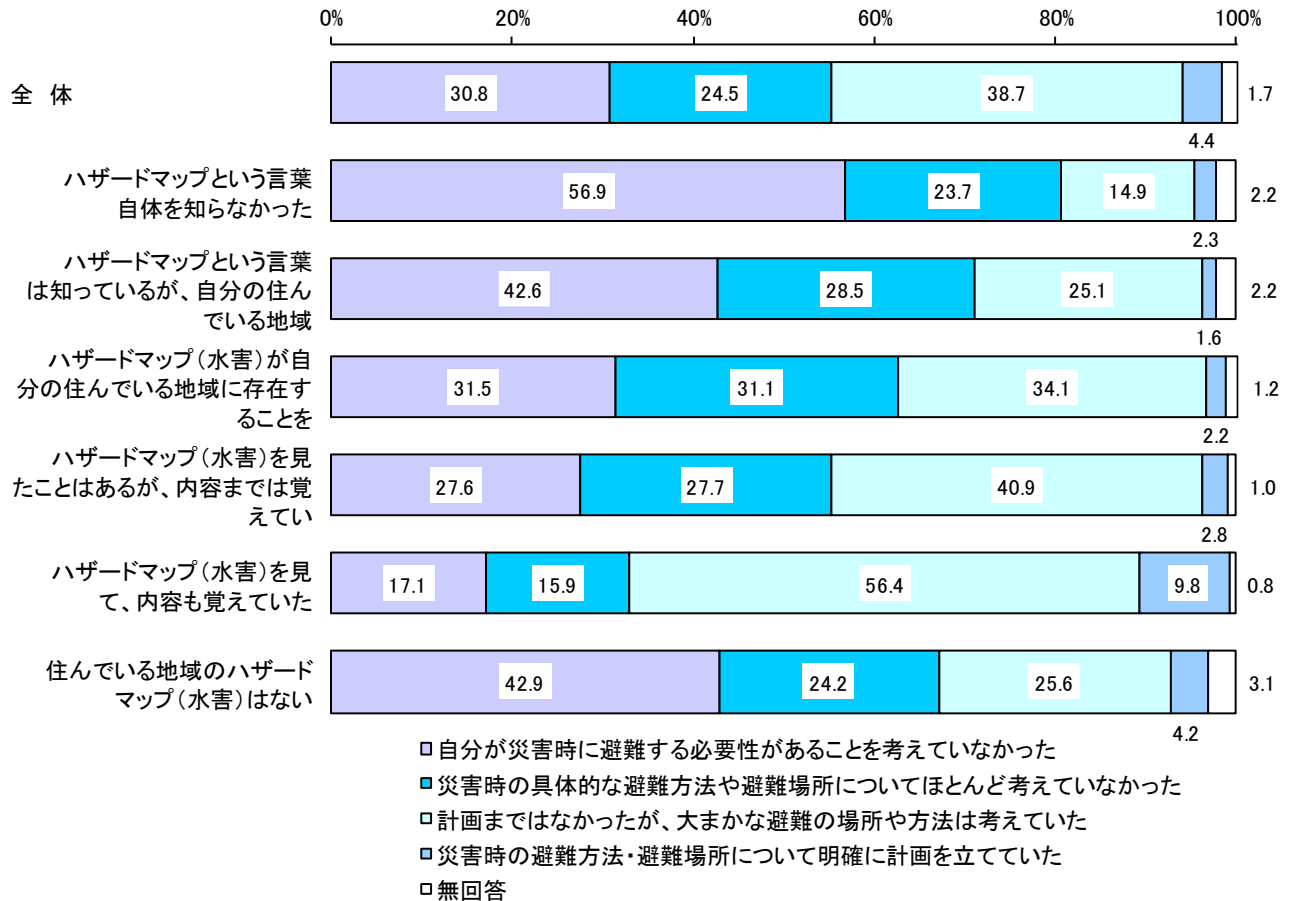


- 自分が災害時に避難する必要があることを考えていなかった
- 災害時の具体的な避難方法や避難場所についてほとんど考えていなかった
- 計画まではなかったが、大まかな避難の場所や方法は考えていた
- 災害時の避難方法・避難場所について明確に計画を立てていた
- 無回答

風水害時の避難計画を、台風第19号発生前に立てていたかどうかについては「災害時の避難方法・避難場所について明確に計画を立てていた」が4.4%、「計画まではなかったが、大まかな避難の場所や方法は考えていた」が38.7%となっており、合わせた“避難について準備していた層”は43.1%となっている。

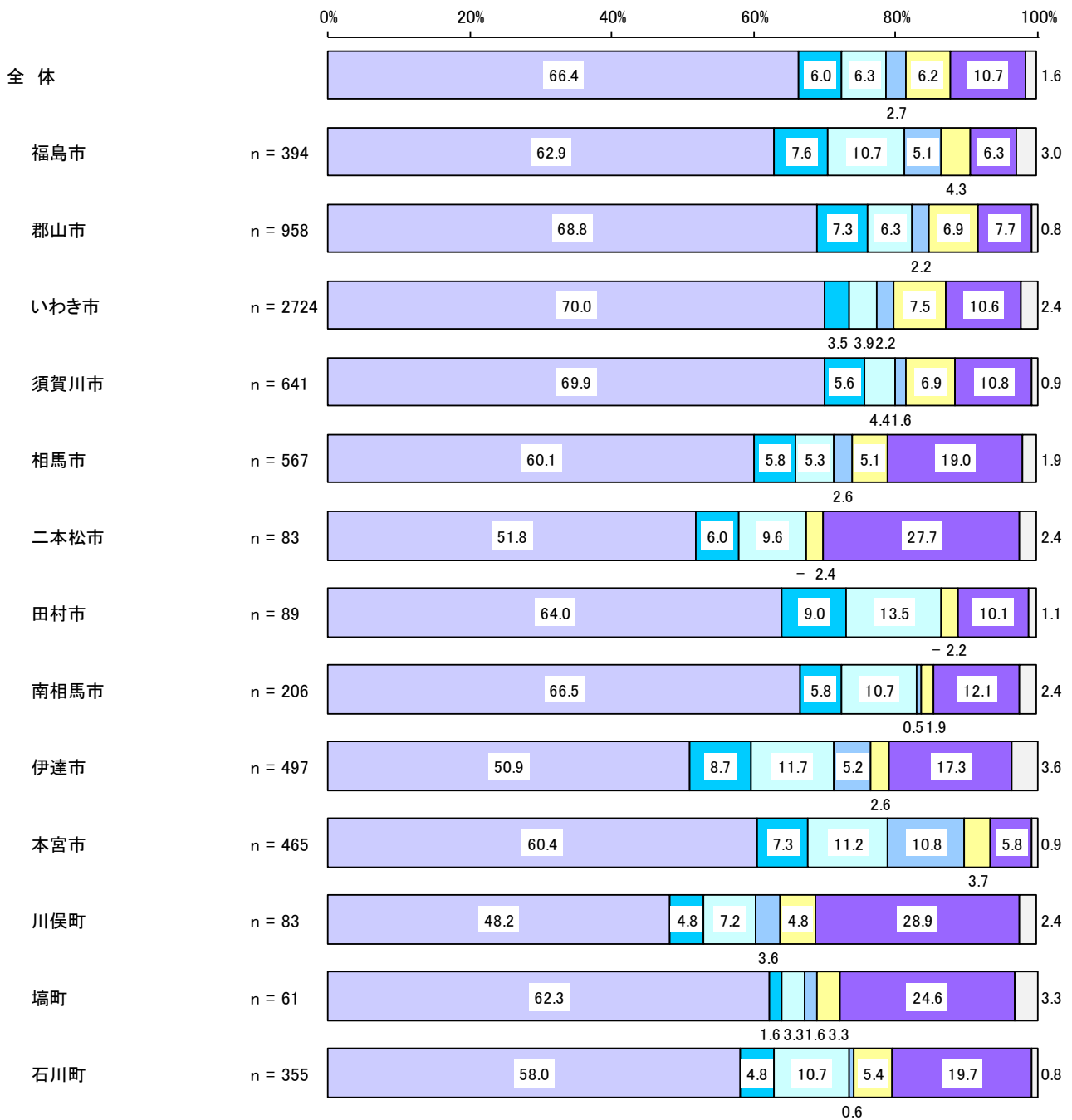
市町別にみると、“避難について準備していた層”は郡山市で50.0%と全体に比べ高い。

【ハザードマップ（水害）閲覧別（問 10）】



ハザードマップ（水害）閲覧別にみると、ハザードマップ（水害）を見たことがありかつ理解度が高いほど“避難について準備していた層”の割合が高い。

問13. あなたは「お住まいの地域での防災訓練」に、台風第19号発生前に参加したことがありましたか。
(○は1つ)



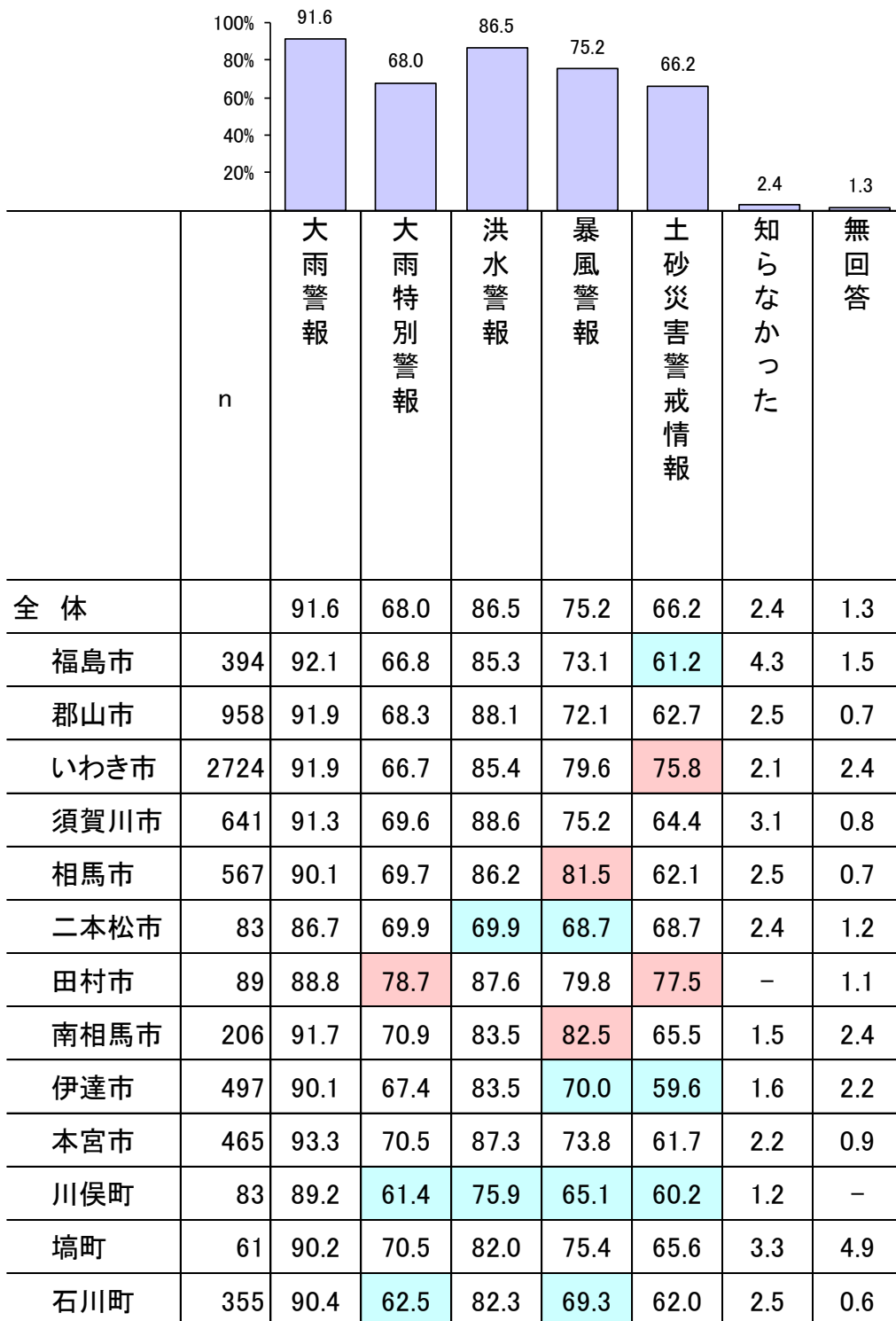
- 参加したことがなかった
- 参加したことはめったになかった
- 何年かごとに参加していた
- ほぼ毎年のように参加していた
- 地域で防災訓練を行っていること自体を知らなかった
- 地域で防災訓練は行っていない
- 無回答

台風第19号発生前の防災訓練の参加の有無については「参加したことがなかった」が66.4%と最も高く、次いで「地域で防災訓練は行っていない」が10.7%となっている。
市町別にみると、「参加したことがなかった」がいわき市で70.0%と最も高く、次いで須賀川市で

69.9%となっている。

※ただし、本アンケートでは回答世帯が参加した防災訓練が、水害を前提とした防災訓練とは限らない点に留意する必要がある。

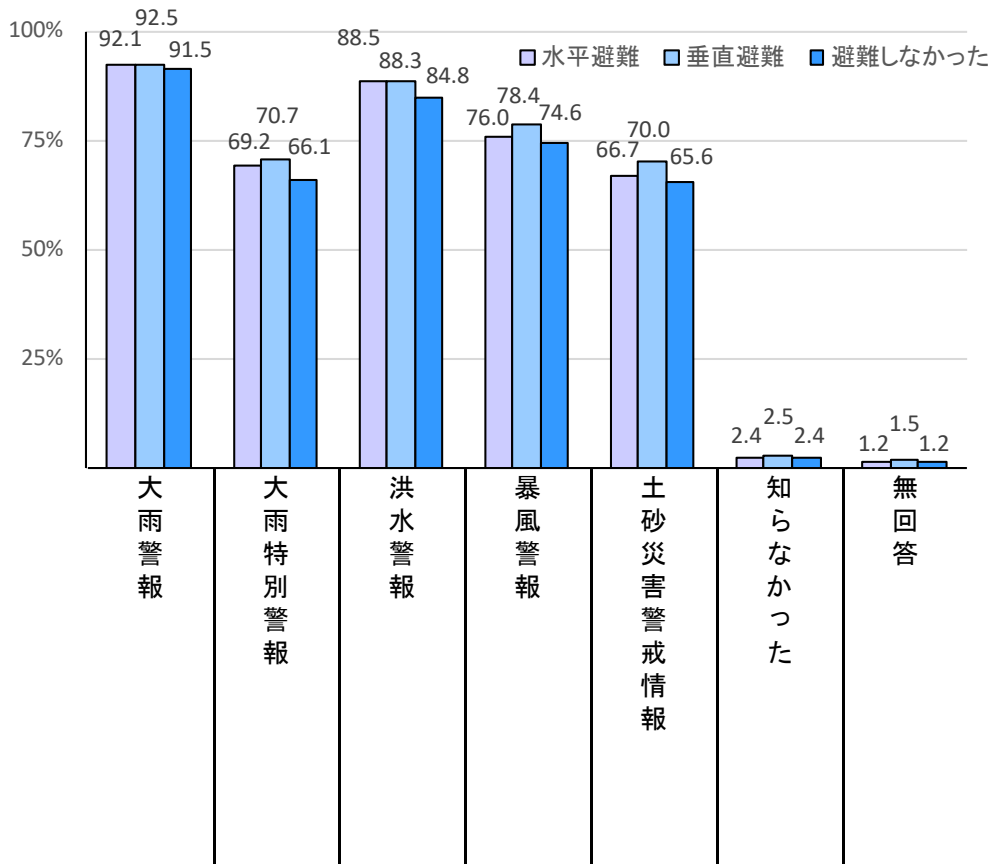
問14(1). あなたは、台風第19号発生前に気象に関する以下の用語を知っていましたか。知っていたものに○を付けてください。(○はいくつでも)



全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

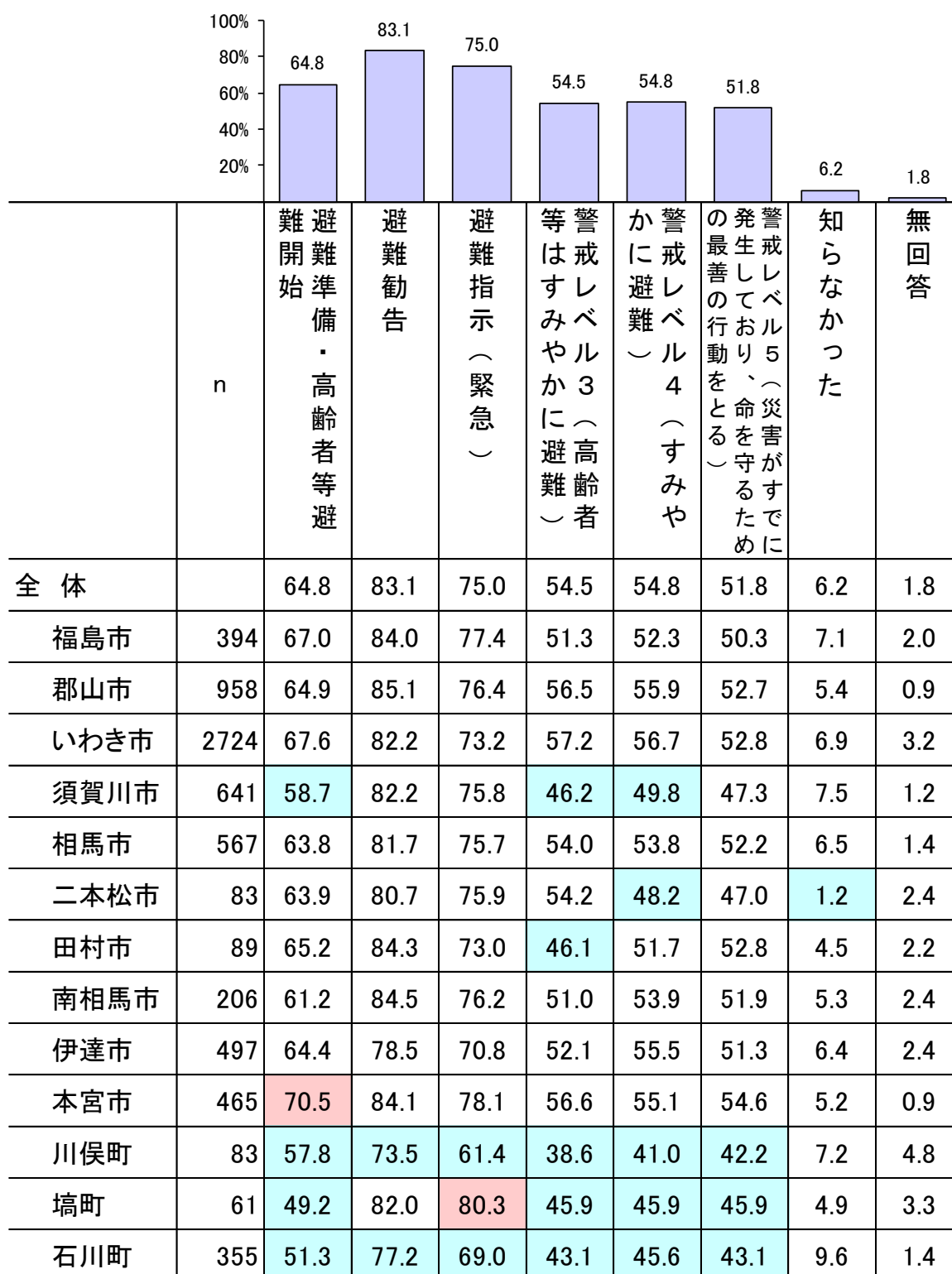
台風第19号発生前に気象に関する用語を知っていたかどうかについて、「大雨警報」が91.6%、「洪水警報」86.5%となっている。「大雨特別警報」および「土砂災害警戒情報」はやや低く6割台となっている。

【避難類型別】



避難類型別にみると、傾向に大きな差はみられない。

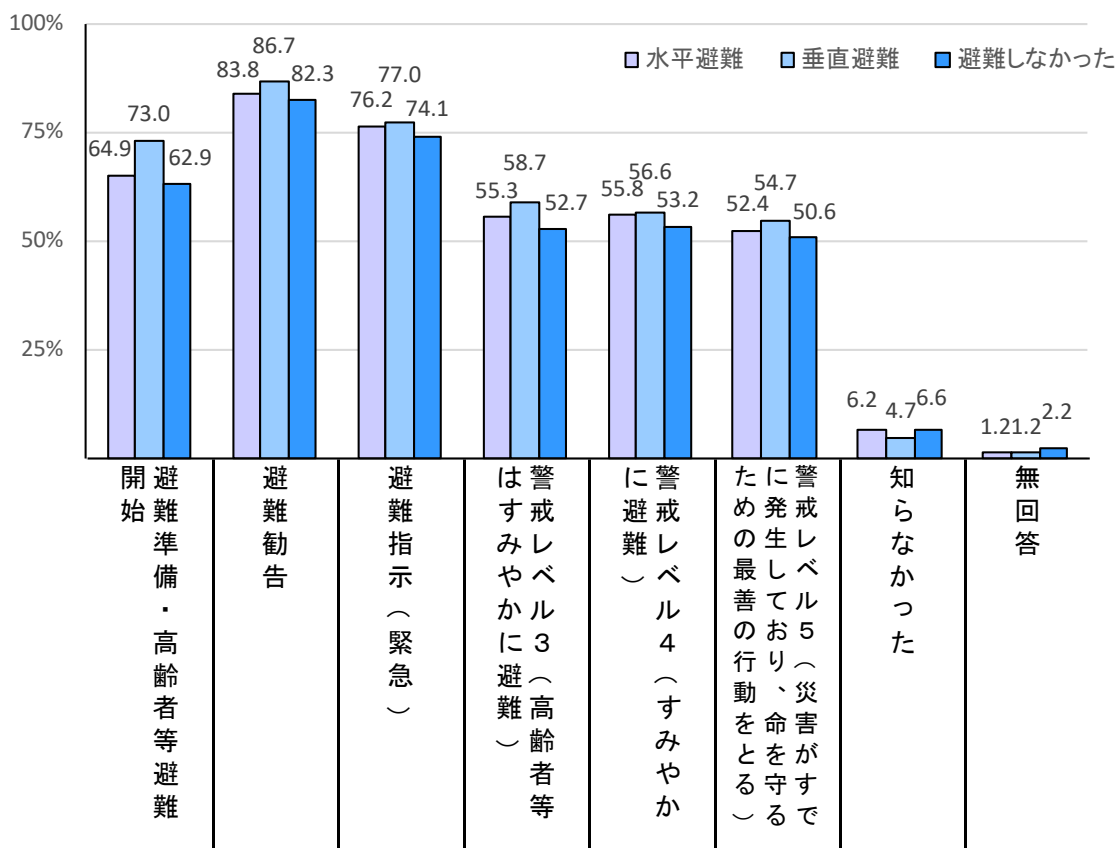
問14(2). あなたは、台風第19号発生前に住民避難に関する以下の用語を知っていましたか。知っていたものに○を付けてください。(○はいくつでも)



全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

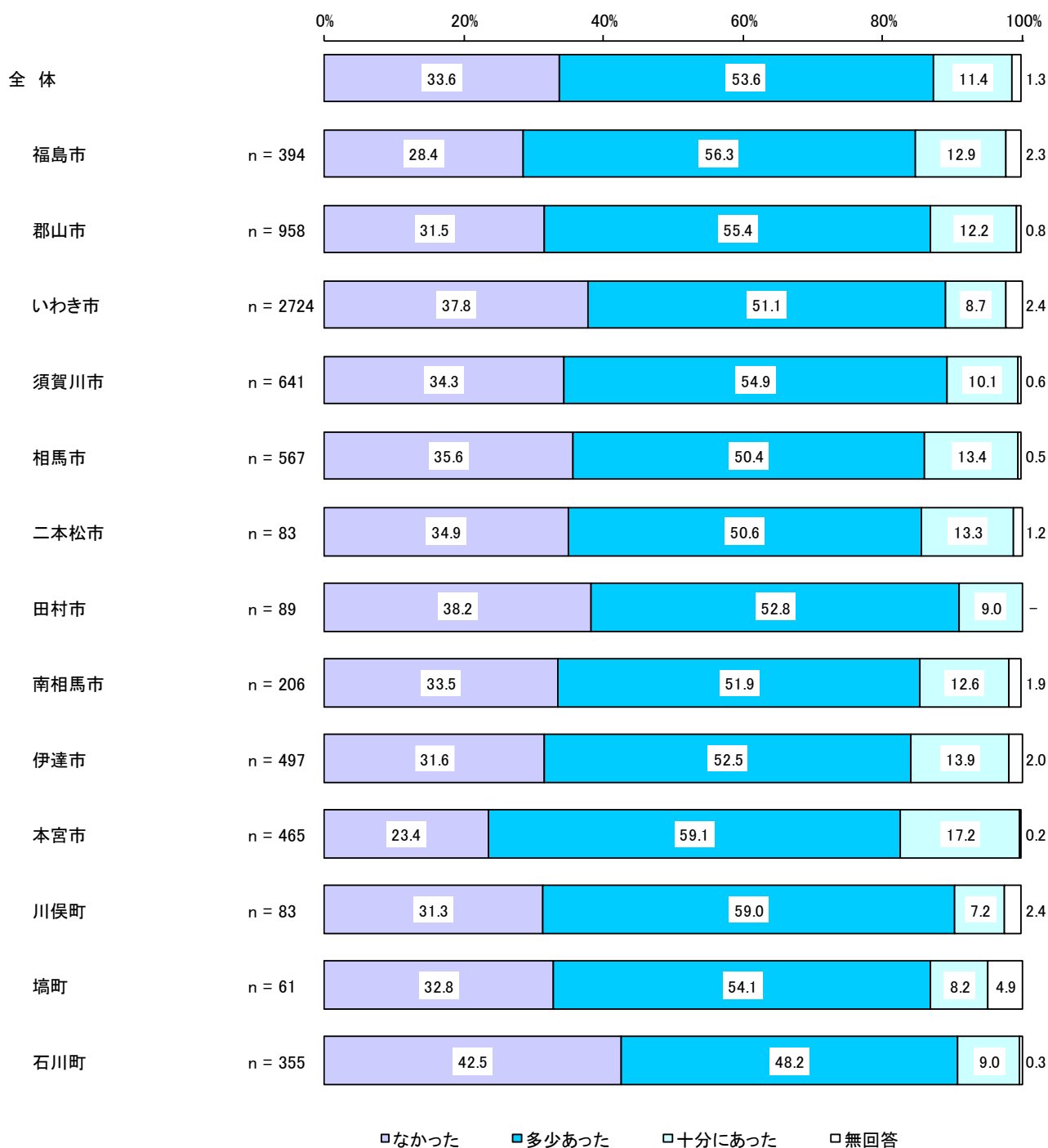
台風第19号発生前に住民避難に関する用語を知っていたかどうかについて、「避難勧告」が83.1%、「避難指示(緊急)」が75.0%となっている。「警戒レベル」の認知度はやや低く、5割台となっている。

【避難類型別】



避難類型別にみると、「避難準備・高齢者等避難開始」は《垂直避難》で《水平避難》や《避難しなかった》に比べおよそ10ポイント高いものの、避難類型別の認知状況に特段の差はみられない。

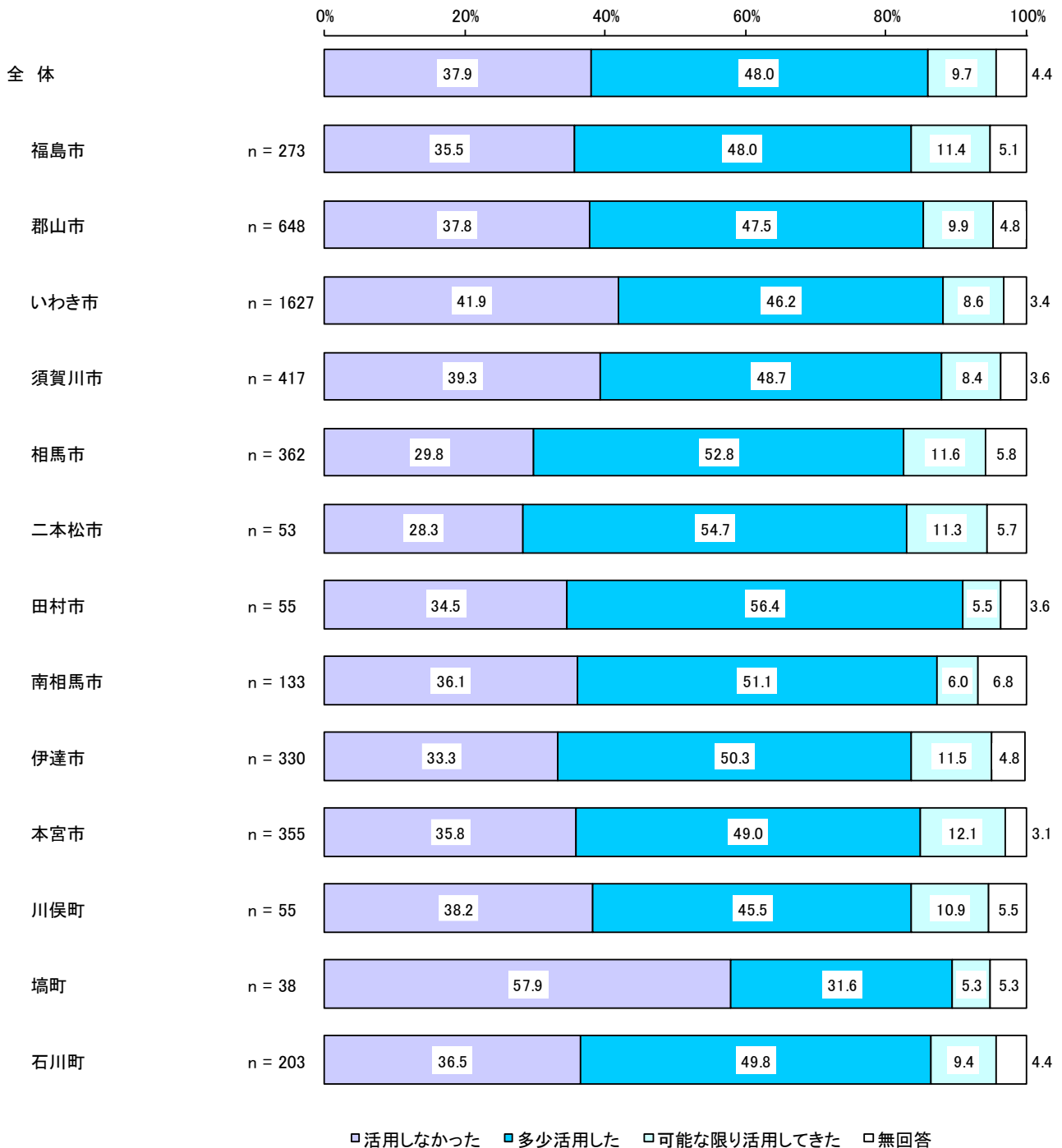
問15(1). あなたは、これまでの生活において防災に関する知識を得る機会や学ぶ機会があったと思いますか。(○は1つ)



防災に関する知識を得る機会や学ぶ機会の有無については「多少あった」が53.6%、「十分にあった」が11.4%となっており、合わせた“防災に関する知識を得る機会や学ぶ機会があった層”は60%以上となっている。

市町別にみると、“防災に関する知識を得る機会や学ぶ機会があった層”は本宮市で76.3%と全体に比べ高い。

問15(2). 問15(1)で「2. 多少あった」又は「3. 十分にあった」を選んだ方は、これまでの生活において防災に関する知識を得る機会や学ぶ機会を活用していましたか。(〇は1つ)



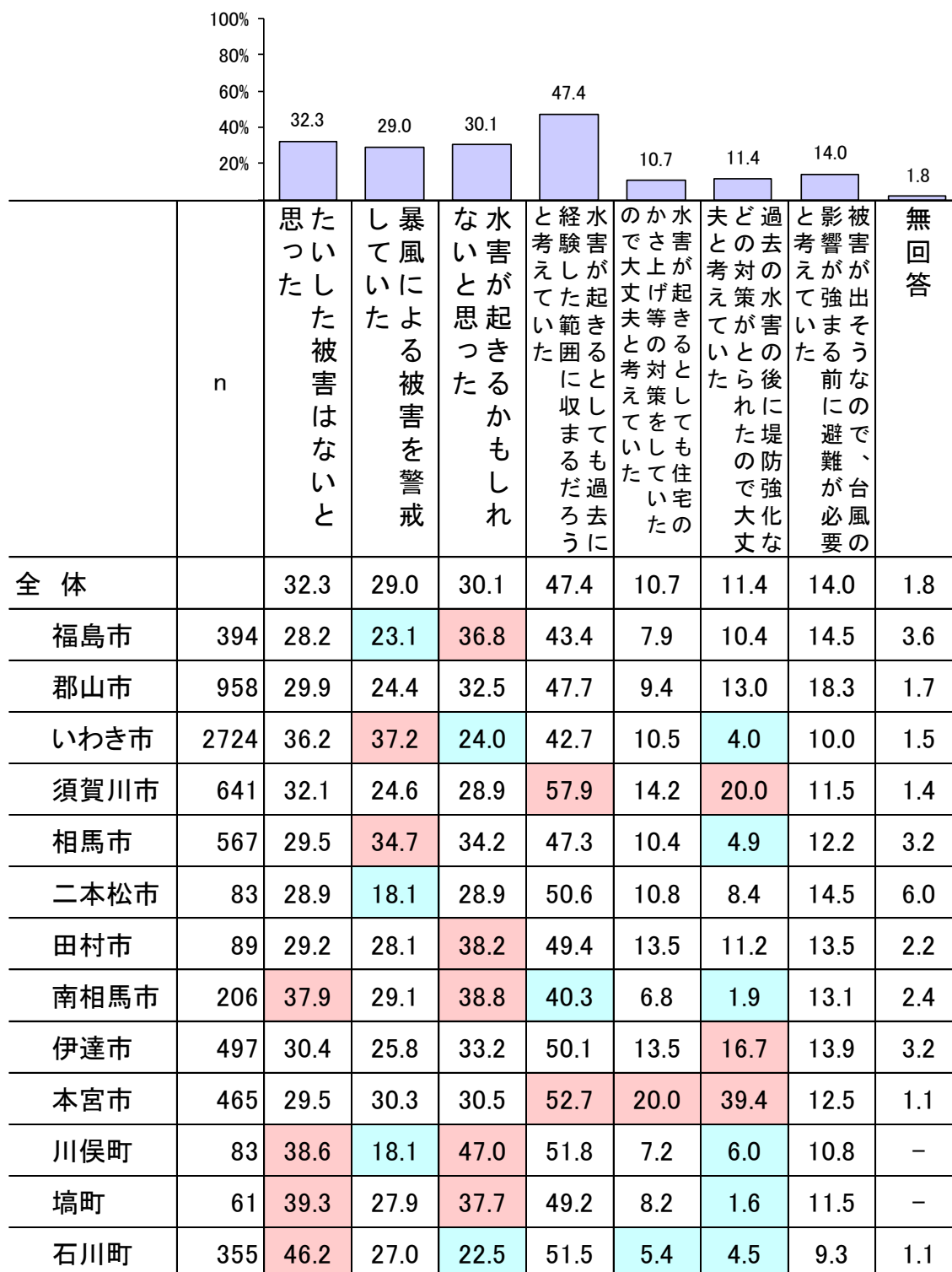
防災に関する知識を得る機会や学ぶ機会の活用の有無については「多少活用した」が48.0%、「可能な限り活用してきた」が9.7%となっており、合わせた“防災に関する知識を得る機会や学ぶ機会を活用した層”は57.7%となっている。

市町別にみると、“防災に関する知識を得る機会や学ぶ機会を活用した層”は相馬市、二本松市で6割半ばと全体に比べ高い。

3-2-2 台風第19号の雨が降る前の行動について

「台風第19号が上陸した10月12日、雨が降る前のあなたの行動についてお尋ねします」

問16. あなたは雨が降り出す前には、台風第19号についてどのように考えていましたか。(〇はいくつでも)

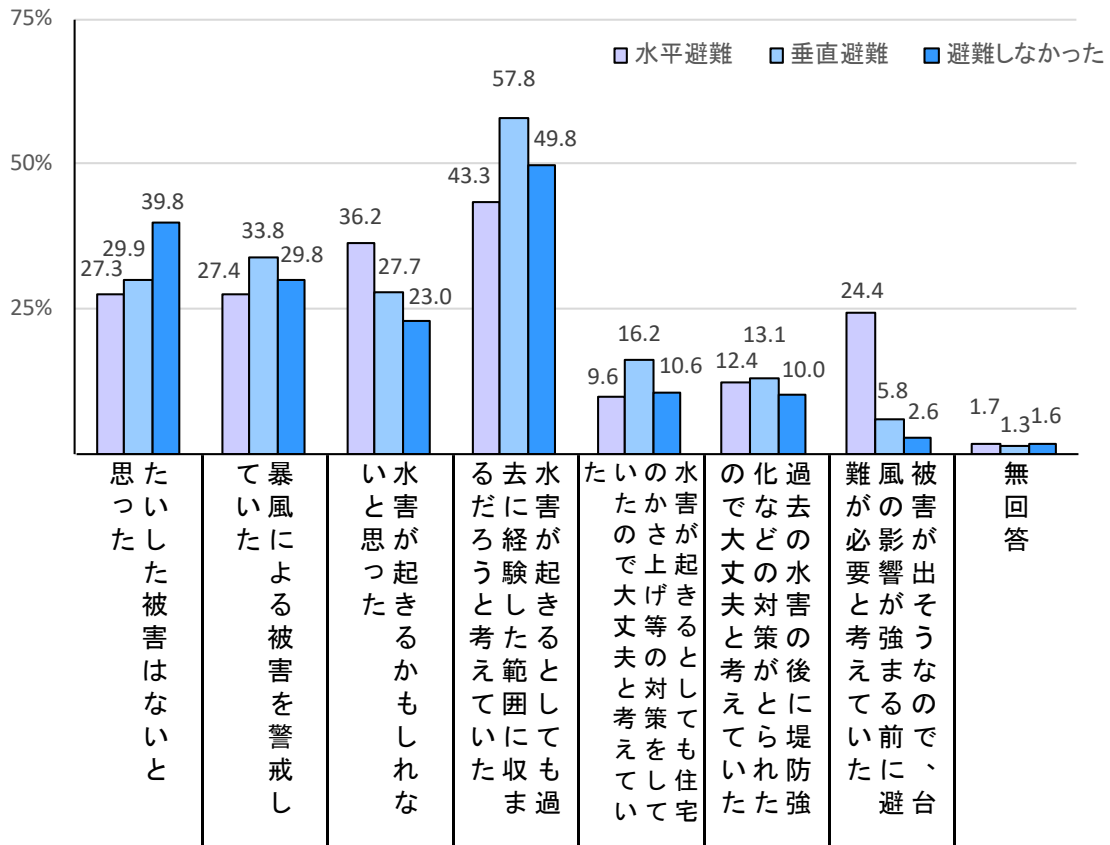


全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

雨が降り出す前の台風第 19 号に対する考えについては「水害が起きるとしても過去に経験した範囲に収まるだろうと考えていた」が 47.4%と最も高く、次いで「たいした被害はないと思った」が 32.3%、「水害が起きるかもしれないと思った」が 30.1%となっている。

市町別にみると、「水害が起きるかもしれないと思った」は福島市、田村市、南相馬市、塙町で 35%以上、川俣町で 45%以上と全体に比べ高い。

【避難類型別】

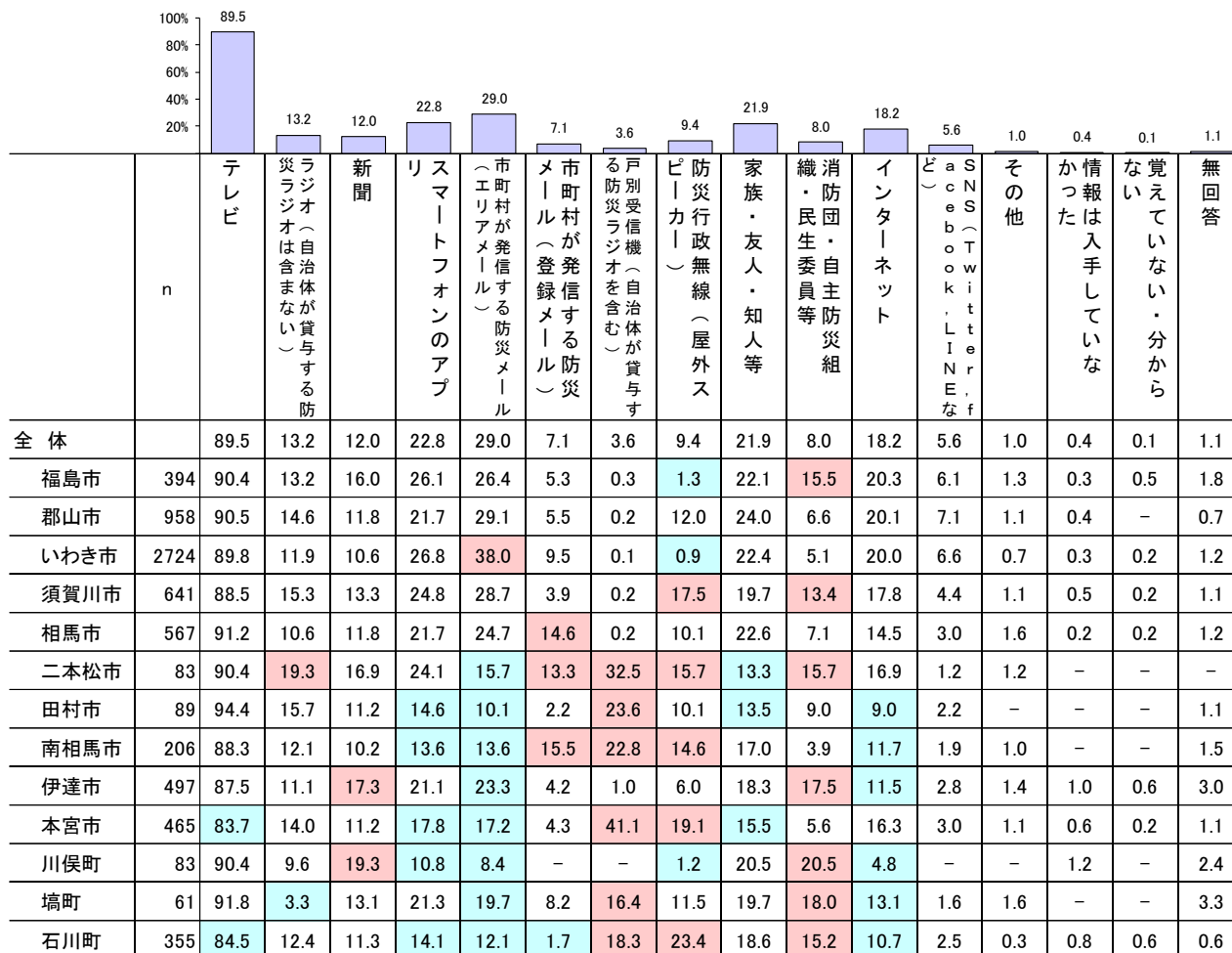


避難類型別にみると、「たいした被害はないと思った」は《避難しなかった》で、「水害が起きるとしても過去に経験した範囲に収まるだろうと考えていた」は《垂直避難》で、「被害が出るので、台風の影響が強まる前に避難が必要と考えていた」は《水平避難》でそれぞれ高くなっている。

問17. あなたは台風第19号の情報を雨が降り出す前にはどこから入手していましたか。(○は主な入手源を3つまで)

なお、その中で最も重視したものについては、◎をつけてください。(◎は1つ)

【主な入手源】

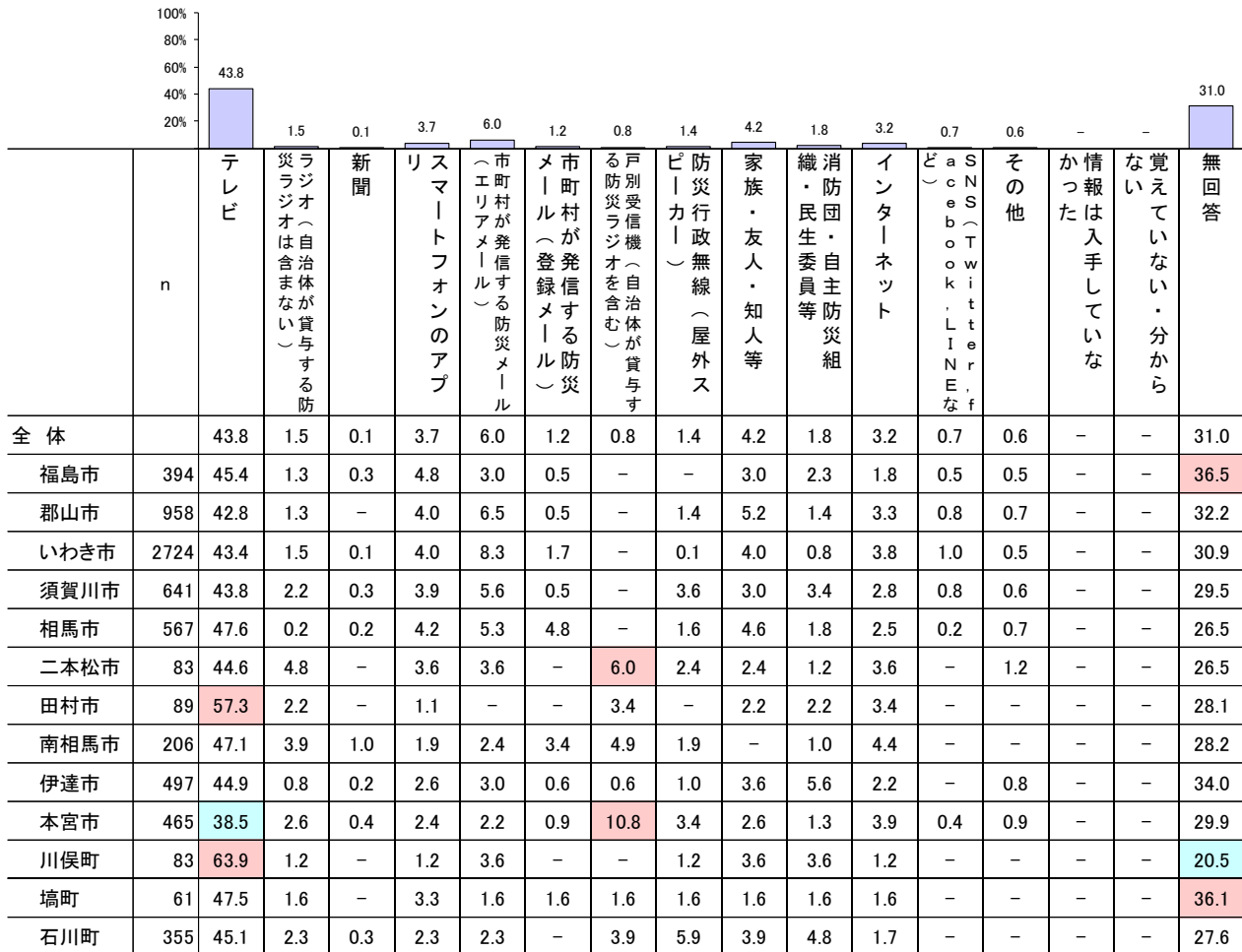


全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

雨が降り出す前の台風第19号の情報の入手先では「テレビ」が89.5%と最も高く、次いで「市町村が発信する防災メール(エリアメール)」が29.0%、「スマートフォンのアプリ」が22.8%となっている。

市町別にみると、「市町村が発信する防災メール(エリアメール)」、「市町村が発信する防災メール(登録メール)」、「戸別受信機(自治体が貸与する防災ラジオを含む)」、「防災行政無線(屋外スピーカー)」、「消防団・自主防災組織・民生委員等」など、自治体によって主な情報源が異なっていることがわかる。

【最も重視した入手源】

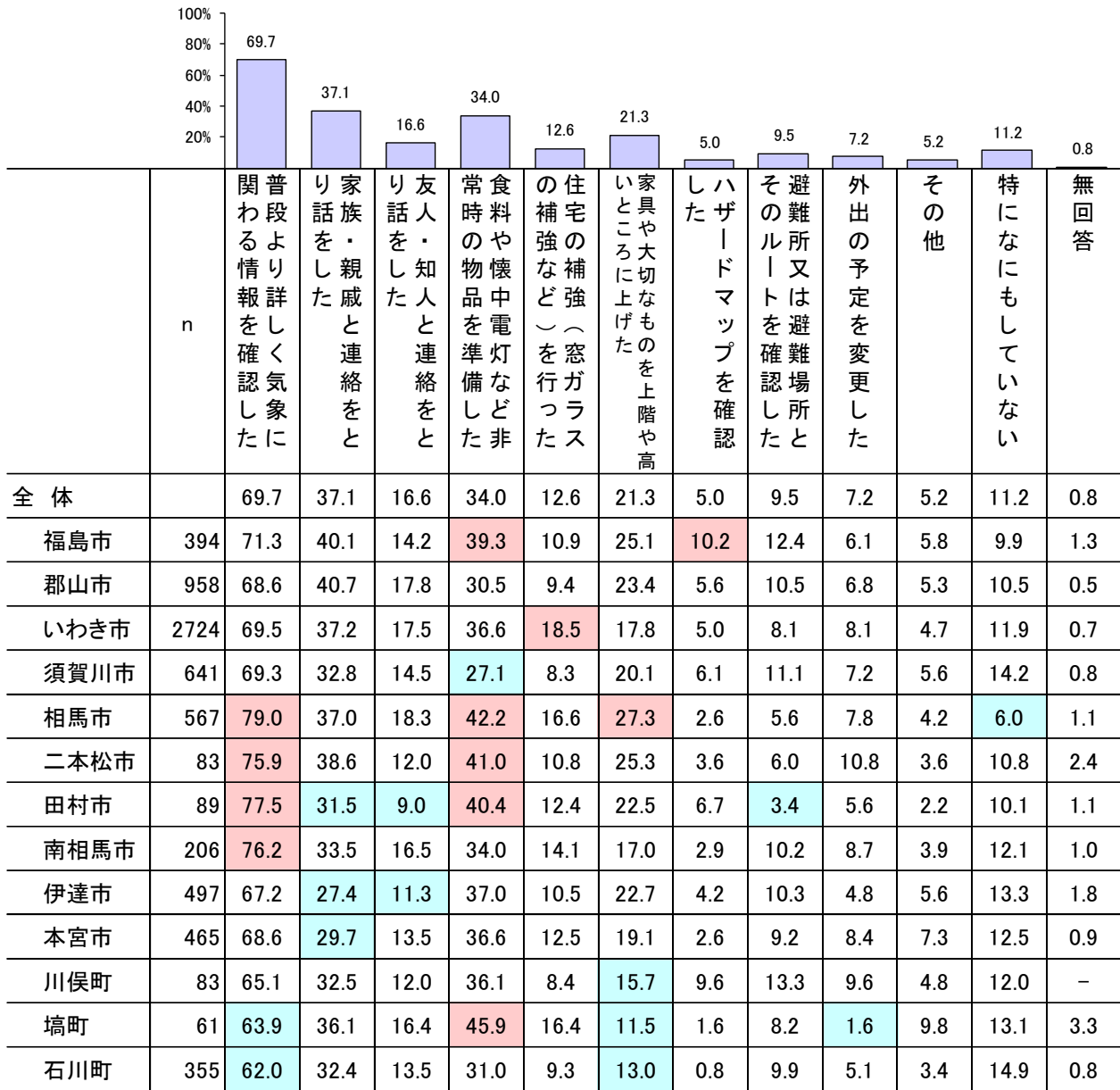


	n	テレビ	ラジオ(自治体が貸与する防災ラジオは含まない)	新聞	スマートフォンアプリ	市町村が発信する防災メール(エリアメール)	市町村が発信する防災メール(登録メール)	戸別受信機(自治体が貸与する防災ラジオを含む)	防災行政無線(屋外スピーカー)	家族・友人・知人等	消防団・自主防災組織・民生委員等	インターネット	SNS(Twitter, LINE, Facebook)	その他	情報は入手していません	覚えていない・分らない	無回答
全体		43.8	1.5	0.1	3.7	6.0	1.2	0.8	1.4	4.2	1.8	3.2	0.7	0.6	-	-	31.0
福島市	394	45.4	1.3	0.3	4.8	3.0	0.5	-	-	3.0	2.3	1.8	0.5	0.5	-	-	36.5
郡山市	958	42.8	1.3	-	4.0	6.5	0.5	-	1.4	5.2	1.4	3.3	0.8	0.7	-	-	32.2
いわき市	2724	43.4	1.5	0.1	4.0	8.3	1.7	-	0.1	4.0	0.8	3.8	1.0	0.5	-	-	30.9
須賀川市	641	43.8	2.2	0.3	3.9	5.6	0.5	-	3.6	3.0	3.4	2.8	0.8	0.6	-	-	29.5
相馬市	567	47.6	0.2	0.2	4.2	5.3	4.8	-	1.6	4.6	1.8	2.5	0.2	0.7	-	-	26.5
二本松市	83	44.6	4.8	-	3.6	3.6	-	6.0	2.4	2.4	1.2	3.6	-	1.2	-	-	26.5
田村市	89	57.3	2.2	-	1.1	-	-	3.4	-	2.2	2.2	3.4	-	-	-	-	28.1
南相馬市	206	47.1	3.9	1.0	1.9	2.4	3.4	4.9	1.9	-	1.0	4.4	-	-	-	-	28.2
伊達市	497	44.9	0.8	0.2	2.6	3.0	0.6	0.6	1.0	3.6	5.6	2.2	-	0.8	-	-	34.0
本宮市	465	38.5	2.6	0.4	2.4	2.2	0.9	10.8	3.4	2.6	1.3	3.9	0.4	0.9	-	-	29.9
川俣町	83	63.9	1.2	-	1.2	3.6	-	-	1.2	3.6	3.6	1.2	-	-	-	-	20.5
塙町	61	47.5	1.6	-	3.3	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	-	-	-	-	36.1
石川町	355	45.1	2.3	0.3	2.3	2.3	-	3.9	5.9	3.9	4.8	1.7	-	-	-	-	27.6

■ 全体より5%以上高い値 ■ 全体より5%以上低い値

雨が降り出す前の台風第19号の情報の最も重視した入手先については「テレビ」が43.8%と最も高く、次いで「市町村が発信する防災メール(エリアメール)」が6.0%、「家族・友人・知人等」が4.2%となっている。

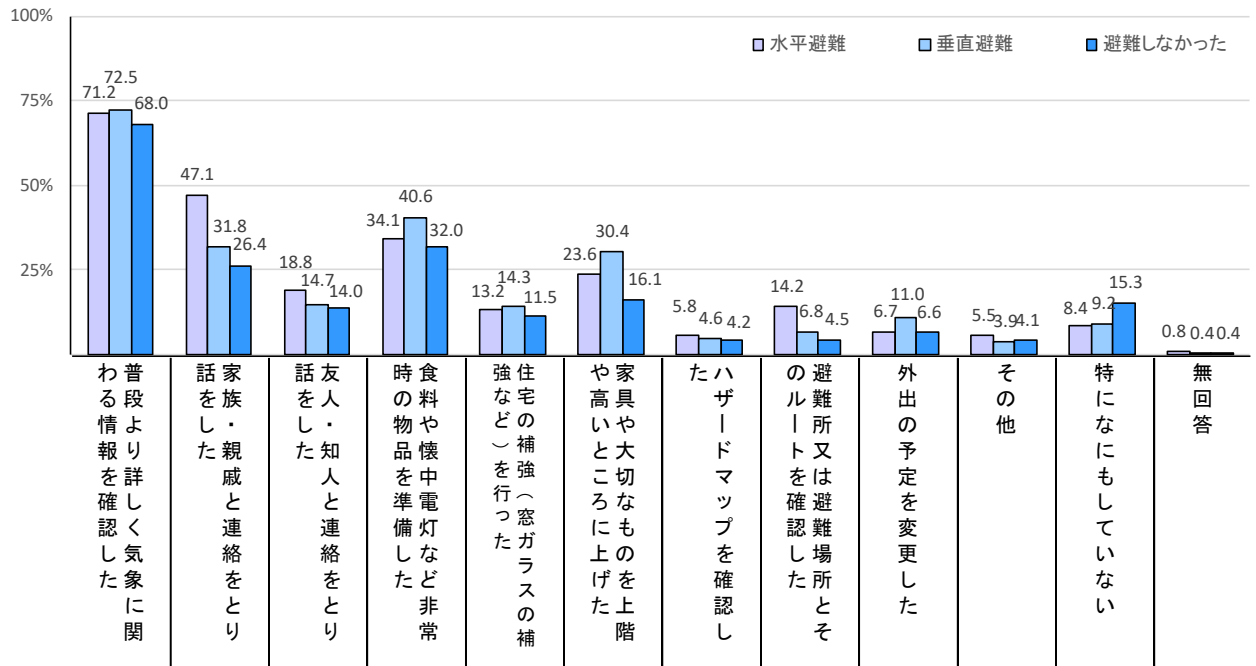
問18. 台風第19号に対して、雨が降り出す前に何らかの行動をしていましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)



全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

雨が降り出す前の台風第19号に対する行動については「普段より詳しく気象に関わる情報を確認した」が69.7%と最も高く、次いで「家族・親戚と連絡を取り話をした」が37.1%、「食料や懐中電灯など非常時の物品を準備した」が34.0%となっている。

【避難類型別】

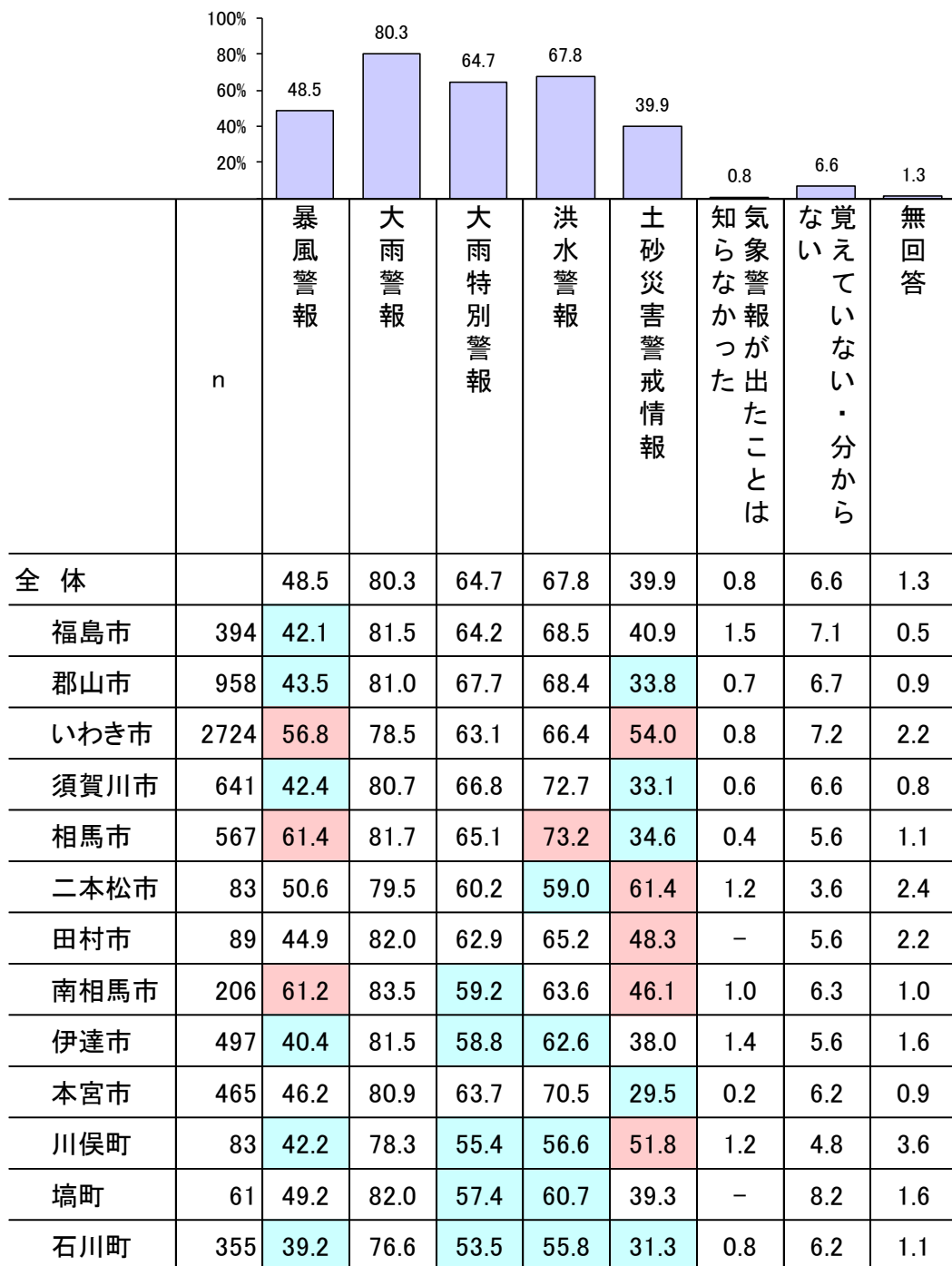


避難類型別にみると、「家族・親戚と連絡をとり話をした」は《垂直避難》で、「食料や懐中電灯など非常時の物品を準備した」、「家具や大切なものを上階や高いところに上げた」は《水平避難》でそれぞれ高くなっている。

3-2-3 台風第19号の雨が降りだしてからの行動について

「台風第19号が上陸した10月12日、雨が降り出してからのあなたの行動についてお尋ねします」

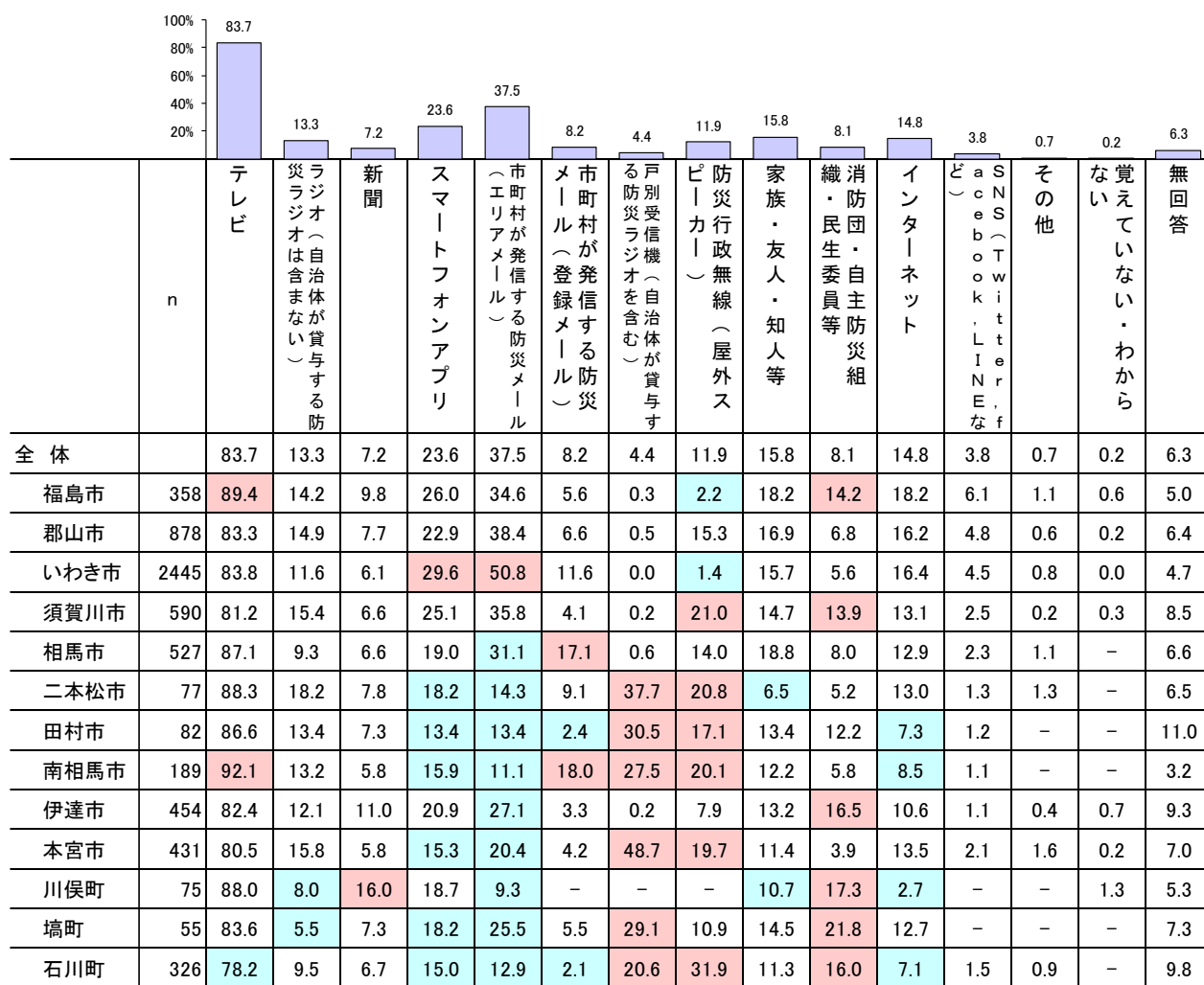
問19(1). 台風第19号では様々な「気象警報」が発表されました。あなたが入手した「気象警報」を全て選んで下さい。(〇はいくつでも)



全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

入手した気象情報については「大雨警報」が80.3%と最も高く、次いで「洪水警報」が67.8%、「大雨特別警報」が64.7%となっている。

問19(2). 問19(1)で「1. 暴風警報」～「5. 土砂災害警戒情報」を選んだ方は、「気象警報」をどこから入手していましたか。(○は主な入手源を3つまで)



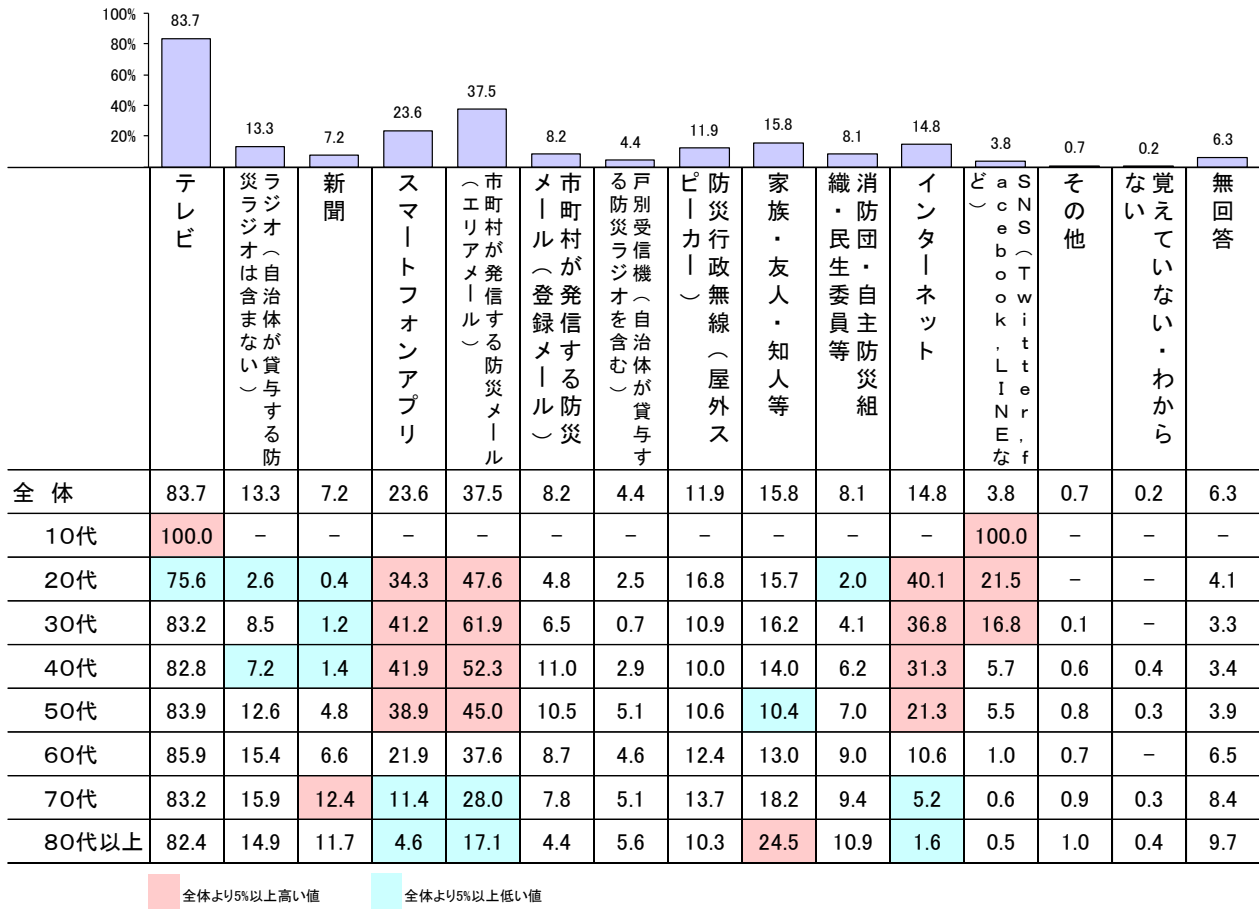
	n	テレビ	ラジオ(自治体が貸与する防災ラジオは含まない)	新聞	スマートフォンアプリ	市町村が発信する防災メール(エリアメール)	市町村が発信する防災メール(登録メール)	戸別受信機(自治体が貸与する防災ラジオを含む)	防災行政無線(屋外スピーカー)	家族・友人・知人等	消防団・自主防災組織・民生委員等	インターネット	SNS (Twitter, LINE, など)	その他	覚えていない・わからぬ	無回答
全体		83.7	13.3	7.2	23.6	37.5	8.2	4.4	11.9	15.8	8.1	14.8	3.8	0.7	0.2	6.3
福島市	358	89.4	14.2	9.8	26.0	34.6	5.6	0.3	2.2	18.2	14.2	18.2	6.1	1.1	0.6	5.0
郡山市	878	83.3	14.9	7.7	22.9	38.4	6.6	0.5	15.3	16.9	6.8	16.2	4.8	0.6	0.2	6.4
いわき市	2445	83.8	11.6	6.1	29.6	50.8	11.6	0.0	1.4	15.7	5.6	16.4	4.5	0.8	0.0	4.7
須賀川市	590	81.2	15.4	6.6	25.1	35.8	4.1	0.2	21.0	14.7	13.9	13.1	2.5	0.2	0.3	8.5
相馬市	527	87.1	9.3	6.6	19.0	31.1	17.1	0.6	14.0	18.8	8.0	12.9	2.3	1.1	-	6.6
二本松市	77	88.3	18.2	7.8	18.2	14.3	9.1	37.7	20.8	6.5	5.2	13.0	1.3	1.3	-	6.5
田村市	82	86.6	13.4	7.3	13.4	13.4	2.4	30.5	17.1	13.4	12.2	7.3	1.2	-	-	11.0
南相馬市	189	92.1	13.2	5.8	15.9	11.1	18.0	27.5	20.1	12.2	5.8	8.5	1.1	-	-	3.2
伊達市	454	82.4	12.1	11.0	20.9	27.1	3.3	0.2	7.9	13.2	16.5	10.6	1.1	0.4	0.7	9.3
本宮市	431	80.5	15.8	5.8	15.3	20.4	4.2	48.7	19.7	11.4	3.9	13.5	2.1	1.6	0.2	7.0
川俣町	75	88.0	8.0	16.0	18.7	9.3	-	-	-	10.7	17.3	2.7	-	-	1.3	5.3
塙町	55	83.6	5.5	7.3	18.2	25.5	5.5	29.1	10.9	14.5	21.8	12.7	-	-	-	7.3
石川町	326	78.2	9.5	6.7	15.0	12.9	2.1	20.6	31.9	11.3	16.0	7.1	1.5	0.9	-	9.8

全体より5%以上高い値 (赤) 全体より5%以上低い値 (青)

気象情報の入手方法については「テレビ」が83.7%と最も高く、次いで「市町村が発信する防災メール(エリアメール)」が37.5%、「スマートフォンアプリ」が23.6%となっている。

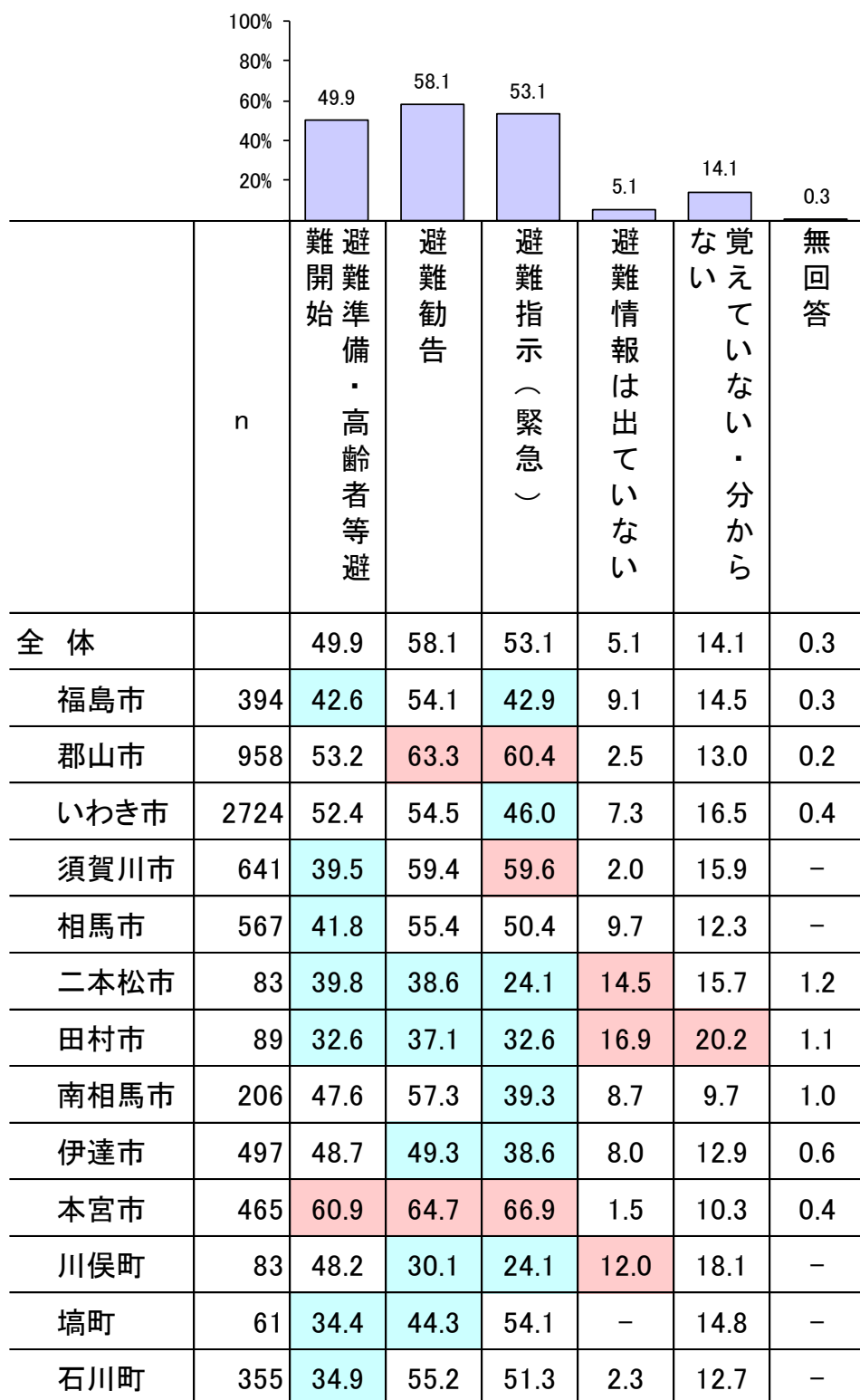
市町別にみると、問17において各市町で主な情報源として高い媒体が、台風第19号上陸後の「気象警報」入手の際も、概ね高くなっている。

【年代別（問1）】



年代別にみると、「スマートフォンアプリ」「市町村が発信する防災メール（エリアメール）」「インターネット」は、20代から50代で5%以上全体に比べ高い。

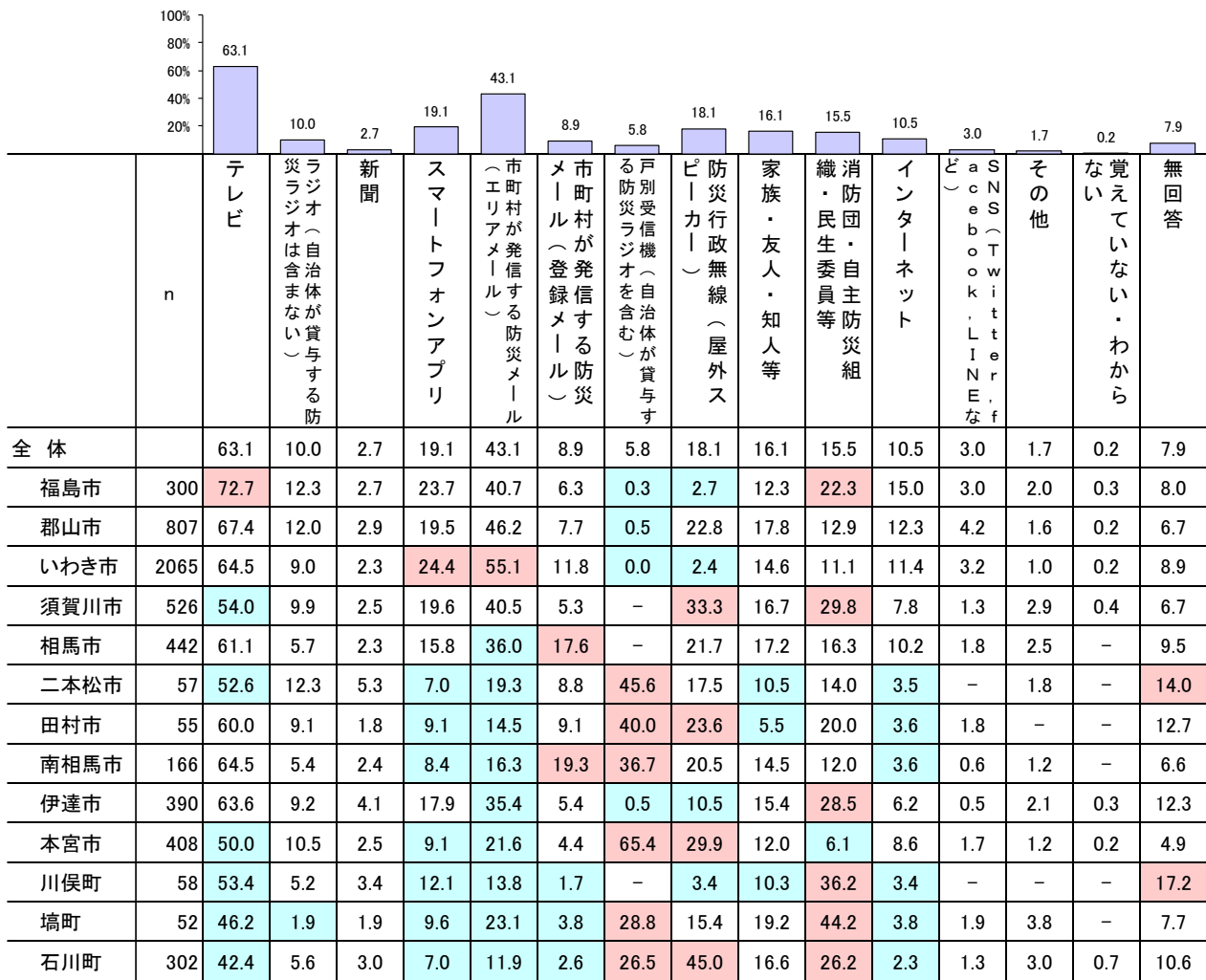
問20(1). 以下の「避難情報」のうち、あなたの住んでいる地域が対象となったものはどれですか。(〇は
いくつでも)



全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

住んでいる地域が対象となった避難情報については「避難勧告」が58.1%と最も高く、次いで「避難指示（緊急）」が53.1%、「避難準備・高齢者等避難開始」が49.9%となっている。

問20(2). 問20(1)で「1. 避難準備・高齢者等避難開始」～「3. 避難指示(緊急)」を選んだ方は、「避難情報」をどこから入手していましたか。(○は主な入手源を3つまで)



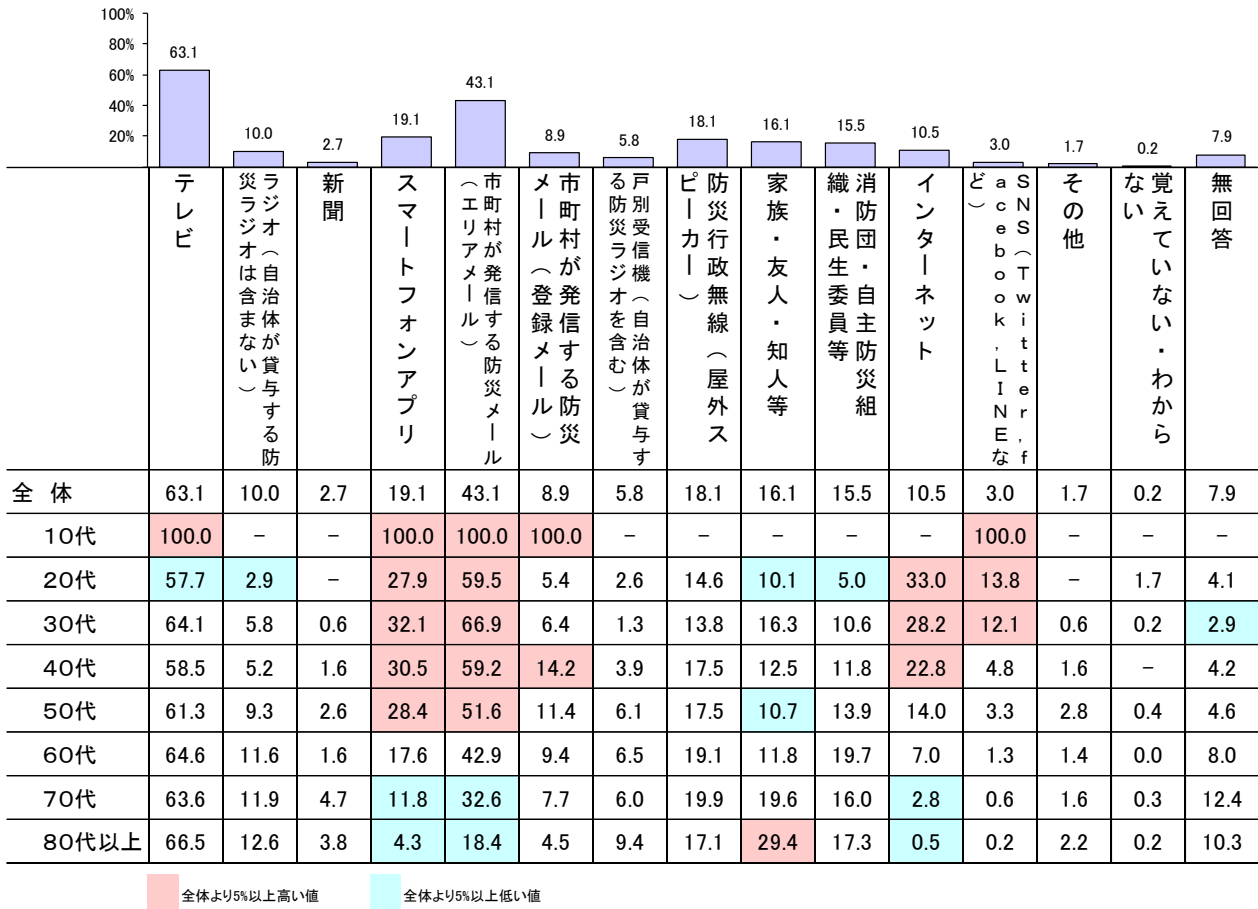
	n	テレビ	ラジオ(自治体が貸与する防災ラジオは含まない)	新聞	スマートフォンアプリ	市町村が発信する防災メール(エリアメール)	市町村が発信する防災メール(登録メール)	戸別受信機(自治体が貸与する防災ラジオを含む)	防災行政無線(屋外スピーカー)	家族・友人・知人等	消防団・自主防災組織・民生委員等	インターネット	SNS (Twitter, LINE, など)	その他	覚えていない・わからぬ	無回答
全体		63.1	10.0	2.7	19.1	43.1	8.9	5.8	18.1	16.1	15.5	10.5	3.0	1.7	0.2	7.9
福島市	300	72.7	12.3	2.7	23.7	40.7	6.3	0.3	2.7	12.3	22.3	15.0	3.0	2.0	0.3	8.0
郡山市	807	67.4	12.0	2.9	19.5	46.2	7.7	0.5	22.8	17.8	12.9	12.3	4.2	1.6	0.2	6.7
いわき市	2065	64.5	9.0	2.3	24.4	55.1	11.8	0.0	2.4	14.6	11.1	11.4	3.2	1.0	0.2	8.9
須賀川市	526	54.0	9.9	2.5	19.6	40.5	5.3	-	33.3	16.7	29.8	7.8	1.3	2.9	0.4	6.7
相馬市	442	61.1	5.7	2.3	15.8	36.0	17.6	-	21.7	17.2	16.3	10.2	1.8	2.5	-	9.5
二本松市	57	52.6	12.3	5.3	7.0	19.3	8.8	45.6	17.5	10.5	14.0	3.5	-	1.8	-	14.0
田村市	55	60.0	9.1	1.8	9.1	14.5	9.1	40.0	23.6	5.5	20.0	3.6	1.8	-	-	12.7
南相馬市	166	64.5	5.4	2.4	8.4	16.3	19.3	36.7	20.5	14.5	12.0	3.6	0.6	1.2	-	6.6
伊達市	390	63.6	9.2	4.1	17.9	35.4	5.4	0.5	10.5	15.4	28.5	6.2	0.5	2.1	0.3	12.3
本宮市	408	50.0	10.5	2.5	9.1	21.6	4.4	65.4	29.9	12.0	6.1	8.6	1.7	1.2	0.2	4.9
川俣町	58	53.4	5.2	3.4	12.1	13.8	1.7	-	3.4	10.3	36.2	3.4	-	-	-	17.2
塙町	52	46.2	1.9	1.9	9.6	23.1	3.8	28.8	15.4	19.2	44.2	3.8	1.9	3.8	-	7.7
石川町	302	42.4	5.6	3.0	7.0	11.9	2.6	26.5	45.0	16.6	26.2	2.3	1.3	3.0	0.7	10.6

全体より5%以上高い値 (赤) 全体より5%以上低い値 (青)

避難情報の入手方法では「テレビ」が63.1%と最も高く、次いで「市町村が発信する防災メール(エリアメール)」が43.1%、「スマートフォンアプリ」が19.1%となっている。

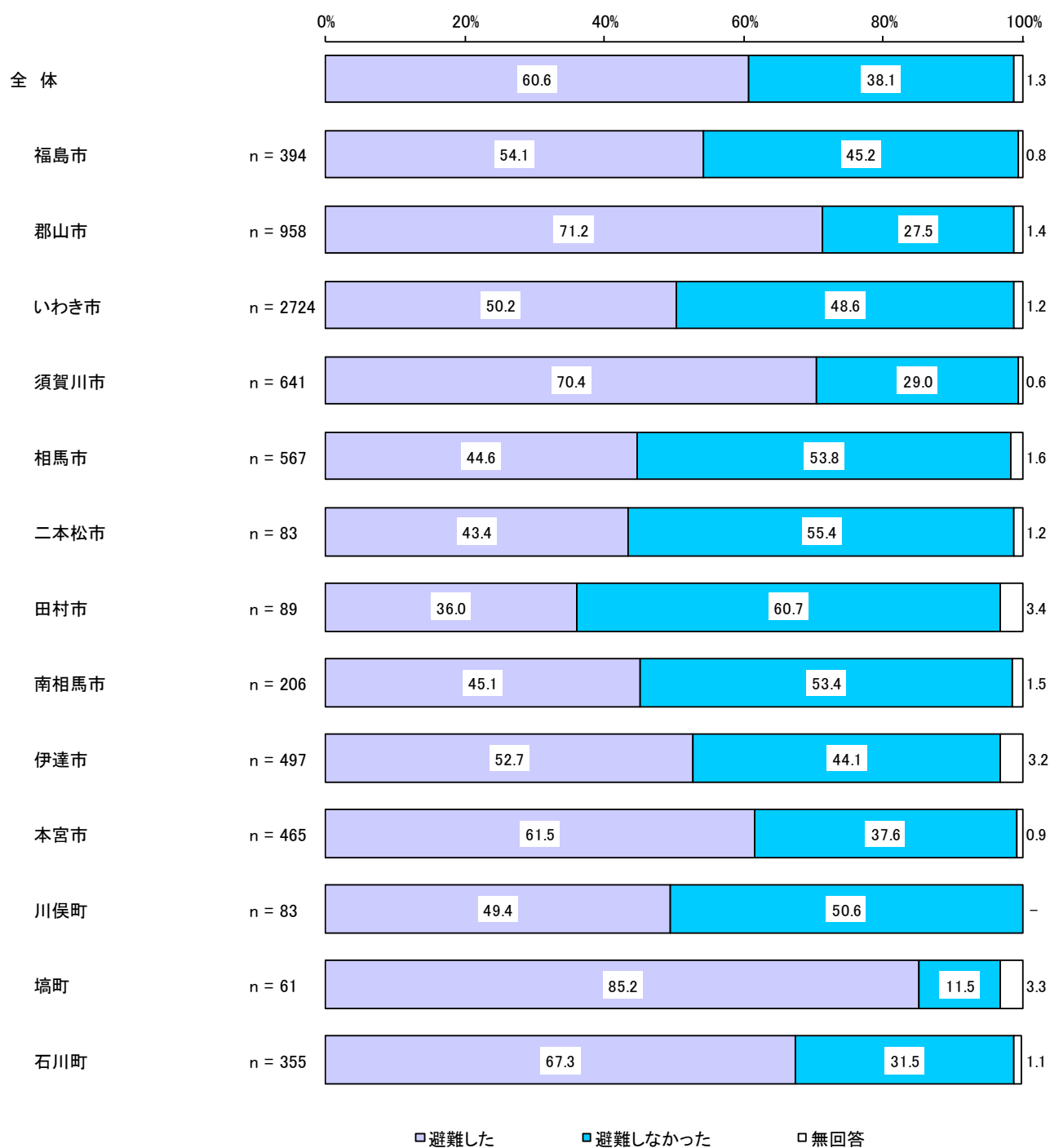
市町別にみると、問17において各市町で主な情報源として高い媒体が、台風第19号上陸後の「避難情報」入手の際も、概ね高くなっている。

【年代（問1）別】



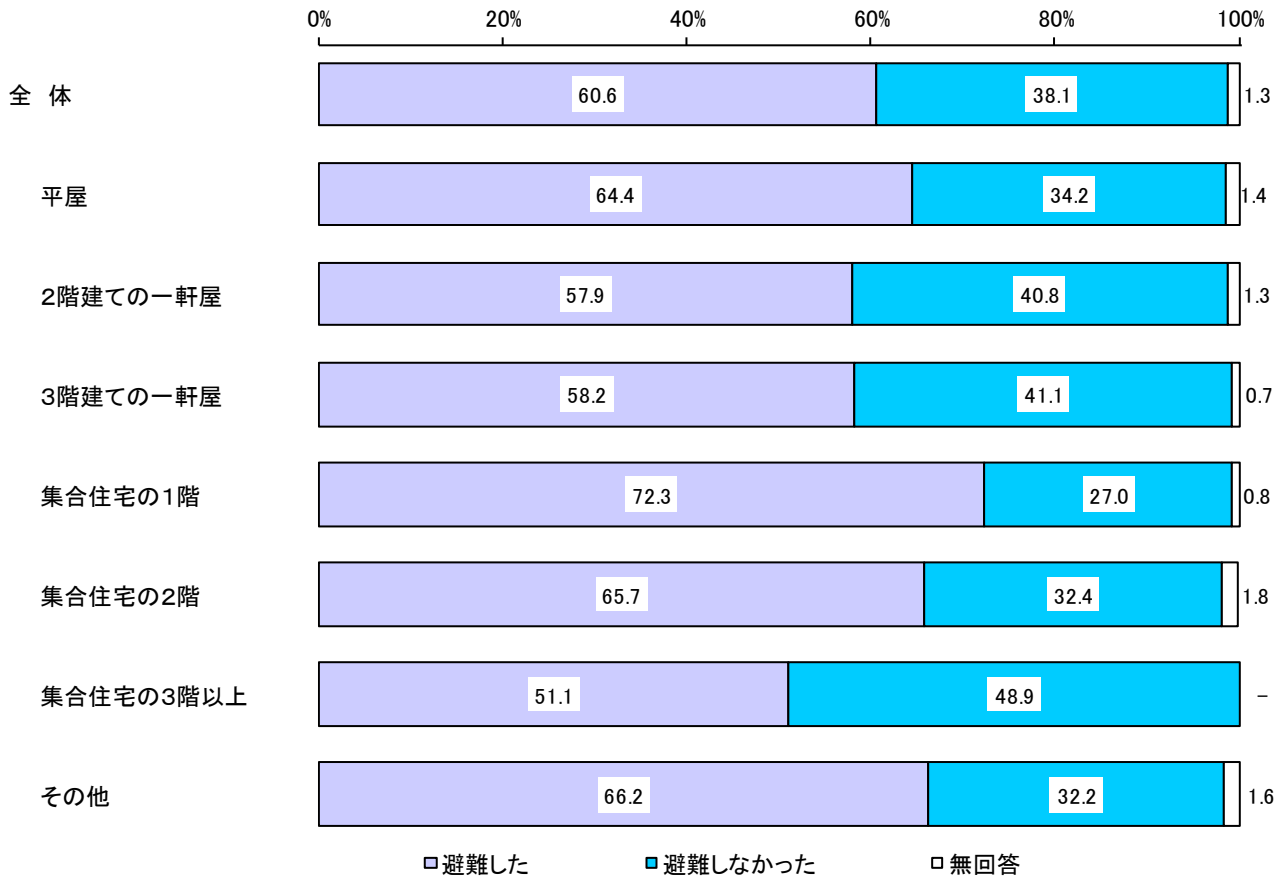
年代別にみると、「スマートフォンアプリ」「市町村が発信する防災メール（エリアメール）」「インターネット」は、20代から40代で5%以上全体に比べ高い。

問21. あなたはご自宅が被災する前に避難しましたか。(〇は1つ)



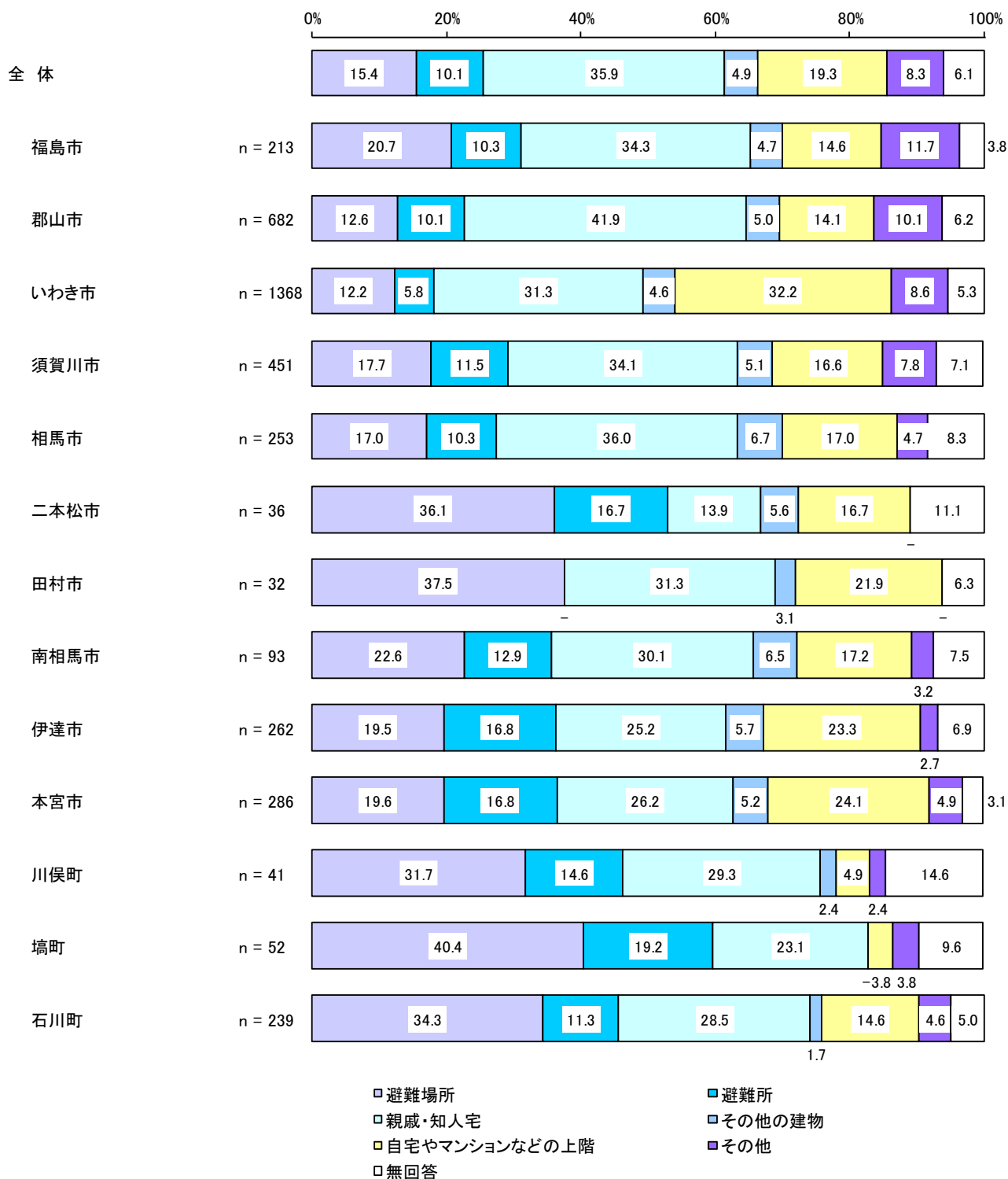
自宅被災前の避難の有無については「避難した」が60.6%となっている。
市町別にみると、「避難した」は石川町で65%以上、郡山市、須賀川市、塙町で70%以上と全体に比べ高い。

【自宅の形状・階層別（問 6（1））】



自宅の形状・階層別にみると、「避難した」は集合住宅の1階で70%以上と全体に比べ高い。

問22. 問21で「1. 避難した」を選んだ方は、最終的にどこに避難しましたか。(〇は1つ)

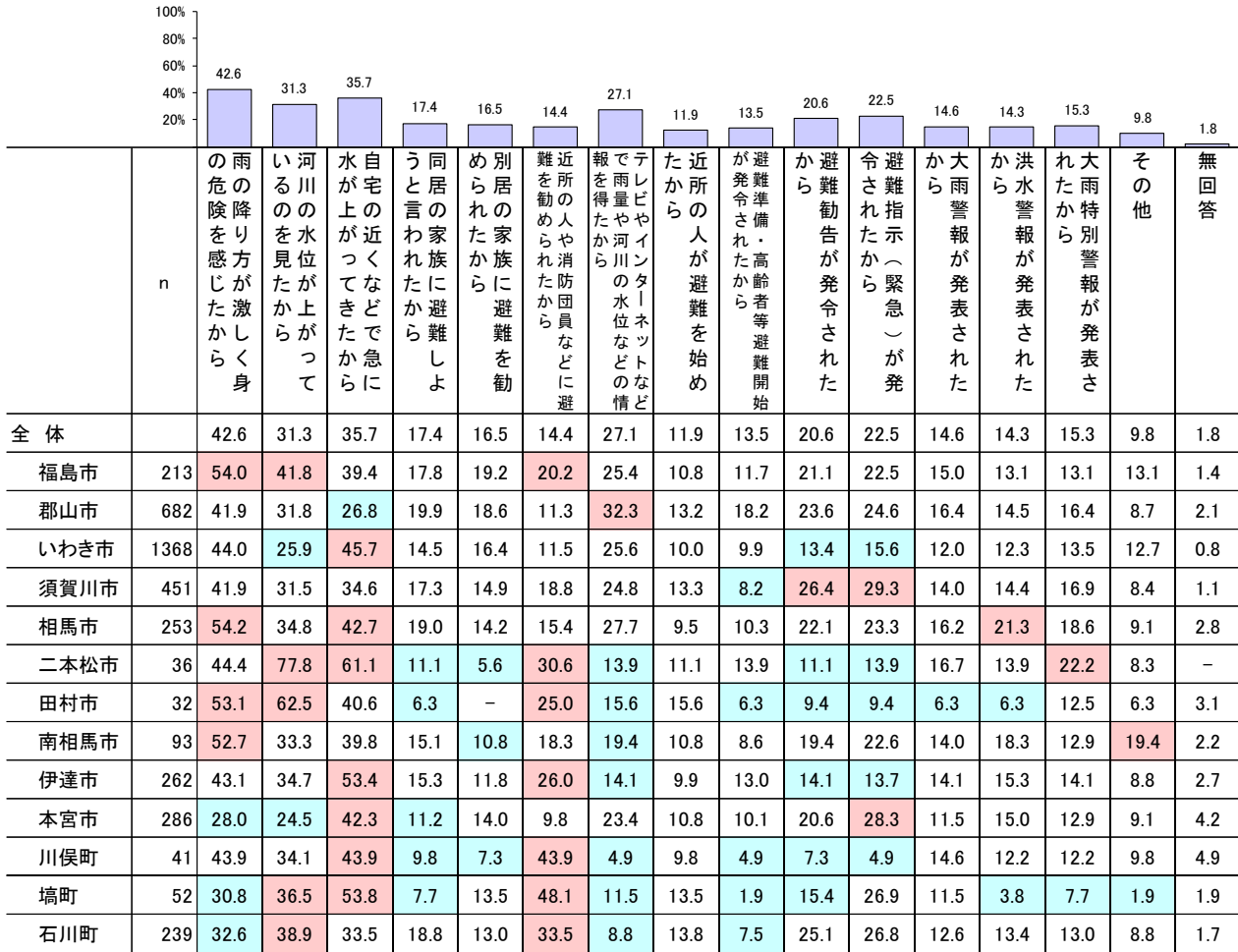


最終的な避難先については「親戚・知人宅」が35.9%と最も高く、次いで「自宅やマンションなどの上階」が19.3%、「避難場所」が15.4%となっている。

市町別にみると、「避難場所」は福島市、南相馬市で20%以上、二本松市、田村市、川俣町、石川町で30%以上、塙町で40%以上と全体に比べ高い。「自宅やマンションなどの上階」いわき市で30%以上と全体に比べ高い。

問23. 問21で「1. 避難した」を選んだ方は、避難した理由について教えてください。(○はいくつでも)
 なお、避難する決め手となった理由については、◎をつけてください。(◎は2つまで)

【避難した理由】

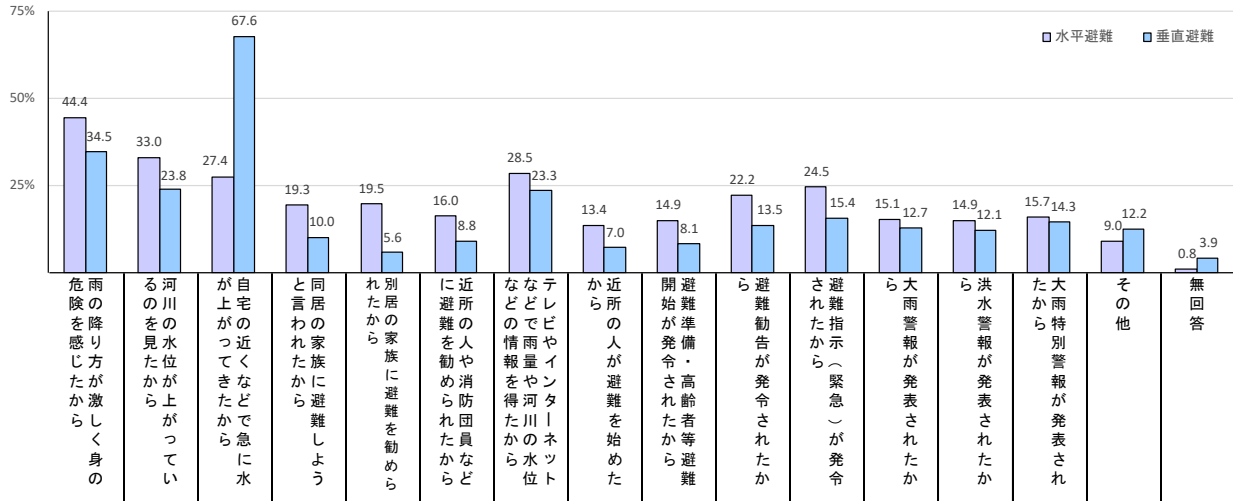


全体より5%以上高い値 (赤) 全体より5%以上低い値 (青)

避難した理由については「雨の降り方が激しく身の危険を感じたから」が42.6%と最も高く、次いで「自宅の近くなどで急に水が上がってきたから」が35.7%、「河川の水位が上がっているのを見たから」が31.3%となっている。

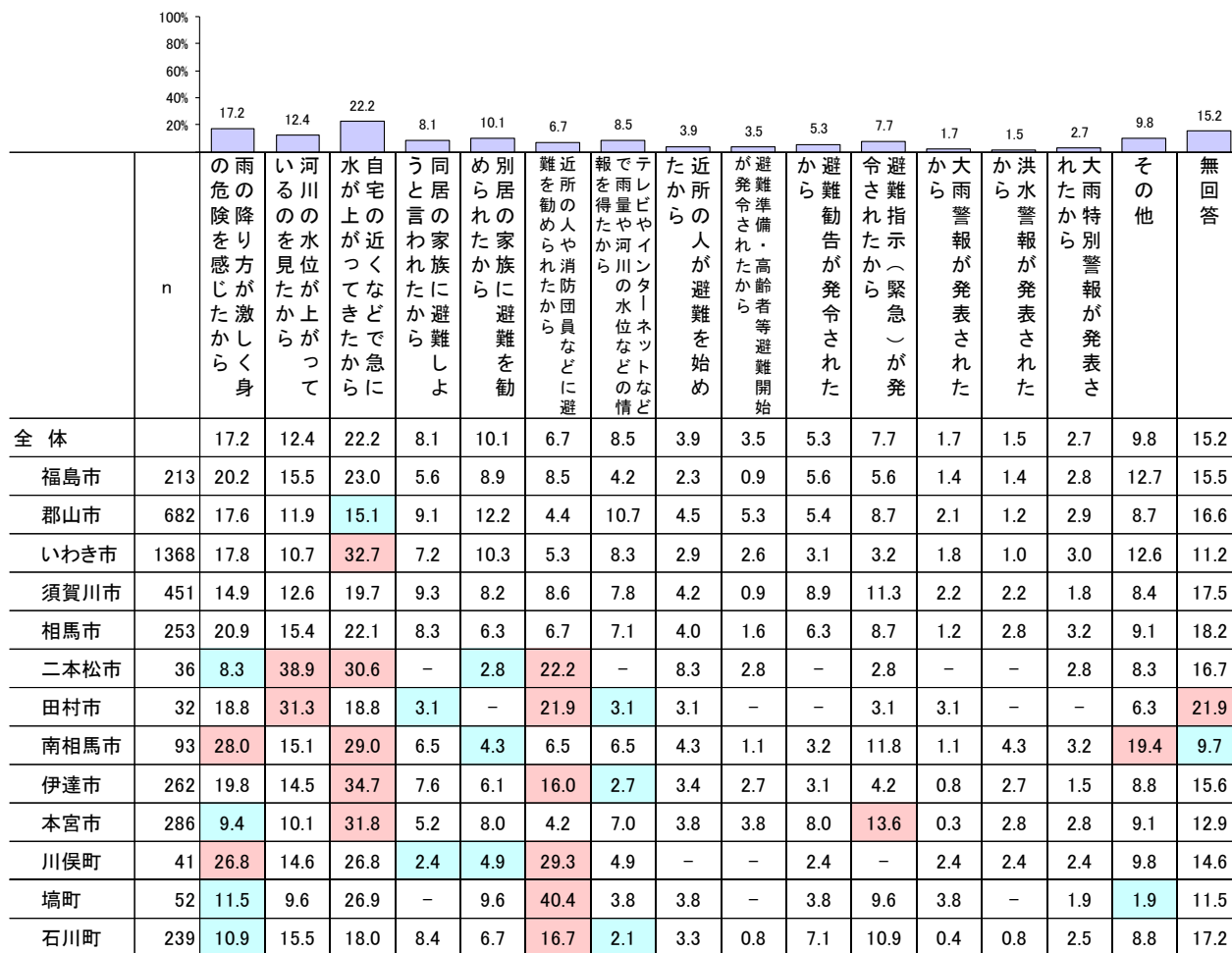
市町別にみると、「雨の降り方が激しく身の危険を感じたから」は福島市、相馬市、田村市、南相馬市で50%以上と全体に比べ高い。「河川の水位が上がっているのを見たから」は塙町、石川町で35%以上、福島市で40%以上、田村市で60%以上、二本松市で70%以上と全体に比べ高い。「自宅の近くなどで急に水が上がってきたから」はいわき市、相馬市、本宮市、川俣町で40%以上、伊達市、塙町で50%以上、二本松市で60%以上と全体に比べ高い。「近所の人や消防団員などに避難を勧められたから」は福島市、田村市、伊達市で20%以上、二本松市、石川町で30%以上、川俣町、塙町で40%以上と全体に比べ高い。

【避難類型別】



避難類型別にみると、「水平避難」は「垂直避難」に比べ全体的に高い。「自宅の近くなどで急に水が上がってきたから」は「垂直避難」で「水平避難」に比べおよそ 40 ポイント高くなっている。

【避難する決め手となった理由】

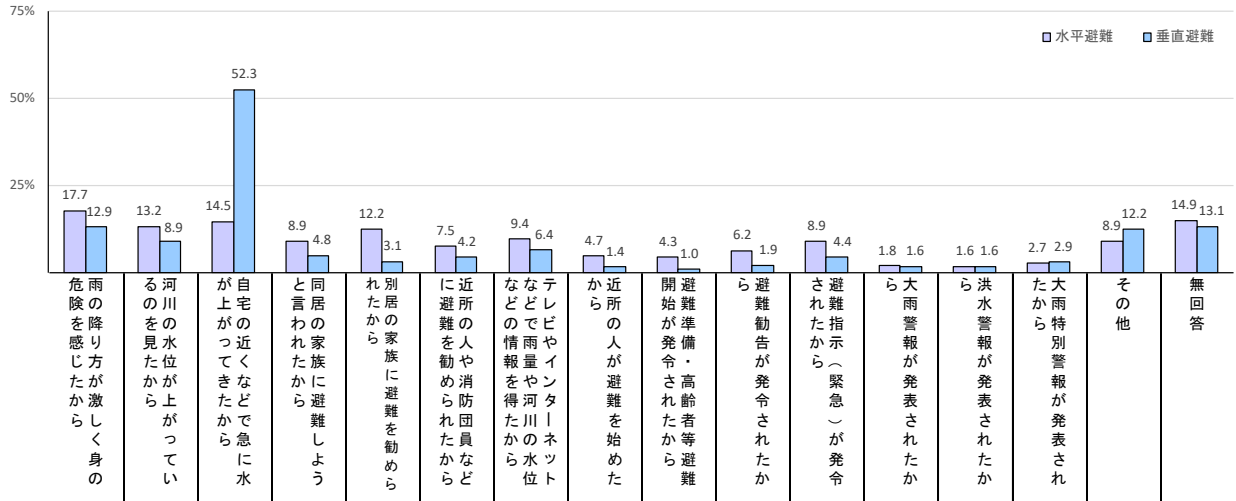


全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

避難した決め手となった理由については「自宅の近くなどで急に水が上がってきたから」が22.2%と最も高く、次いで「雨の降り方が激しく身の危険を感じたから」が17.2%、「河川の水位が上がっているのを見たから」が12.4%となっている。

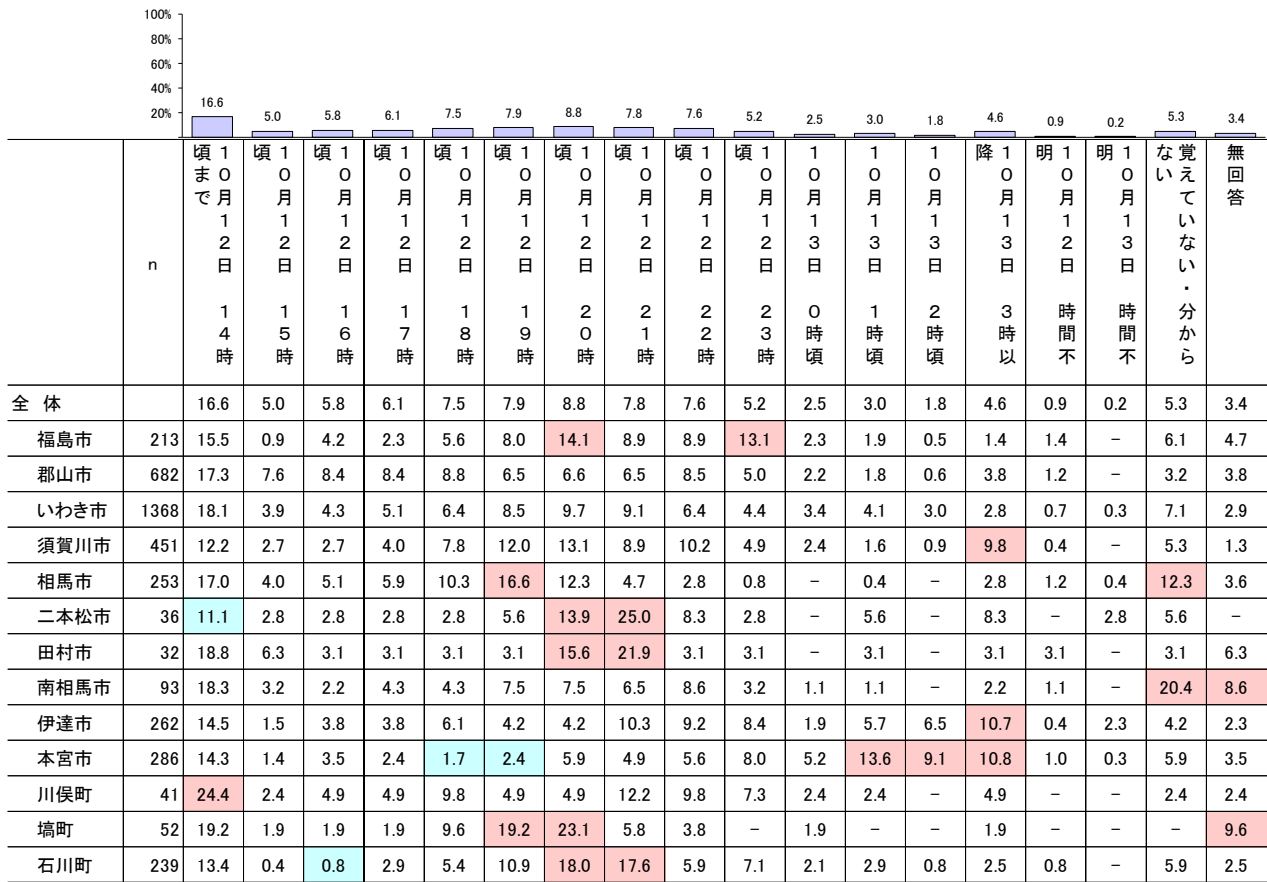
市町別にみると、「雨の降り方が激しく身の危険を感じたから」は南相馬市、川俣町で25%以上と全体に比べ高い。「河川の水位が上がっているのを見たから」は二本松市、田村市で30%以上と全体に比べ高い。「自宅の近くなどで急に水が上がってきたから」はいわき市、二本松市、伊達市、本宮市で30%以上と全体に比べ高い。「近所の人や消防団員などに避難を勧められたから」は伊達市、石川町で15%以上、二本松市、田村市、川俣町で20%以上、塙町で40%以上と全体に比べ高い。

【避難類型別】



避難類型別にみると、「自宅の近くなどで急に水が上がってきたから」は《垂直避難》で《水平避難》に比べおよそ 40 ポイント高くなっている。「別居の家族に避難を勧められたから」は《水平避難》で《垂直避難》に比べおよそ 10 ポイント高くなっている。

問24. 問21で「1. 避難した」を選んだ方は、避難を開始したおおまかな時間を教えてください。

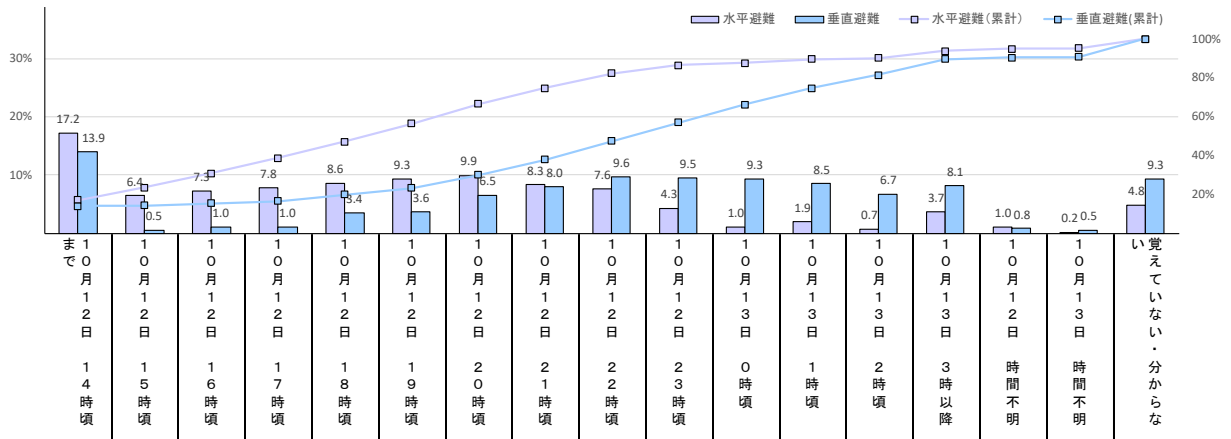


全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

避難を開始したおおまかな時間については大雨警報発表前であり比較的雨が強まる前の12日14時頃までの早い段階で避難を開始した人はおよそ1割半ば、避難勧告や避難指示が発令されていた12日15時から19時頃までに避難を開始した人はおよそ3割、暗くなりすでに災害が発生している可能性が高い大雨特別警報が発表され強い雨が降り続いていた12日20時頃から13日1時頃の間避難を開始した人はおよそ3割半ばとなっている。

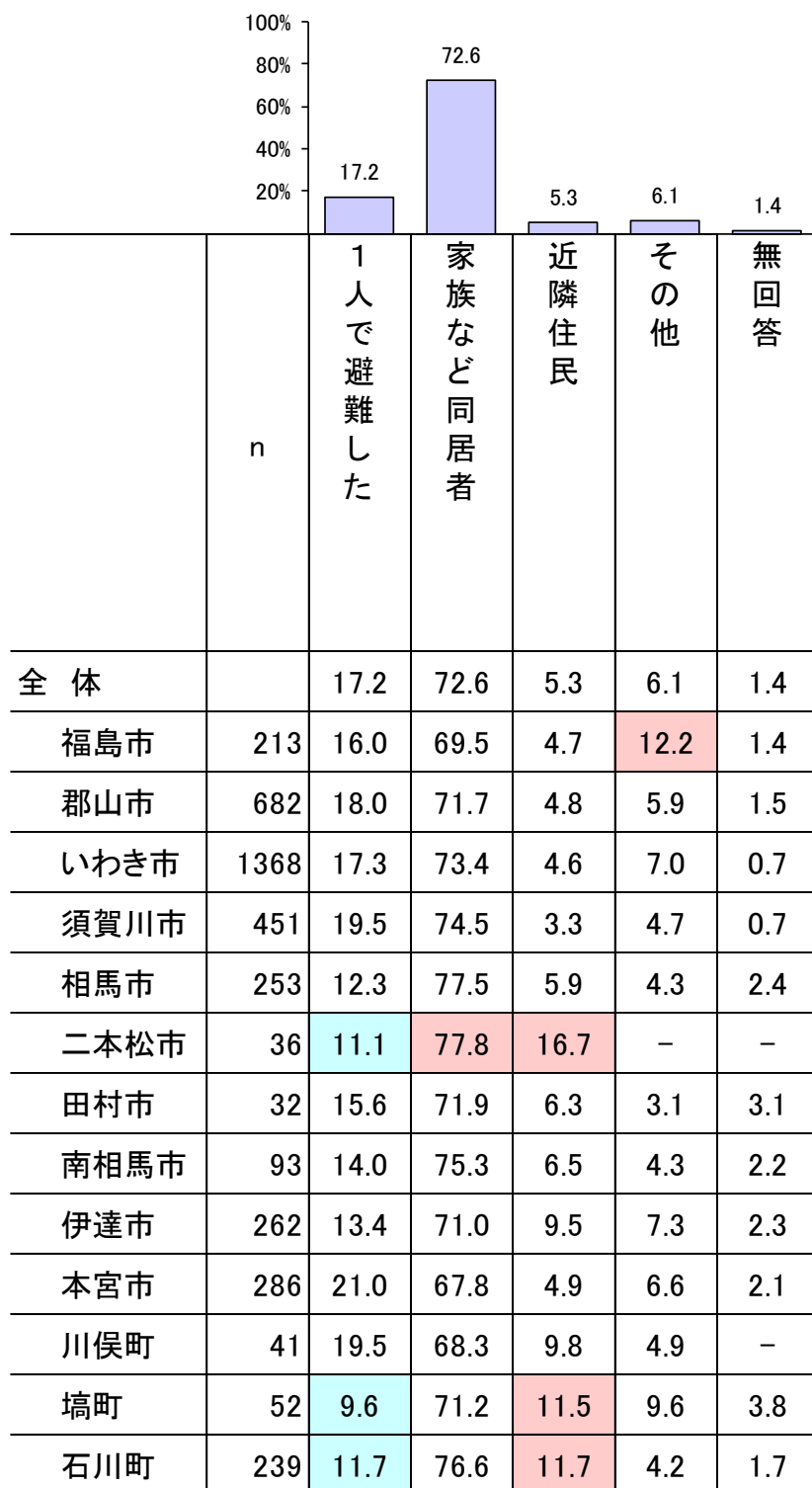
市町別にみると、「10月12日14時頃までに避難」は川俣町で20%以上と全体に比べ高い。「10月12日15時頃～19時頃までに避難」は郡山市、相馬市でおよそ4割と全体に比べ高い。「10月12日20時頃～23時頃までに避難」は福島市、須賀川市、二本松市、田村市、石川町でおよそ4割～5割と全体に比べ高い。

【避難類型別】



避難類型別にみると、避難を開始した人の割合は「10月12日 20時頃」以前は《水平避難》で《垂直避難》に比べ高く、「10月12日 22時頃」以降は《垂直避難》で《水平避難》に比べ高くなっている。

問25. 問21で「1. 避難した」を選んだ方は、誰と避難しましたか。（「1人で避難した」場合○は1つ、「1人で避難した」以外の場合○はいくつでも）

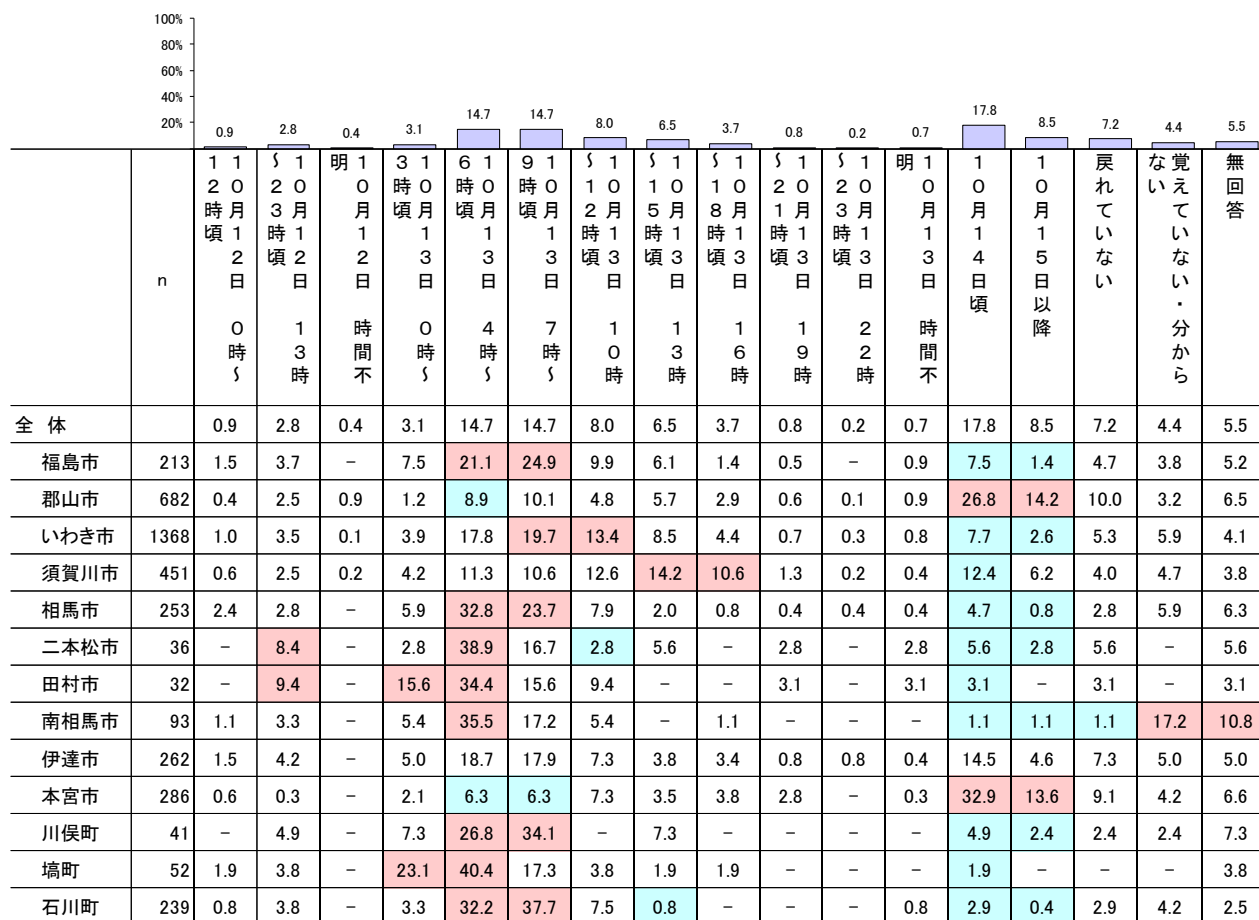


全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

一緒に避難した人では「家族など同居者」が72.6%と最も高く、次いで「1人で避難した」が17.2%となっている。

市町別にみると、二本松市、塙町、石川町では「近隣住民」が10%以上と全体に比べ高い。

問26. 問21で「1. 避難した」を選んだ方は、避難先から最初に自宅などへ戻った大まかな時間を教えてください。

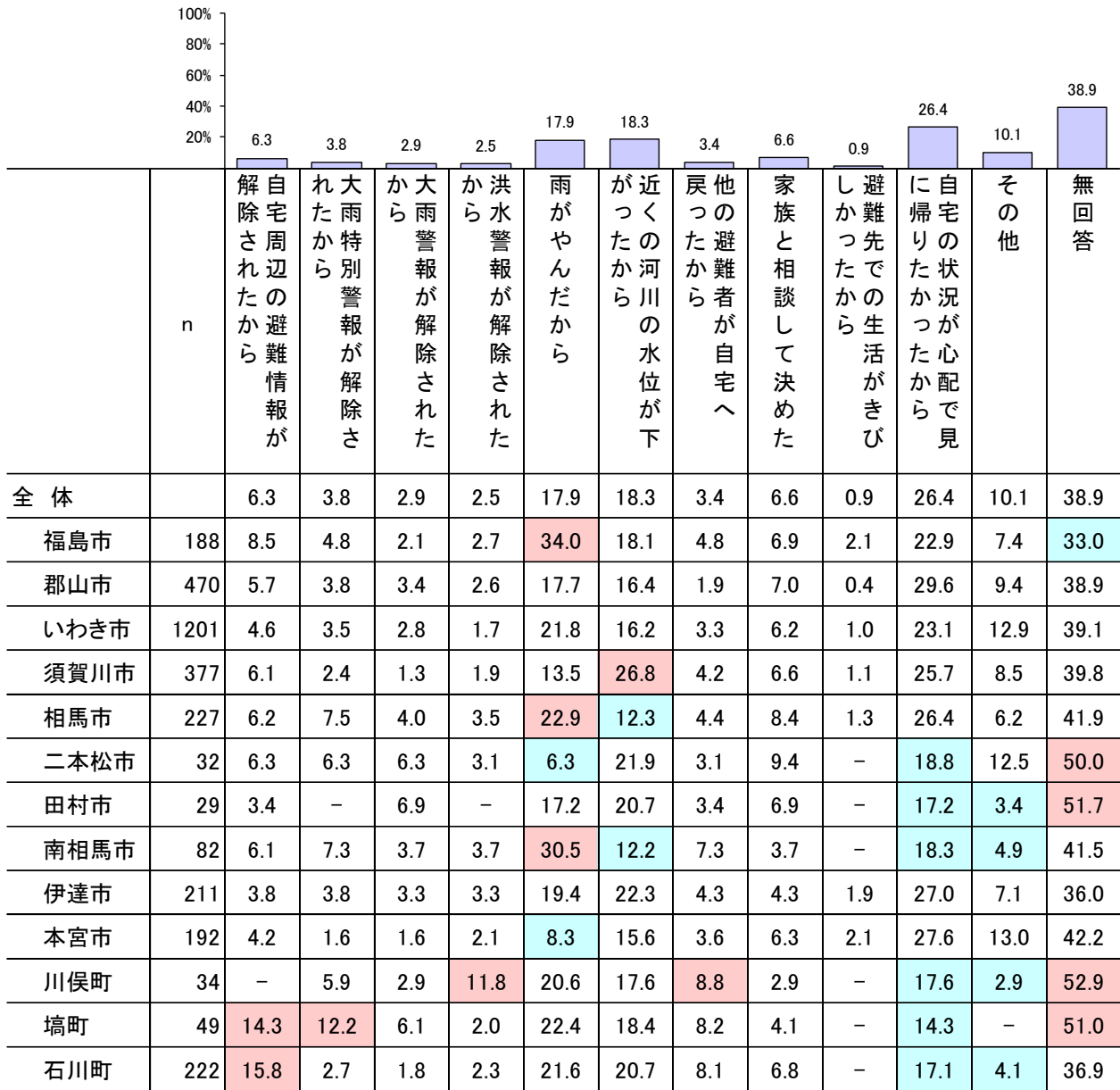


市町村	n	10月1日頃	10月2日頃	10月3日頃	10月4日頃	10月5日頃	10月6日頃	10月7日頃	10月8日頃	10月9日頃	10月10日頃	10月11日頃	10月12日頃	10月13日頃	10月14日頃	10月15日以降	戻れていない	覚えていない・分からない	無回答
全体		0.9	2.8	0.4	3.1	14.7	14.7	8.0	6.5	3.7	0.8	0.2	0.7	17.8	8.5	7.2	4.4	5.5	5.5
福島市	213	1.5	3.7	-	7.5	21.1	24.9	9.9	6.1	1.4	0.5	-	0.9	7.5	1.4	4.7	3.8	5.2	5.2
郡山市	682	0.4	2.5	0.9	1.2	8.9	10.1	4.8	5.7	2.9	0.6	0.1	0.9	26.8	14.2	10.0	3.2	6.5	6.5
いわき市	1368	1.0	3.5	0.1	3.9	17.8	19.7	13.4	8.5	4.4	0.7	0.3	0.8	7.7	2.6	5.3	5.9	4.1	4.1
須賀川市	451	0.6	2.5	0.2	4.2	11.3	10.6	12.6	14.2	10.6	1.3	0.2	0.4	12.4	6.2	4.0	4.7	3.8	3.8
相馬市	253	2.4	2.8	-	5.9	32.8	23.7	7.9	2.0	0.8	0.4	0.4	0.4	4.7	0.8	2.8	5.9	6.3	6.3
二本松市	36	-	8.4	-	2.8	38.9	16.7	2.8	5.6	-	2.8	-	2.8	5.6	2.8	5.6	-	5.6	5.6
田村市	32	-	9.4	-	15.6	34.4	15.6	9.4	-	-	3.1	-	3.1	3.1	-	3.1	-	3.1	3.1
南相馬市	93	1.1	3.3	-	5.4	35.5	17.2	5.4	-	1.1	-	-	-	1.1	1.1	1.1	17.2	10.8	10.8
伊達市	262	1.5	4.2	-	5.0	18.7	17.9	7.3	3.8	3.4	0.8	0.8	0.4	14.5	4.6	7.3	5.0	5.0	5.0
本宮市	286	0.6	0.3	-	2.1	6.3	6.3	7.3	3.5	3.8	2.8	-	0.3	32.9	13.6	9.1	4.2	6.6	6.6
川俣町	41	-	4.9	-	7.3	26.8	34.1	-	7.3	-	-	-	-	4.9	2.4	2.4	2.4	7.3	7.3
塙町	52	1.9	3.8	-	23.1	40.4	17.3	3.8	1.9	1.9	-	-	-	1.9	-	-	-	3.8	3.8
石川町	239	0.8	3.8	-	3.3	32.2	37.7	7.5	0.8	-	-	-	0.8	2.9	0.4	2.9	4.2	2.5	2.5

全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

避難先から最初に自宅などへ戻った大まかな時間については「10月14日頃」が17.8%と最も高く、次いで「10月13日 4時～6時頃」「10月13日 7時～9時頃」が14.7%となっている。市町別にみると、「10月14日頃」は郡山市で25%以上、本宮市で30%以上と全体に比べ高い。

問27. 問26で「4. 戻っていない」以外を選んだ方は、避難先から自宅などへ最初に戻る決め手となった理由を教えてください。(〇は2つまで)



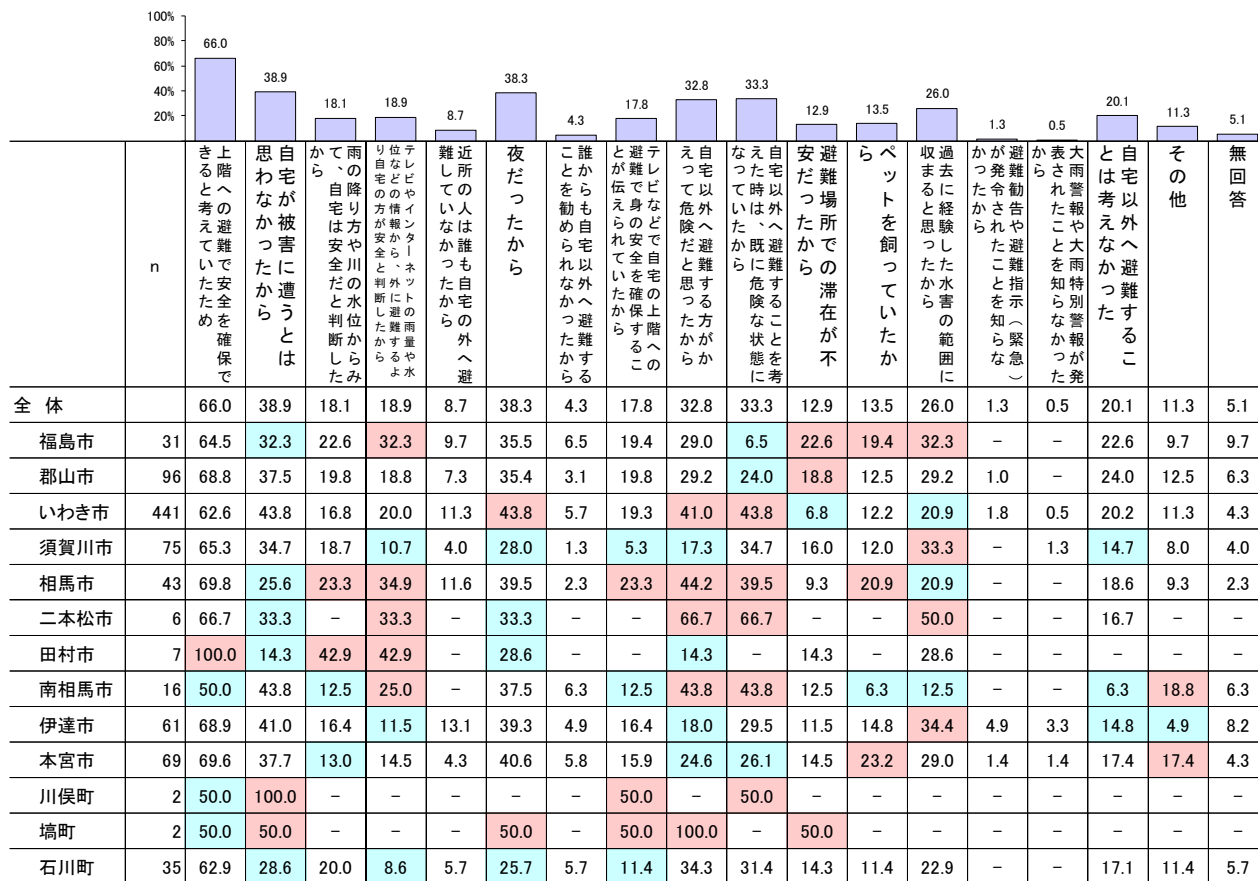
全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

避難先から自宅などへ最初に戻る決め手となった理由については「自宅の状況が心配で見に帰りたいから」が26.4%と最も高く、次いで「近くの河川の水位が下がったから」が18.3%、「雨がやんだから」が17.9%となっている。

市町別にみても、「雨がやんだから」は福島市、南相馬市で30%以上と全体に比べ高い。「近くの河川の水位が下がったから」は須賀川市で25%以上と全体に比べ高い。「自宅周辺の避難情報が解除されたから」は塙町、石川町で10%以上と全体に比べ高い。「洪水警報が解除されたから」は川俣町で10%以上と全体に比べ高い。

問28. 問22で「5. 自宅やマンションなどの上階」を選んだ方は、自宅やマンション以外へ避難しなかった理由について教えてください。(○はいくつでも)
 なお、自宅やマンション以外へ避難しない決め手となった理由については、◎をつけてください。(◎は2つまで)

【自宅やマンション以外へ避難しなかった理由】



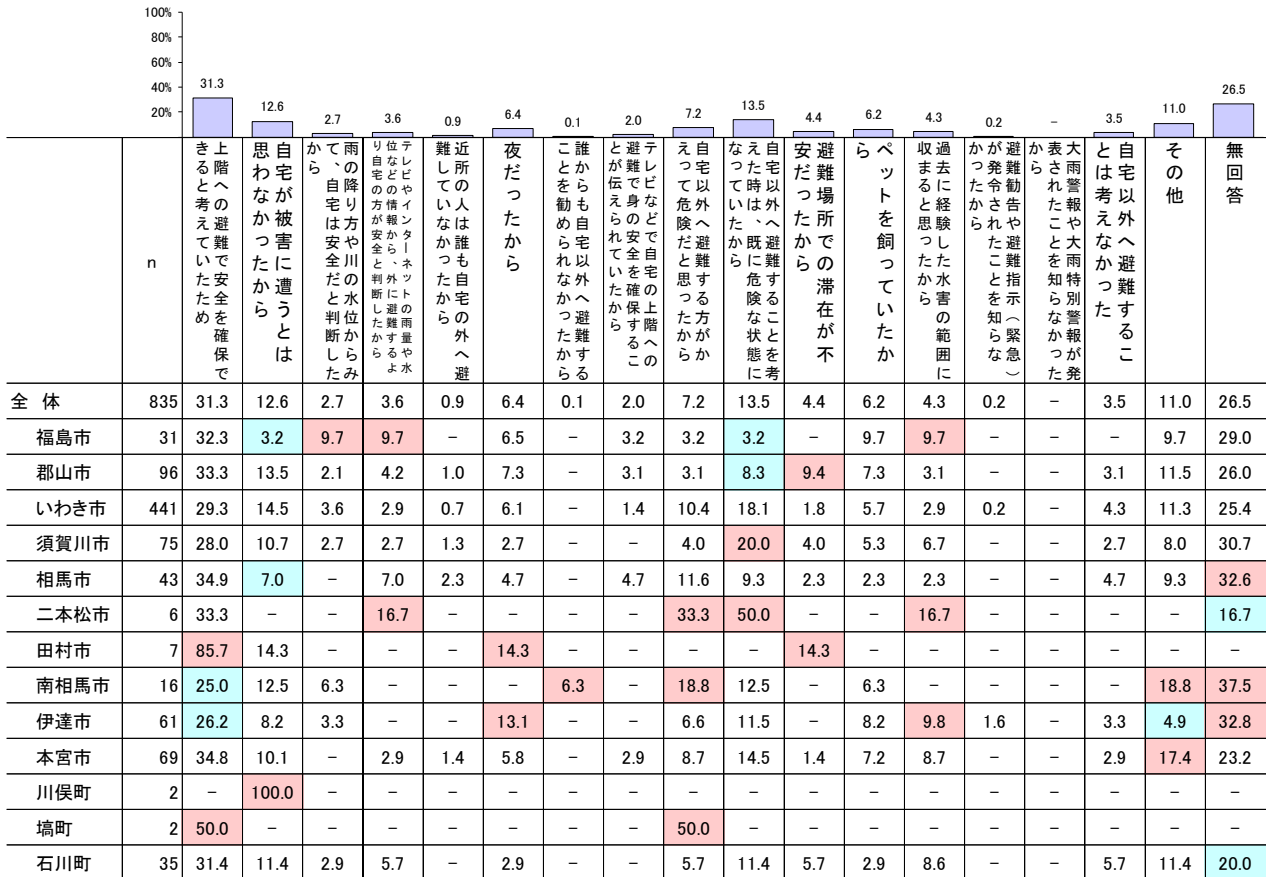
	n	上階への避難で安全を確保できると考えていたため	自宅が被害に遭うとは思わなかったから	雨の降り方や川の水位からみて、自宅は安全だと判断したから	テレビやインターネットの雨量や水位などの情報から、外に避難するより自宅の方が安全と判断したから	近所の人は誰も自宅の外へ避難していなかったから	夜だったから	誰からも自宅以外へ避難することを勧められなかったから	テレビなどで自宅の上階への避難で身の安全を確保することが伝えられていたから	自宅以外へ避難する方がかえって危険だと思ったから	自宅以外へ避難する時間を考えた時は、既に危険な状態になっていたから	避難場所での滞在が不安だったから	ペットを飼っていたから	過去に経験した水害の範囲に収まると思ったから	避難勧告や避難指示(緊急)が発令されたことを知らなかったから	大雨警報や大雨特別警報が発表されたことを知らなかったから	自宅以外へ避難することとは考えなかった	その他	無回答
全体		66.0	38.9	18.1	18.9	8.7	38.3	4.3	17.8	32.8	33.3	12.9	13.5	26.0	1.3	0.5	20.1	11.3	5.1
福島市	31	64.5	32.3	22.6	32.3	9.7	35.5	6.5	19.4	29.0	6.5	22.6	19.4	32.3	-	-	22.6	9.7	9.7
郡山市	96	68.8	37.5	19.8	18.8	7.3	35.4	3.1	19.8	29.2	24.0	18.8	12.5	29.2	1.0	-	24.0	12.5	6.3
いわき市	441	62.6	43.8	16.8	20.0	11.3	43.8	5.7	19.3	41.0	43.8	6.8	12.2	20.9	1.8	0.5	20.2	11.3	4.3
須賀川市	75	65.3	34.7	18.7	10.7	4.0	28.0	1.3	5.3	17.3	34.7	16.0	12.0	33.3	-	1.3	14.7	8.0	4.0
相馬市	43	69.8	25.6	23.3	34.9	11.6	39.5	2.3	23.3	44.2	39.5	9.3	20.9	20.9	-	-	18.6	9.3	2.3
二本松市	6	66.7	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	66.7	66.7	-	-	50.0	-	-	16.7	-	-
田村市	7	100.0	14.3	42.9	42.9	-	28.6	-	-	14.3	-	14.3	-	28.6	-	-	-	-	-
南相馬市	16	50.0	43.8	12.5	25.0	-	37.5	6.3	12.5	43.8	43.8	12.5	6.3	12.5	-	-	6.3	18.8	6.3
伊達市	61	68.9	41.0	16.4	11.5	13.1	39.3	4.9	16.4	18.0	29.5	11.5	14.8	34.4	4.9	3.3	14.8	4.9	8.2
本宮市	69	69.6	37.7	13.0	14.5	4.3	40.6	5.8	15.9	24.6	26.1	14.5	23.2	29.0	1.4	1.4	17.4	17.4	4.3
川俣町	2	50.0	100.0	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
塙町	2	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
石川町	35	62.9	28.6	20.0	8.6	5.7	25.7	5.7	11.4	34.3	31.4	14.3	11.4	22.9	-	-	17.1	11.4	5.7

全体より5%以上高い値 (赤) 全体より5%以上低い値 (青)

自宅やマンション以外へ避難しなかった理由については「上階への避難で安全を確保できると考えていたため」が66.0%と最も高く、次いで「自宅が被害に遭うとは思わなかったから」が38.9%、「夜だったから」が38.3%となっている。

市町別にみると、「自宅以外へ避難することを考えた時は、既に危険な状態になっていたから」はいわき市で43.8%と全体に比べ高い。

【自宅やマンション以外へ避難しない決め手となった理由】



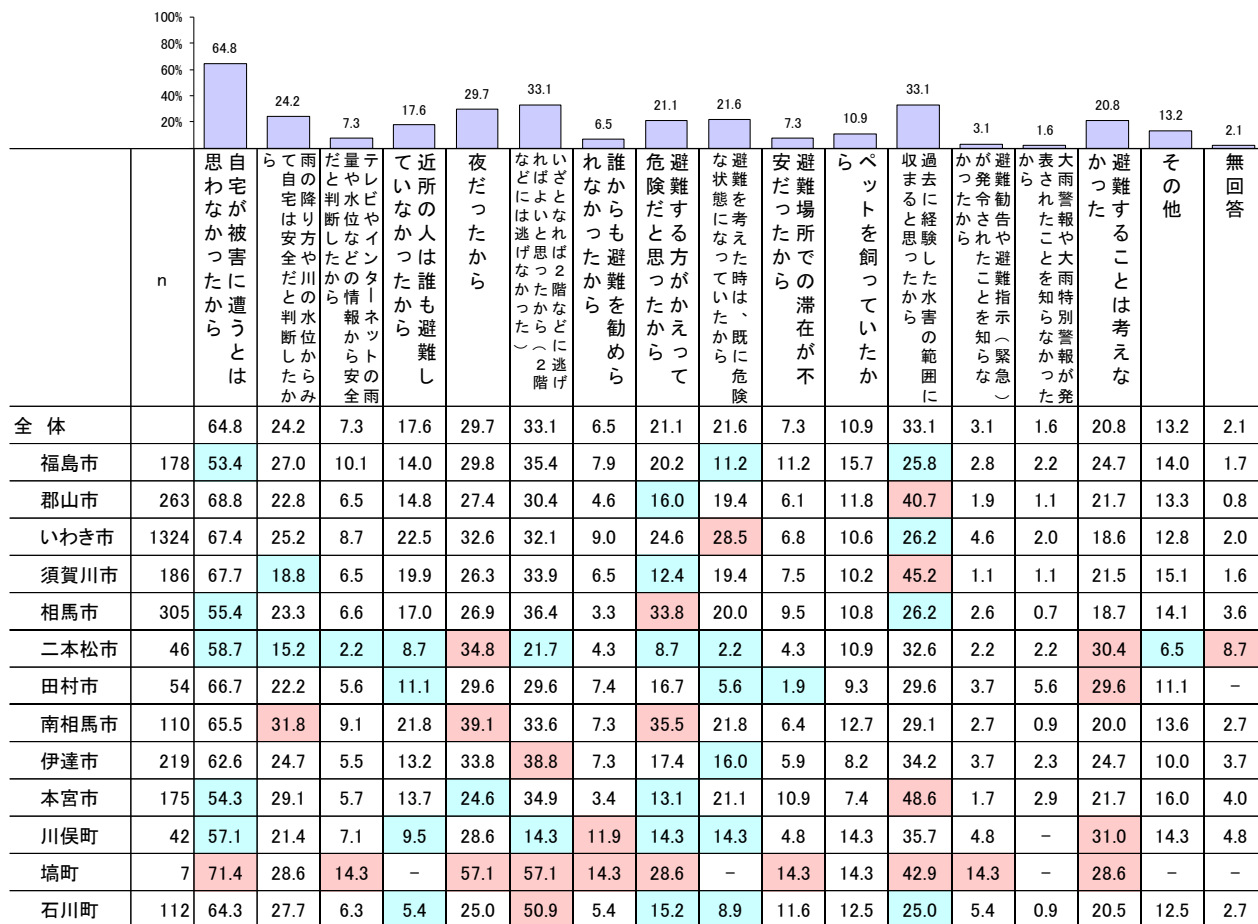
全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

自宅やマンション以外へ避難しなかった決め手となった理由については「上階への避難で安全を確保できると考えていたため」が31.3%と最も高く、次いで「自宅以外へ避難することを考えた時は、既に危険な状態になっていたから」が13.5%、「自宅が被害に遭うとは思わなかったから」が12.6%となっている。

問29. 問21で「2. 避難しなかった」を選んだ方は、避難しなかった理由について教えてください。(〇は
いくつでも)

なお、避難しなかった決め手となった理由については、◎をつけてください。(◎は2つまで)

【避難しなかった理由】

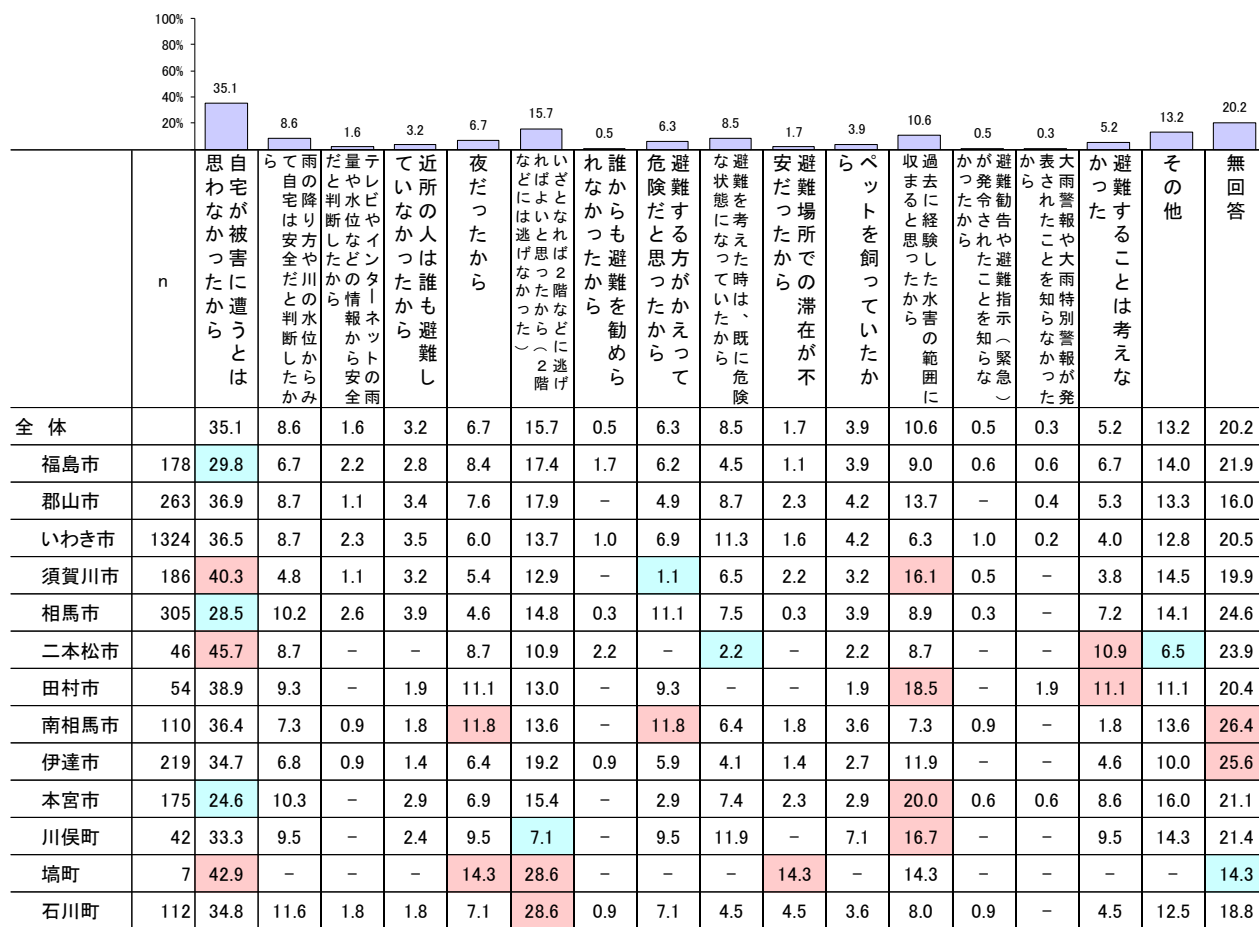


全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

避難しなかった理由については「自宅が被害に遭うとは思わなかったから」が64.8%と最も高く、次いで「いざとなれば2階などに逃げればよいと思ったから(2階などには逃げなかった)」「過去に経験した水害の範囲に収まると思ったから」が33.1%となっている。

市町別にみると、「いざとなれば2階などに逃げればよいと思ったから(2階などには逃げなかった)」は伊達市で約4割、石川町で50%以上と全体に比べ高い。「過去に経験した水害の範囲に収まると思ったから」は郡山市、須賀川市、本宮市で40%以上と全体に比べ高い。

【避難しなかった決め手となった理由】

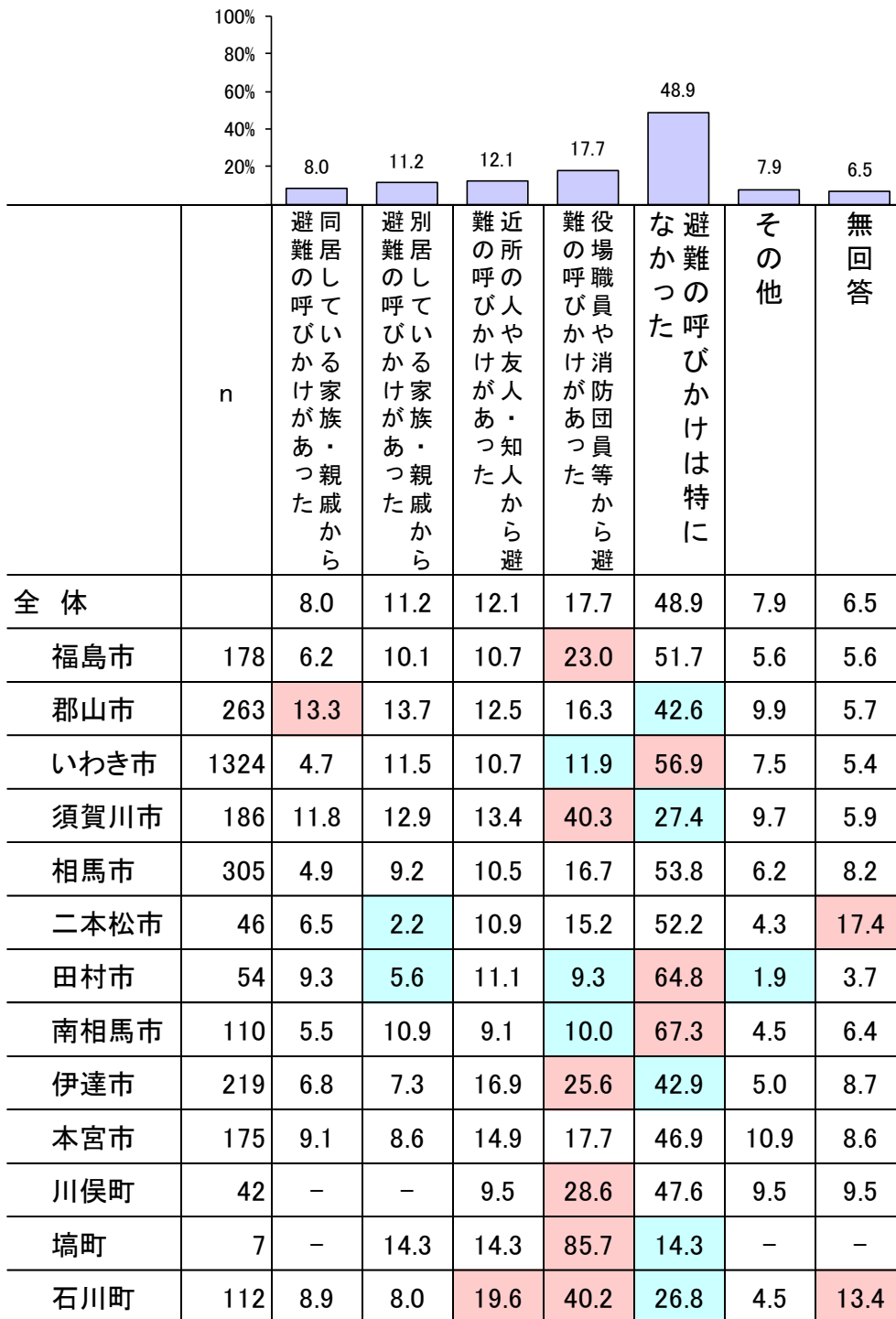


全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

避難しなかった決め手となった理由については「自宅が被害に遭うとは思わなかったから」が35.1%と最も高く、次いで「いざとなれば2階などに逃げればよいと思ったから(2階などには逃げなかった)」が15.7%、「過去に経験した水害の範囲に収まると思ったから」が10.6%となっている。

市町別にみると、「自宅が被害に遭うとは思わなかったから」は須賀川市、二本松市で40%以上と全体に比べ高い。「いざとなれば2階などに逃げればよいと思ったから(2階などには逃げなかった)」は石川町で28.6%と全体に比べ高い。「過去に経験した水害の範囲に収まると思ったから」は須賀川市、田村市、川俣町で15%以上、本宮市で20%以上と全体に比べ高い。

問30. 問21で「2. 避難しなかった」を選んだ方は、周囲からの避難の呼びかけはありましたか。(〇はいくつでも)

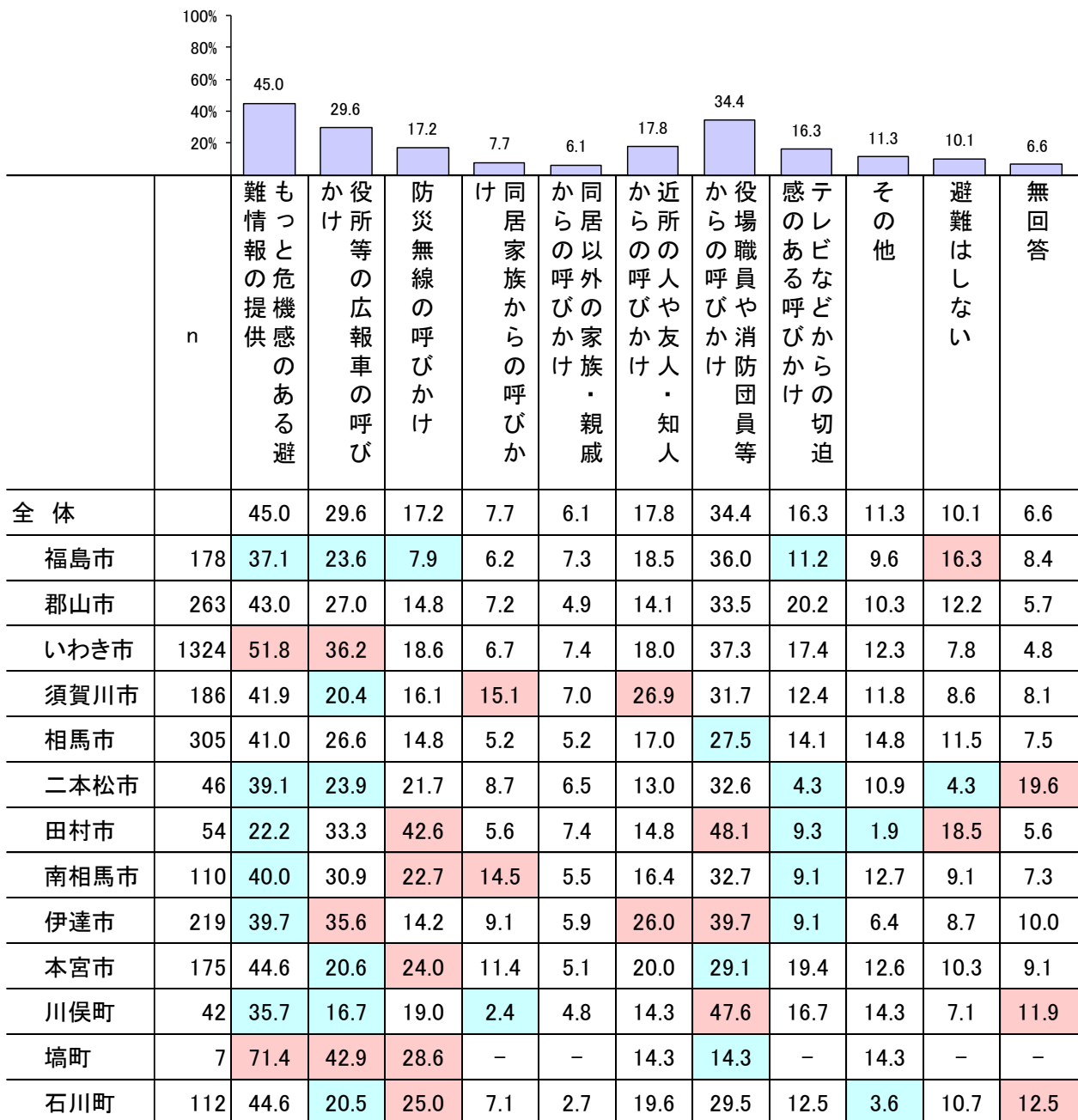


■ 全体より5%以上高い値 ■ 全体より5%以上低い値

避難の呼びかけの有無では「避難の呼びかけは特になかった」が48.9%と最も高く、次いで「役場職員や消防団員等から避難の呼びかけがあつた」が17.7%となっている。

市町別にみると、「役場職員や消防団員等から避難の呼びかけがあつた」は須賀川市、石川町で40%以上と全体に比べ高い。「避難の呼びかけは特になかった」はいわき市で55%以上、田村市、南相馬市で60%以上と全体に比べ高い。

問31. 問21で「2. 避難しなかった」を選んだ方は、どのようなきっかけがあれば、「避難した」と思いますか。(〇はいくつでも)



全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

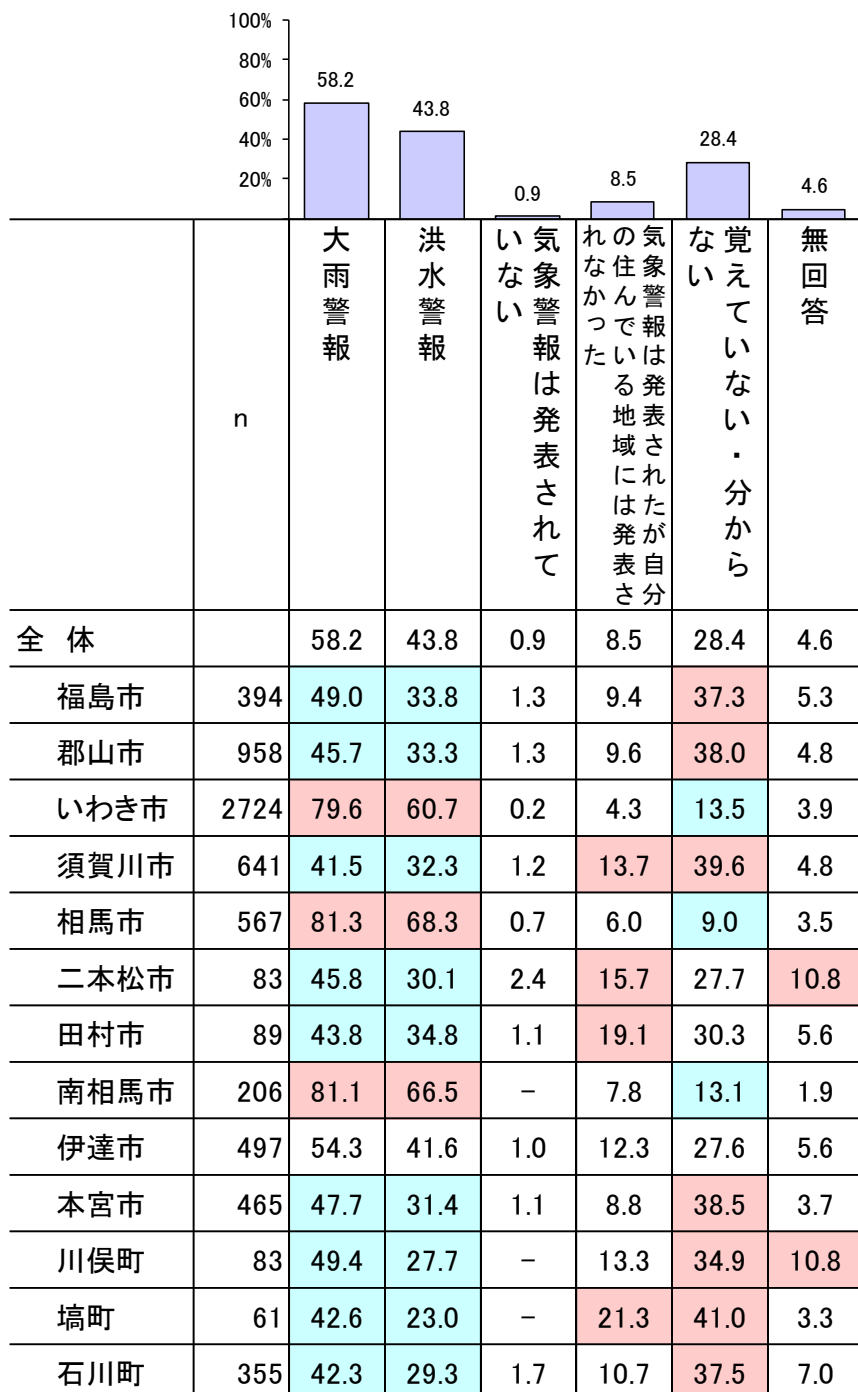
どのようなきっかけがあれば避難するかについては「もっと危機感のある避難情報の提供」が45.0%と最も高く、次いで「役場職員や消防団員等からの呼びかけ」が34.4%、「役所等の広報車の呼びかけ」が29.6%となっている。

市町別にみると、「もっと危機感のある避難情報の提供」はいわき市で50%以上と全体に比べ高い。「役所等の広報車の呼びかけ」はいわき市、伊達市で35%以上と全体に比べ高い。「役場職員や消防団員等からの呼びかけ」は伊達市で約4割、田村市、川俣町で45%以上と全体に比べ高い。

3-2-4 10月25日の大雨時の行動について

「台風第19号から約2週間後、10月25日に福島県内では一部の地域に「大雨警報」や「洪水警報」が発表されました。10月25日のあなたの状況についてお尋ねします」

問32. あなたが入手した「気象警報」を全て選んで下さい。(〇はいくつでも)

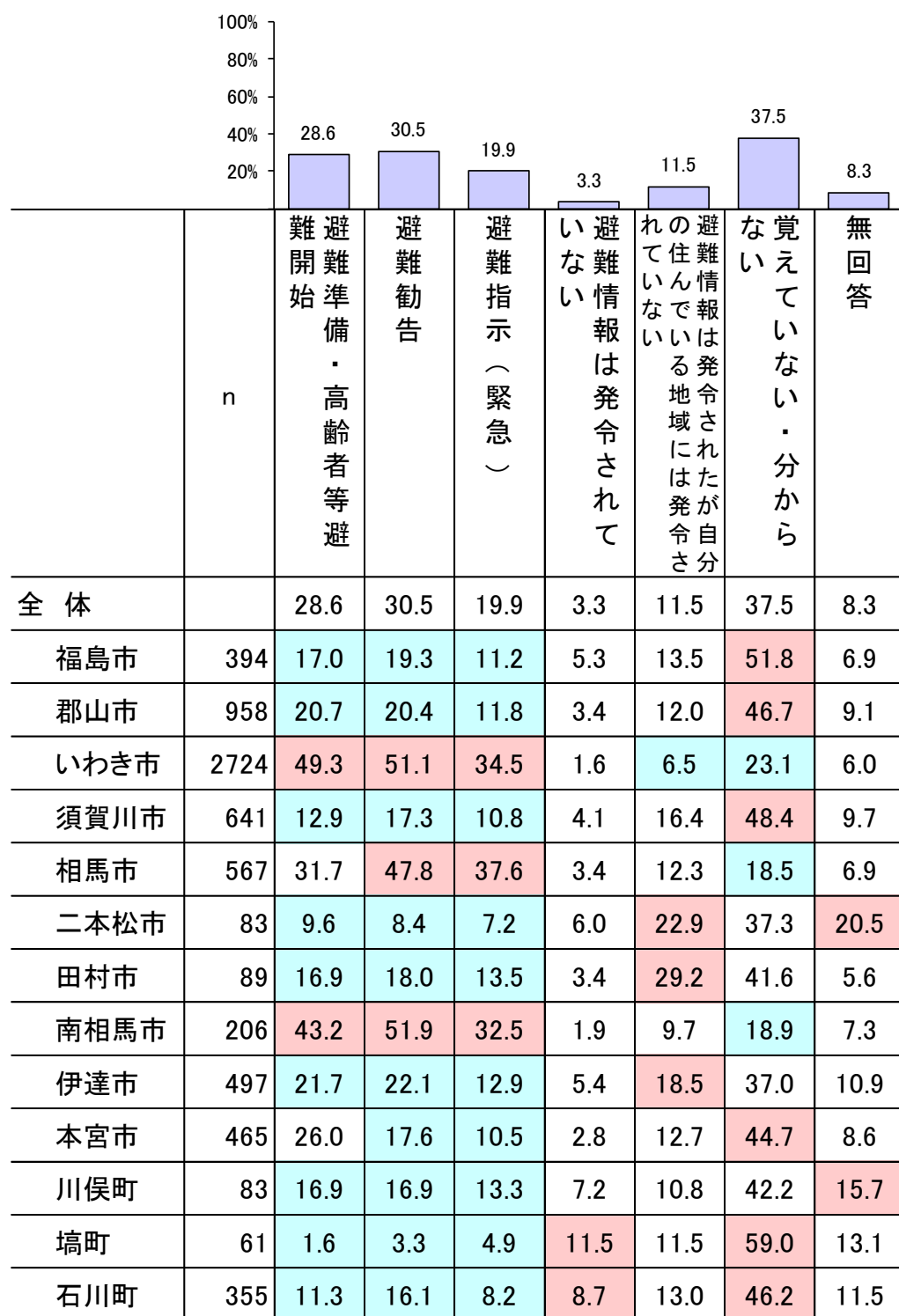


全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

入手した気象警報については「大雨警報」が58.2%と最も高く、次いで「洪水警報」が43.8%となっている。

市町別にみると、「大雨警報」は相馬市、南相馬市で80%以上と全体に比べ高い。

問33. 10月25日に、あなたが入手した「避難情報」を全て選んで下さい。(〇はいくつでも)

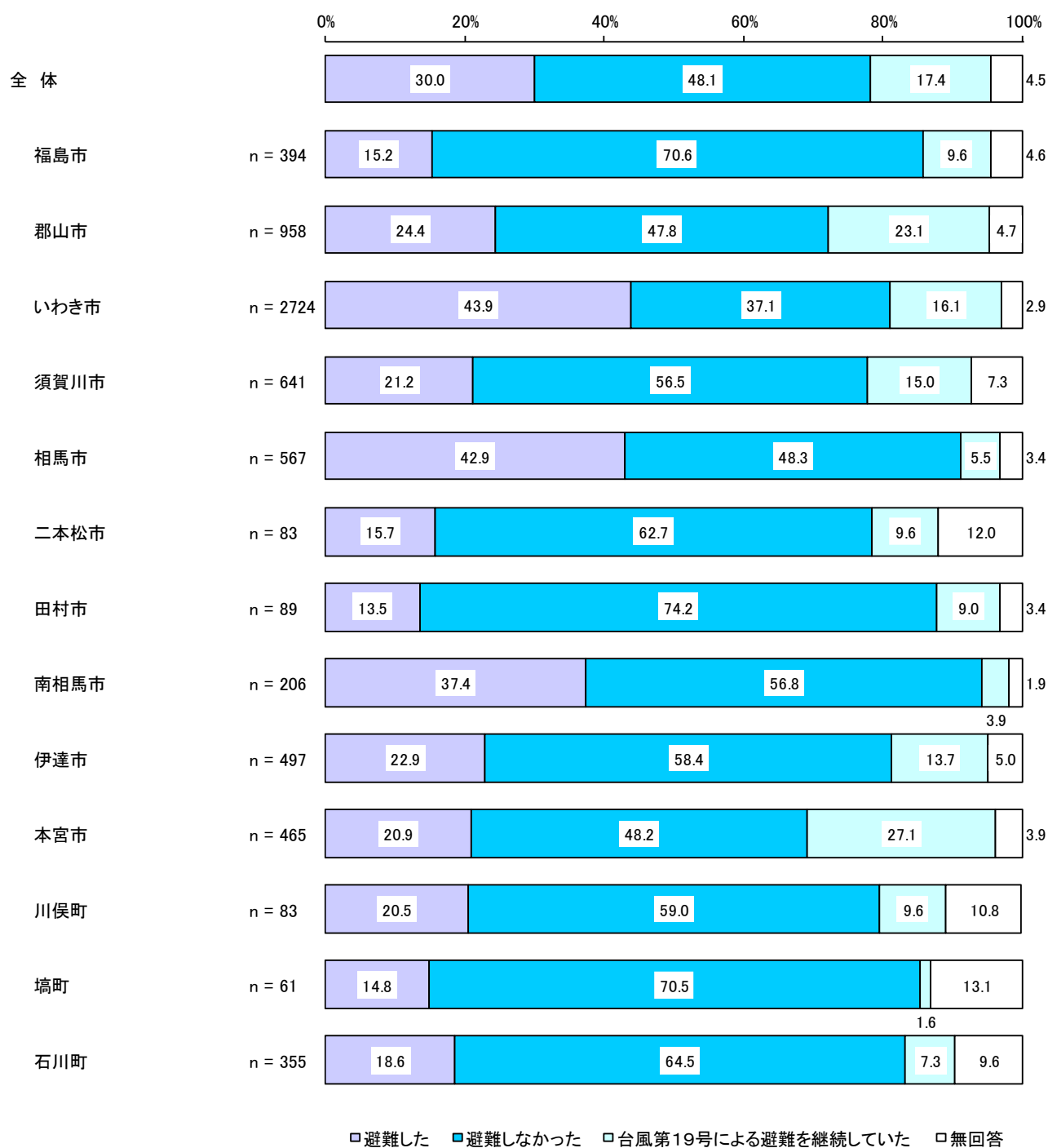


全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

入手した避難情報については「避難勧告」が30.5%と最も高く、次いで「避難準備・高齢者等避難開始」が28.6%となっている（「覚えていない・分からない」を除く）。

市町別にみると、いわき市、相馬市、南相馬市では「避難勧告」、「避難指示(緊急)」など「避難情報」が発令されている割合が高い。

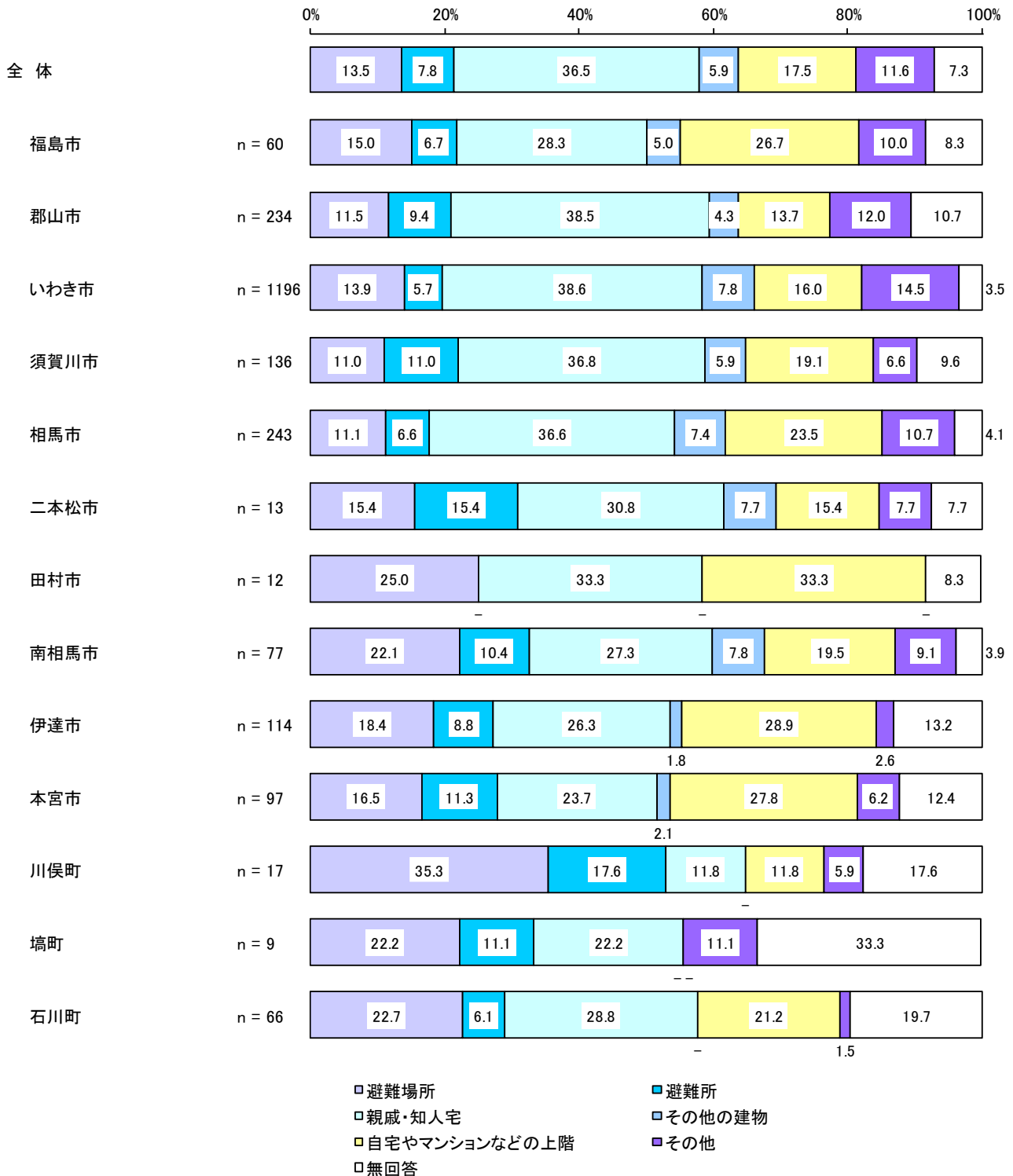
問34. あなたはご自宅が被災する前に避難しましたか。



自宅被災前の避難の有無については「避難した」が30.0%となっている。

市町別にみると、「避難した」はいわき市、相馬市では40%以上、南相馬市では35%以上と全体に比べ高い。

問35. 問34で「1. 避難した」を選んだ方は、最終的にどこに避難しましたか。(〇は1つ)

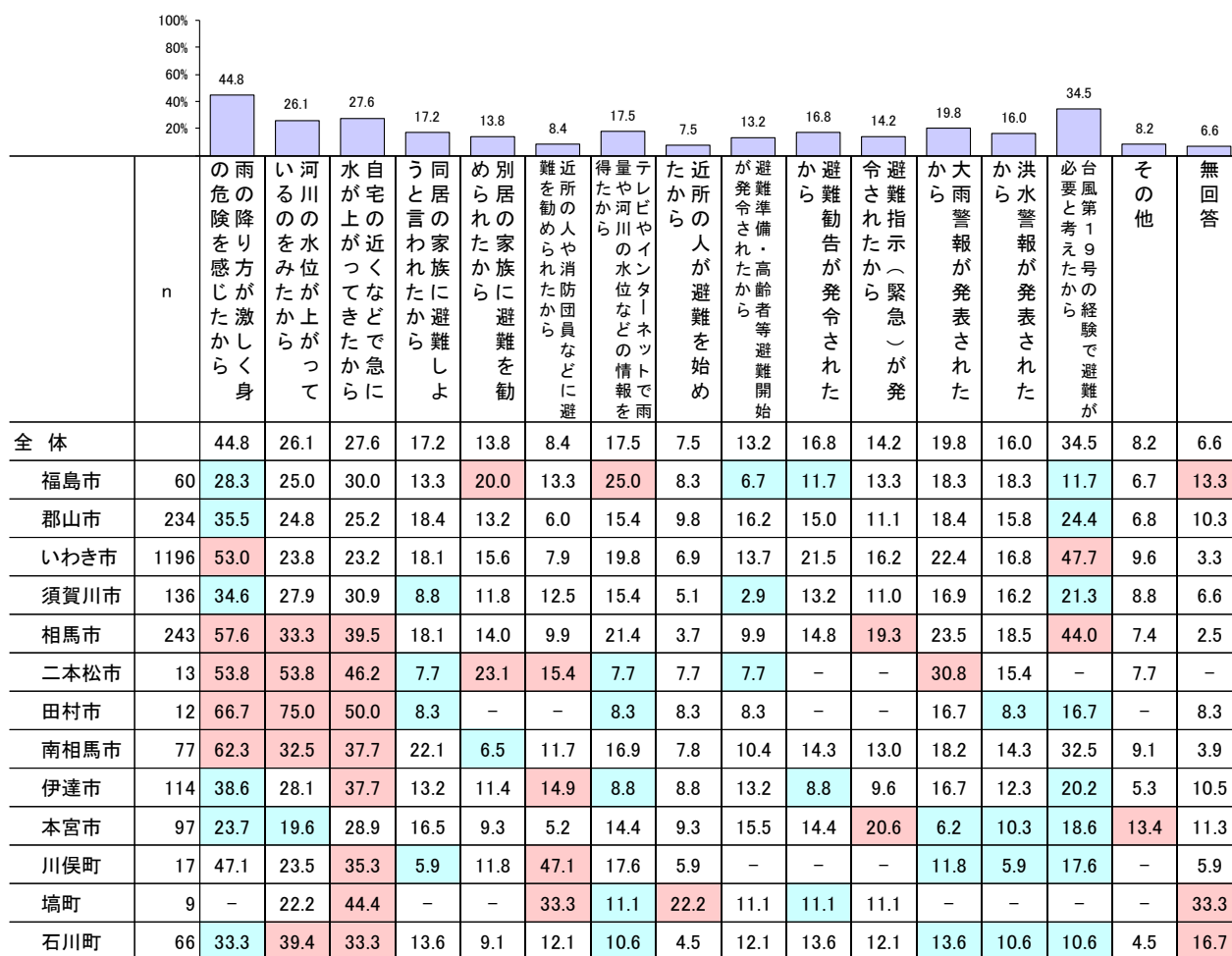


最終的な避難先については「親戚・知人宅」が36.5%と最も高く、次いで「自宅やマンションなどの上階」が17.5%、「避難場所」が13.5%となっている。

市町別にみると、「自宅やマンションなどの上階」は福島市、相馬市、伊達市、本宮市で20%以上と全体に比べ高い。「避難場所」は南相馬市、石川町で20%以上と全体に比べ高い。

問36. 問34で「1. 避難した」を選んだ方は、避難した理由について教えてください。(○はいくつでも)
 なお、避難する決め手となった理由については、◎をつけてください。(◎は2つまで)

【避難した理由】

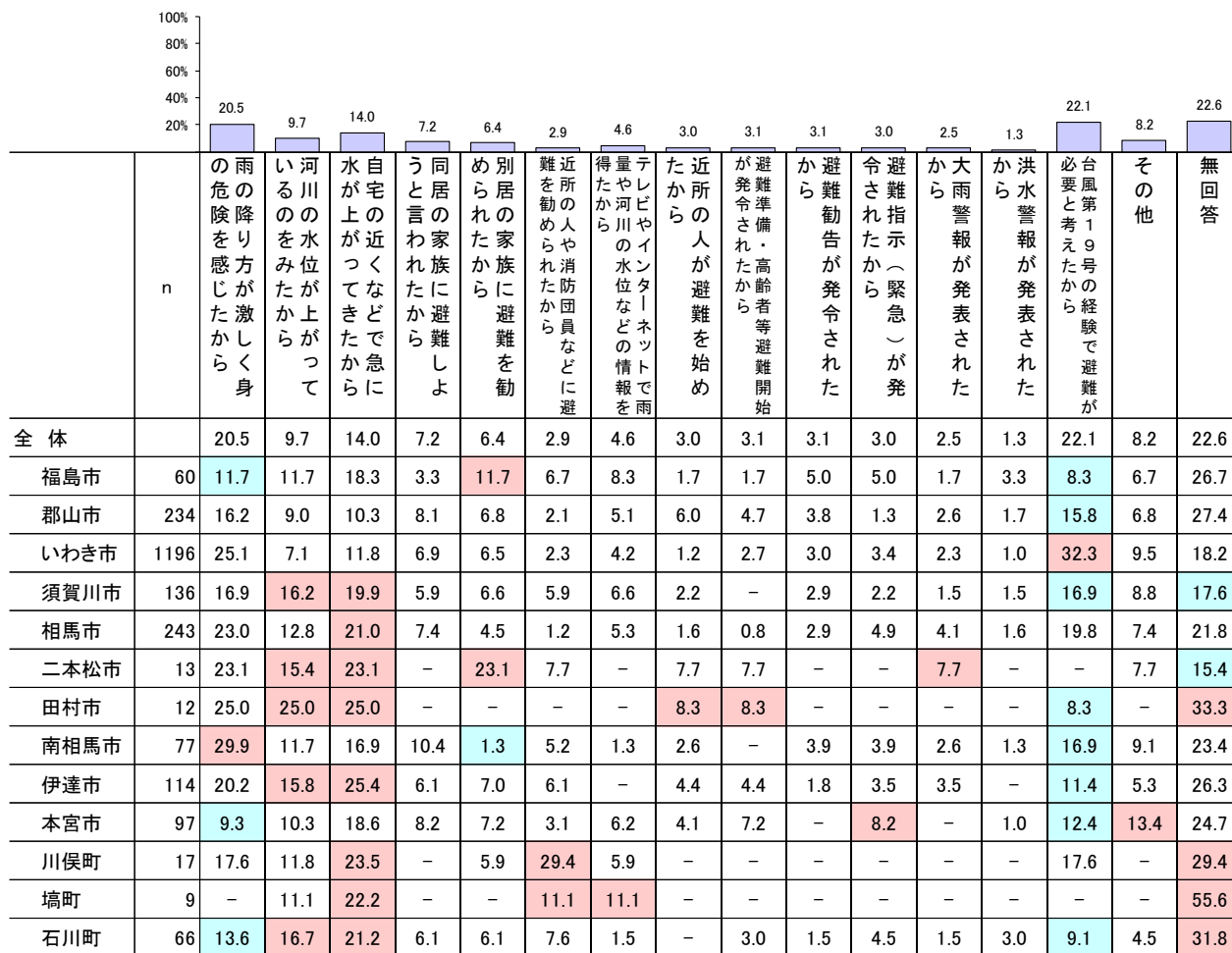


全体より5%以上高い値 (赤) 全体より5%以上低い値 (青)

避難した理由については「雨の降り方が激しく身の危険を感じたから」が44.8%と最も高く、次いで「台風第19号の経験で避難が必要と考えたから」が34.5%、「自宅の近くなどで急に水が上がってきたから」が27.6%、「河川の水位が上がっているのをみたから」が26.1%となっている。

市町別にみると、「河川の水位が上がっているのをみたから」は相馬市、南相馬市、石川町で30%以上と全体に比べ高い。「自宅の近くなどで急に水が上がってきたから」は相馬市、南相馬市、伊達市、石川町で30%以上と全体に比べ高い。

【避難する決め手となった理由】

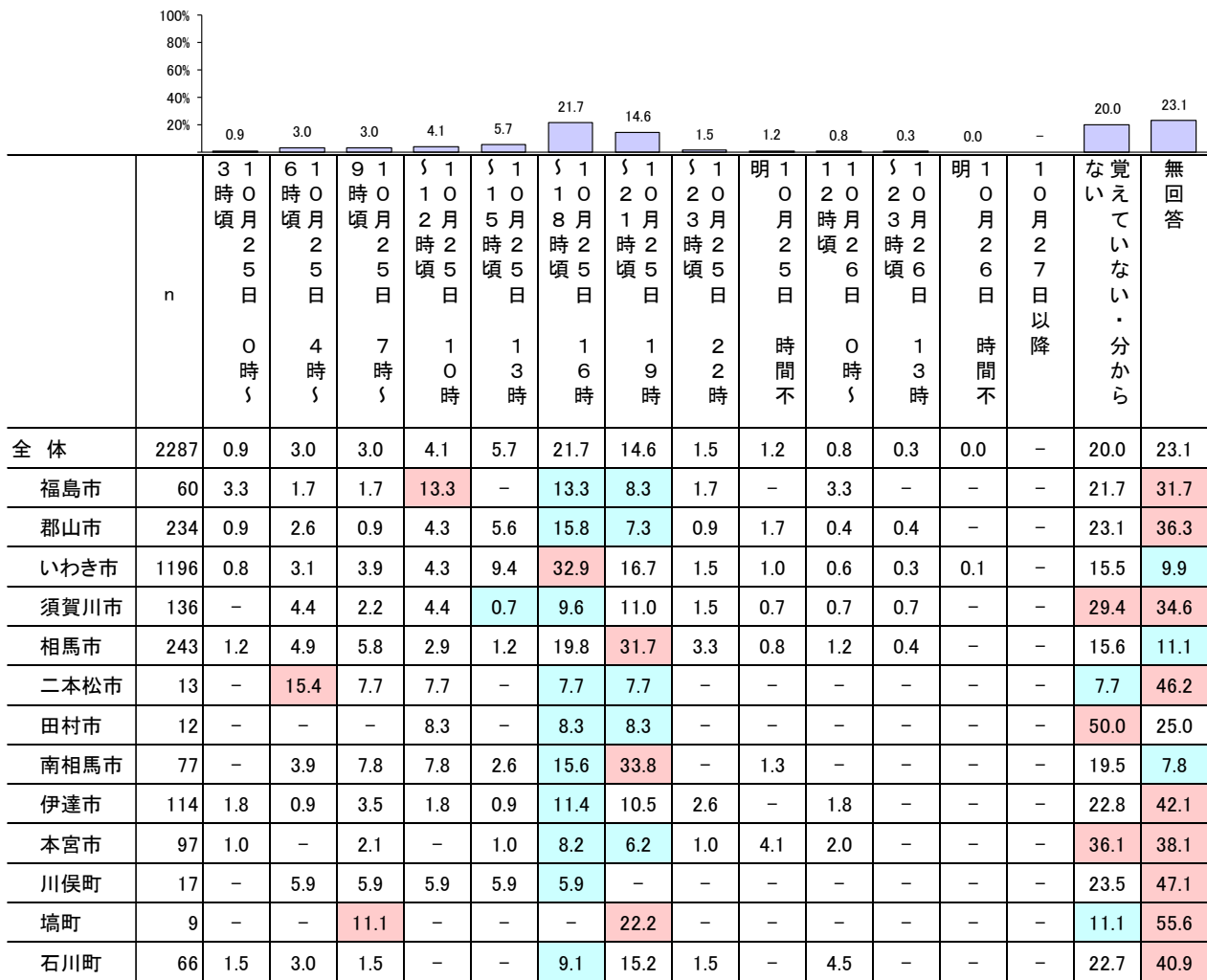


全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

避難した決め手となった理由については「雨の降り方が激しく身の危険を感じたから」が20.5%と最も高く、次いで「自宅の近くなどで急に水が上がってきたから」が14.0%、「河川の水位が上がっているのをみたから」が9.7%となっている。

市町別にみると、「河川の水位が上がっているのをみたから」は須賀川市、伊達市、石川町で15%以上と全体に比べ高い。「自宅の近くなどで急に水が上がってきたから」は須賀川市、相馬市、伊達市、石川町で約2割と全体に比べ高い。

問37. 問34で「1. 避難した」を選んだ方は、避難を開始したおおまかな時間を教えてください。

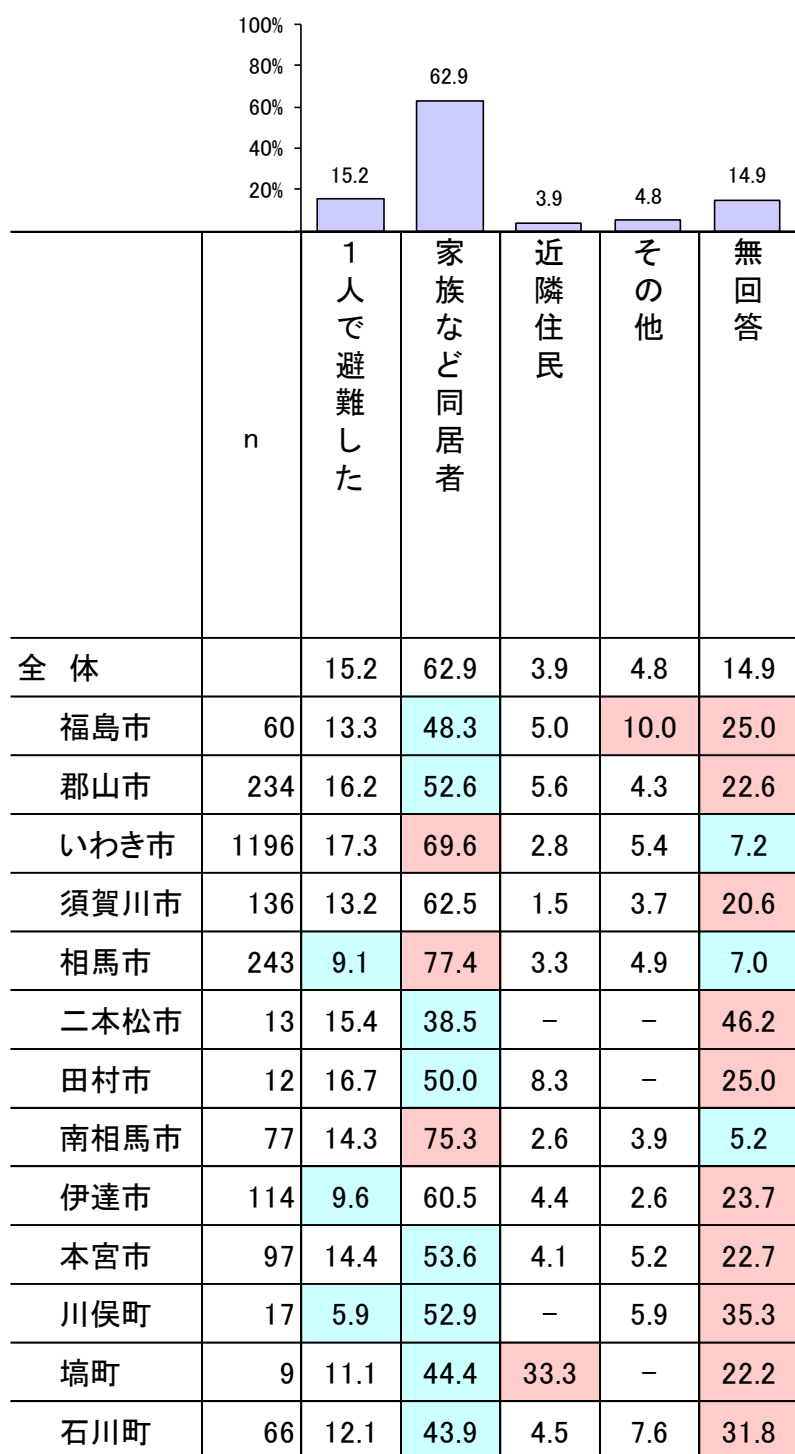


全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

避難を開始したおおまかな時間については「10月25日 16時～18時頃」が21.7%と最も高く、次いで「10月25日 19時～21時頃」が14.6%となっている。

市町別にみると、「10月25日 19時～21時頃」は相馬市、南相馬市で30%以上と全体に比べ高い。

問38. 問34で「1. 避難した」を選んだ方は、誰と避難しましたか。（「1人で避難した」場合○は1つ、「1人で避難した」以外の場合○はいくつでも）

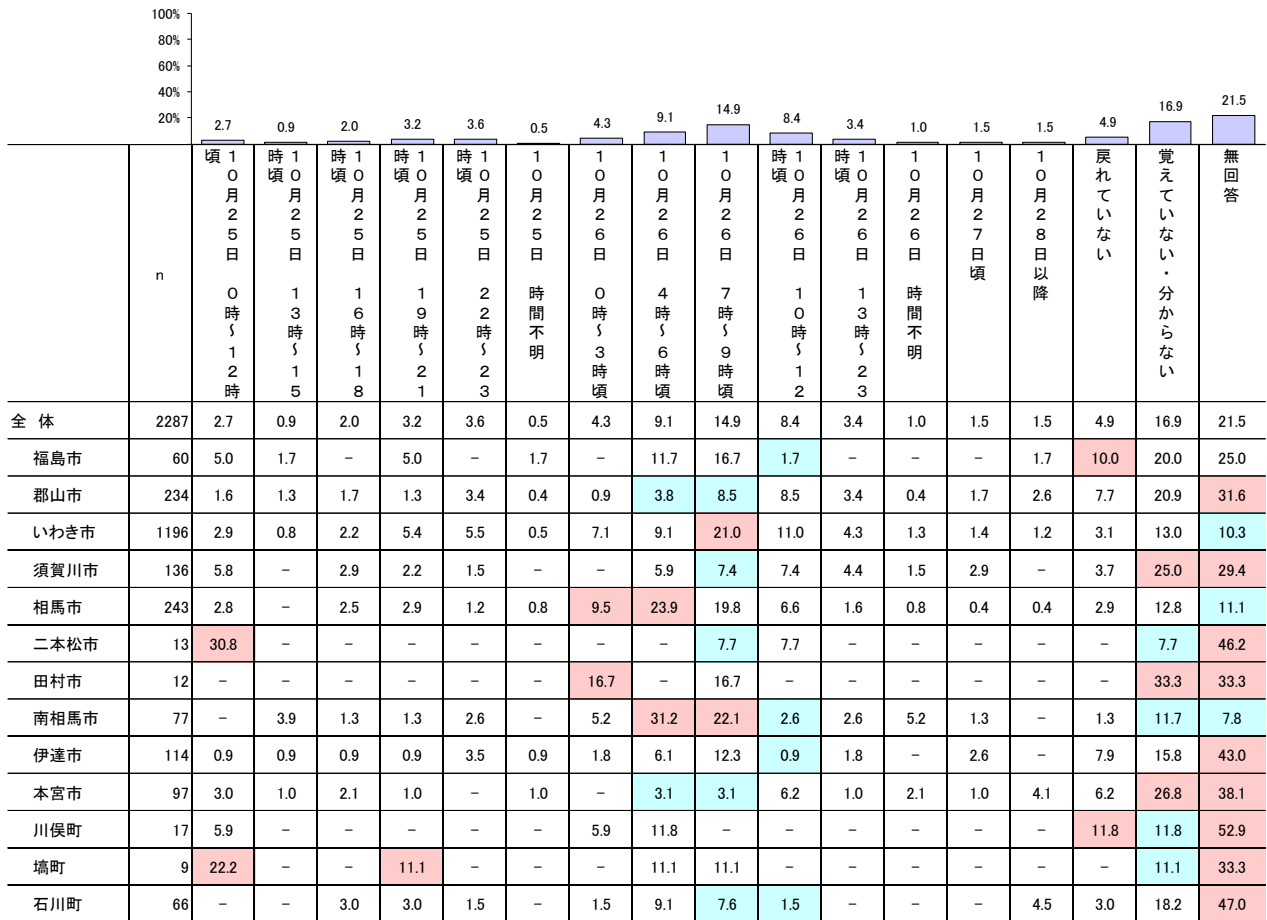


全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

一緒に避難した人では「家族など同居者」が62.9%と最も高く、次いで「1人で避難した」が15.2%となっている。

市町別にみると、「家族など同居者」はいわき市、相馬市、南相馬市で7～8割と全体に比べ高い。

問39. 問34で「1. 避難した」を選んだ方は、避難先から最初に自宅やマンションなどへ戻った大まかな時間を教えてください。

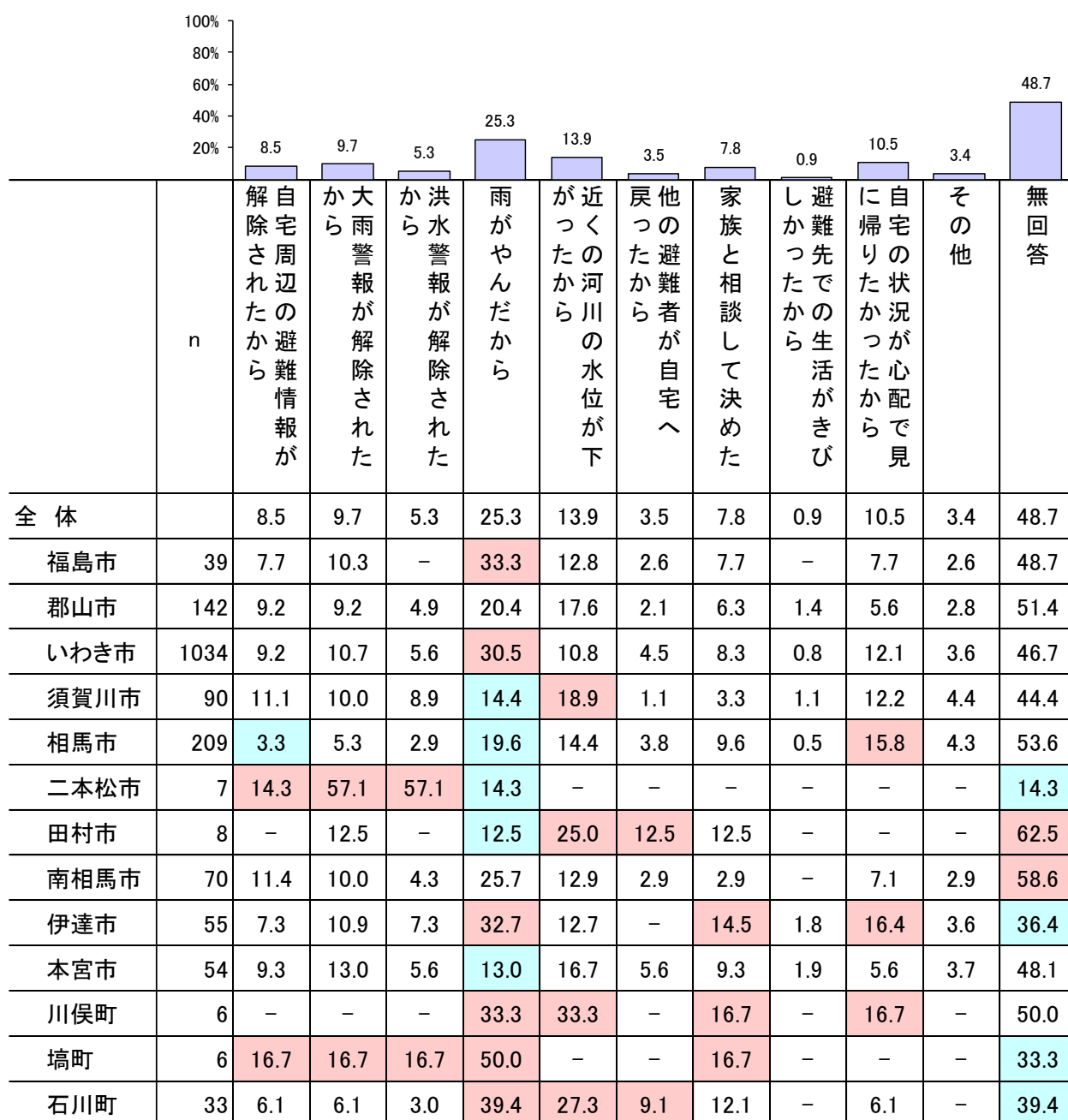


全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

避難先から最初に自宅やマンションなどへ戻った大まかな時間については「10月26日 7時～9時頃」が14.9%と最も高く、次いで「10月26日 4時～6時頃」が9.1%、「10月26日 10時～12時頃」が8.4%となっている。

市町別にみると、「10月26日 4時～6時頃」は相馬市で20%以上、南相馬市で30%以上と全体に比べ高い。「10月26日 7時～9時頃」はいわき市、南相馬市で20%以上と全体に比べ高い。

問40. 問39で「4. 戻っていない」以外を選んだ方は、避難先から自宅へ最初に戻る決め手となった理由を教えてください。(〇は2つまで)



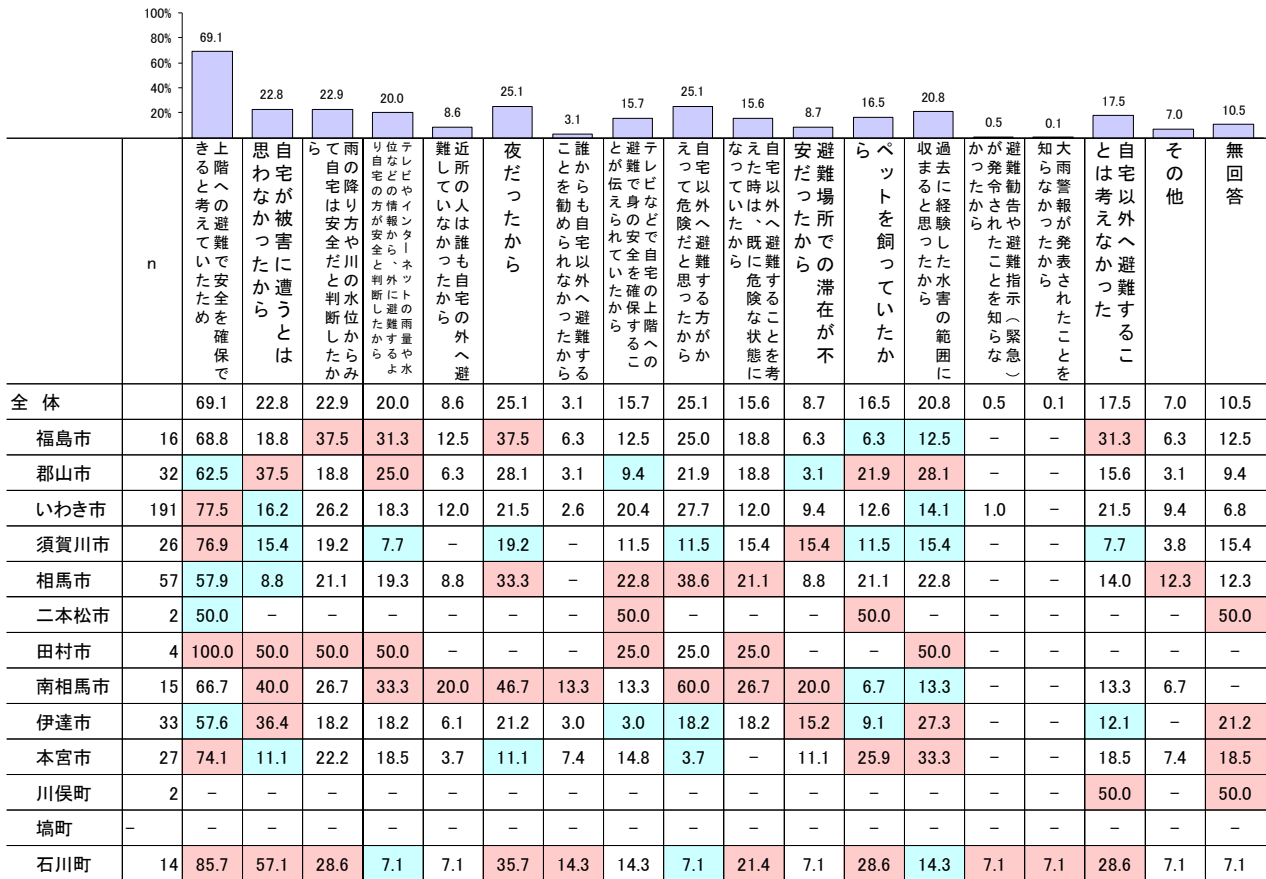
全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

避難先から自宅などへ最初に戻る決め手となった理由については「雨がやんだから」が25.3%と最も高く、次いで「近くの河川の水位が下がったから」が13.9%、「自宅の状況が心配で見に帰らなかったから」が10.5%となっている。

市町別にみると、「雨がやんだから」は福島市、いわき市、伊達市、石川町で30%以上と全体に比べ高い。「自宅の状況が心配で見に帰らなかったから」は相馬市、伊達市で15%以上と全体に比べ高い。

問41. 問35で「5. 自宅やマンションなどの上階」を選んだ方は、自宅やマンション以外へ避難しなかった理由について教えてください。(○はいくつでも)
 なお、自宅やマンション以外へ避難しない決め手となった理由については、◎をつけてください。(◎は2つまで)

【自宅やマンション以外へ避難しなかった理由】

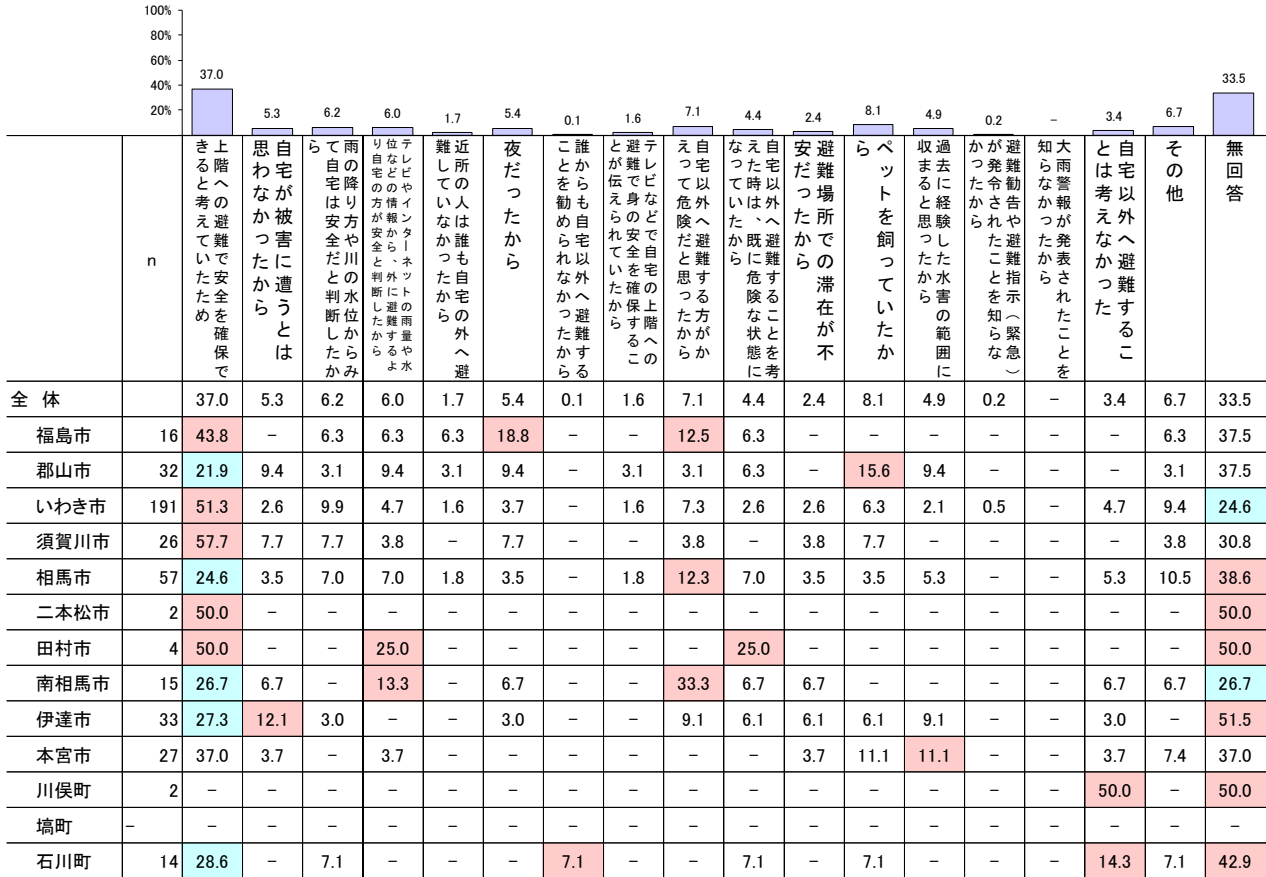


	n	上階への避難で安全を確保できると考えていたため	自宅が被害に遭うとは思わなかったから	雨の降り方や川の水位からみて自宅は安全だと判断したから	テレビやインターネットの雨量や水位などの情報から、外に避難するより自宅の方が安全と判断したから	近所の人は誰も自宅の外へ避難していなかったから	夜だったから	誰からも自宅以外へ避難することを勧められなかったから	テレビなどで自宅の上階への避難で身の安全を確保することが伝えられていたから	自宅以外へ避難する方がかえって危険だと思ったから	自宅以外へ避難することを考えた時は、既に危険な状態になっていたから	避難場所での滞在が不安だったから	ペットを飼っていたから	過去に経験した水害の範囲に収まると思ったから	避難勧告や避難指示(緊急)が発令されたことを知らなかったから	大雨警報が発表されたことを知らなかったから	自宅以外へ避難するとは考えなかった	その他	無回答
全体		69.1	22.8	22.9	20.0	8.6	25.1	3.1	15.7	25.1	15.6	8.7	16.5	20.8	0.5	0.1	17.5	7.0	10.5
福島市	16	68.8	18.8	37.5	31.3	12.5	37.5	6.3	12.5	25.0	18.8	6.3	6.3	12.5	-	-	31.3	6.3	12.5
郡山市	32	62.5	37.5	18.8	25.0	6.3	28.1	3.1	9.4	21.9	18.8	3.1	21.9	28.1	-	-	15.6	3.1	9.4
いわき市	191	77.5	16.2	26.2	18.3	12.0	21.5	2.6	20.4	27.7	12.0	9.4	12.6	14.1	1.0	-	21.5	9.4	6.8
須賀川市	26	76.9	15.4	19.2	7.7	-	19.2	-	11.5	11.5	15.4	15.4	11.5	15.4	-	-	7.7	3.8	15.4
相馬市	57	57.9	8.8	21.1	19.3	8.8	33.3	-	22.8	38.6	21.1	8.8	21.1	22.8	-	-	14.0	12.3	12.3
二本松市	2	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0
田村市	4	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	25.0	25.0	25.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-
南相馬市	15	66.7	40.0	26.7	33.3	20.0	46.7	13.3	13.3	60.0	26.7	20.0	6.7	13.3	-	-	13.3	6.7	-
伊達市	33	57.6	36.4	18.2	18.2	6.1	21.2	3.0	3.0	18.2	18.2	15.2	9.1	27.3	-	-	12.1	-	21.2
本宮市	27	74.1	11.1	22.2	18.5	3.7	11.1	7.4	14.8	3.7	-	11.1	25.9	33.3	-	-	18.5	7.4	18.5
川俣町	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0
塙町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川町	14	85.7	57.1	28.6	7.1	7.1	35.7	14.3	14.3	7.1	21.4	7.1	28.6	14.3	7.1	7.1	28.6	7.1	7.1

全体より5%以上高い値 (赤) 全体より5%以上低い値 (青)

自宅やマンション以外へ避難しなかった理由については「上階への避難で安全を確保できると考えていたため」が69.1%と最も高く、次いで「夜だったから」「自宅以外へ避難する方がかえって危険だと思ったから」が25.1%となっている。

【自宅やマンション以外へ避難しない決め手となった理由】



	n	上階への避難で安全を確保できると考えていたため	ペットを飼っていたから	自宅以外へ避難する方がかえって危険だと思ったから	夜だったから	近所の人は誰も自宅の外へ避難していなかったから	テレビやインターネットの雨量や水位などの情報から、外に避難するより自宅の方が安全と判断したから	雨の降り方や川の水位からみて自宅は安全だと判断したから	自宅が被害に遭うとは思わなかったから	避難場所での滞在が不安だったから	自宅以外へ避難することを考えた時は、既に危険な状態になっていたから	自宅以外へ避難する方がかえって危険だと思ったから	テレビなどで自宅の上階への避難で身の安全を確保することが伝えられていたから	誰からも自宅以外へ避難することを勧められなかったから	過去に経験した水害の範囲に取まると思ったから	避難勧告や避難指示（緊急）が発令されたことを知らなかったから	大雨警報が発表されたことを知らなかったから	自宅以外へ避難するとは考えなかった	その他	無回答
全体		37.0	8.1	7.1	5.4	1.7	6.0	6.2	5.3	2.4	4.4	7.1	1.6	0.1	4.9	0.2	-	3.4	6.7	33.5
福島市	16	43.8	-	-	18.8	6.3	6.3	6.3	-	-	6.3	12.5	-	-	-	-	-	-	6.3	37.5
郡山市	32	21.9	9.4	3.1	9.4	3.1	9.4	3.1	9.4	-	3.1	3.1	6.3	-	15.6	9.4	-	-	3.1	37.5
いわき市	191	51.3	2.6	9.9	4.7	1.6	3.7	-	1.6	7.3	2.6	2.6	6.3	2.1	0.5	-	-	4.7	9.4	24.6
須賀川市	26	57.7	7.7	7.7	3.8	-	7.7	-	-	3.8	-	3.8	7.7	-	-	-	-	-	3.8	30.8
相馬市	57	24.6	3.5	7.0	7.0	1.8	3.5	-	1.8	12.3	7.0	3.5	3.5	5.3	-	-	-	5.3	10.5	38.6
二本松市	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
田村市	4	50.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
南相馬市	15	26.7	6.7	-	13.3	-	6.7	-	-	33.3	6.7	6.7	-	-	-	-	-	6.7	6.7	26.7
伊達市	33	27.3	12.1	3.0	-	-	3.0	-	-	9.1	6.1	6.1	6.1	9.1	-	-	-	3.0	-	51.5
本宮市	27	37.0	3.7	-	3.7	-	-	-	-	-	-	3.7	11.1	11.1	-	-	-	3.7	7.4	37.0
川俣町	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0
塙町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川町	14	28.6	-	7.1	-	-	-	-	7.1	-	-	7.1	-	7.1	-	-	-	14.3	7.1	42.9

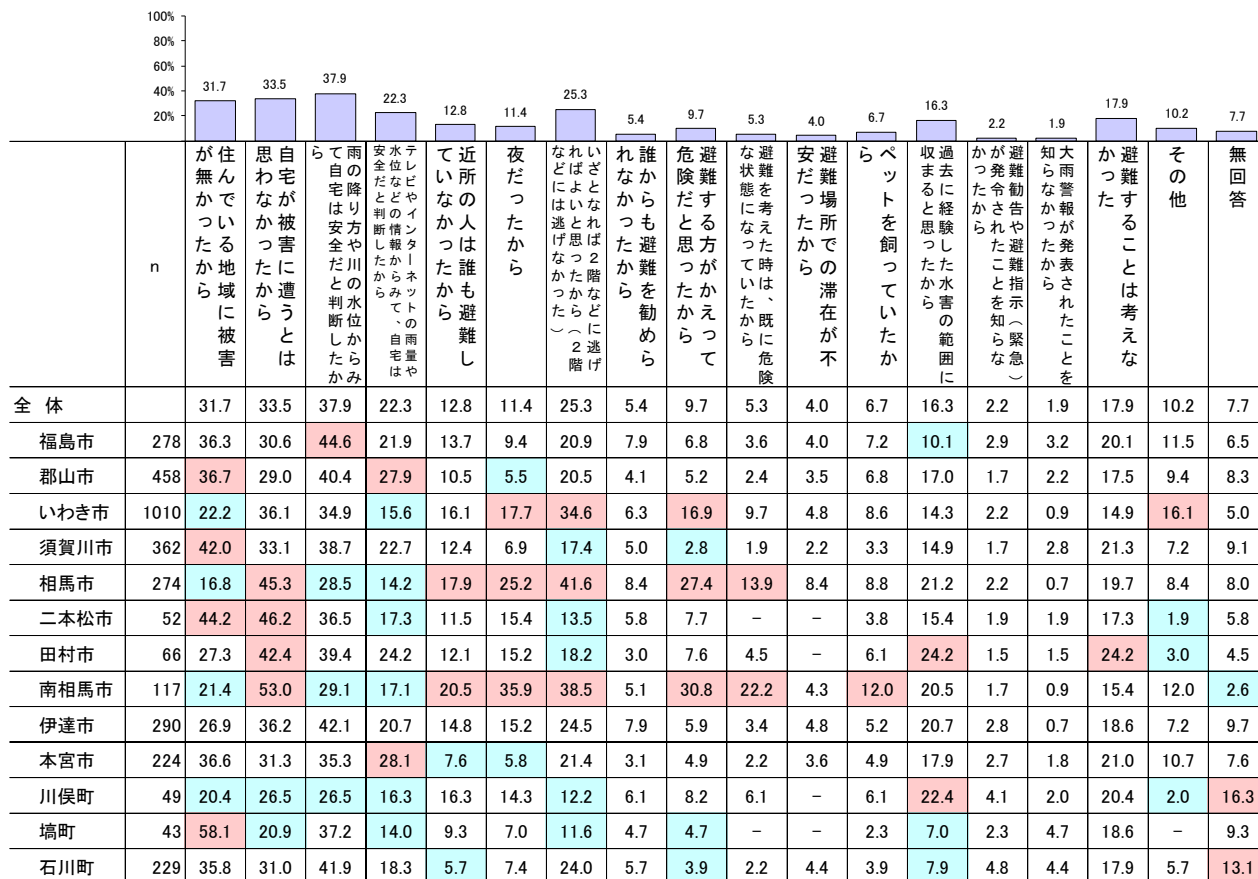
全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

自宅やマンション以外へ避難しなかった決め手となった理由については「上階への避難で安全を確保できると考えていたため」が37.0%と最も高く、次いで「ペットを飼っていたから」が8.1%、「自宅以外へ避難する方がかえって危険だと思ったから」が7.1%となっている。

問42. 問34で「2. 避難しなかった」を選んだ方は、避難しなかった理由について教えてください。(〇は
いくつでも)

なお、避難しなかった決め手となった理由については、◎をつけてください。(◎は2つまで)

【避難しなかった理由】

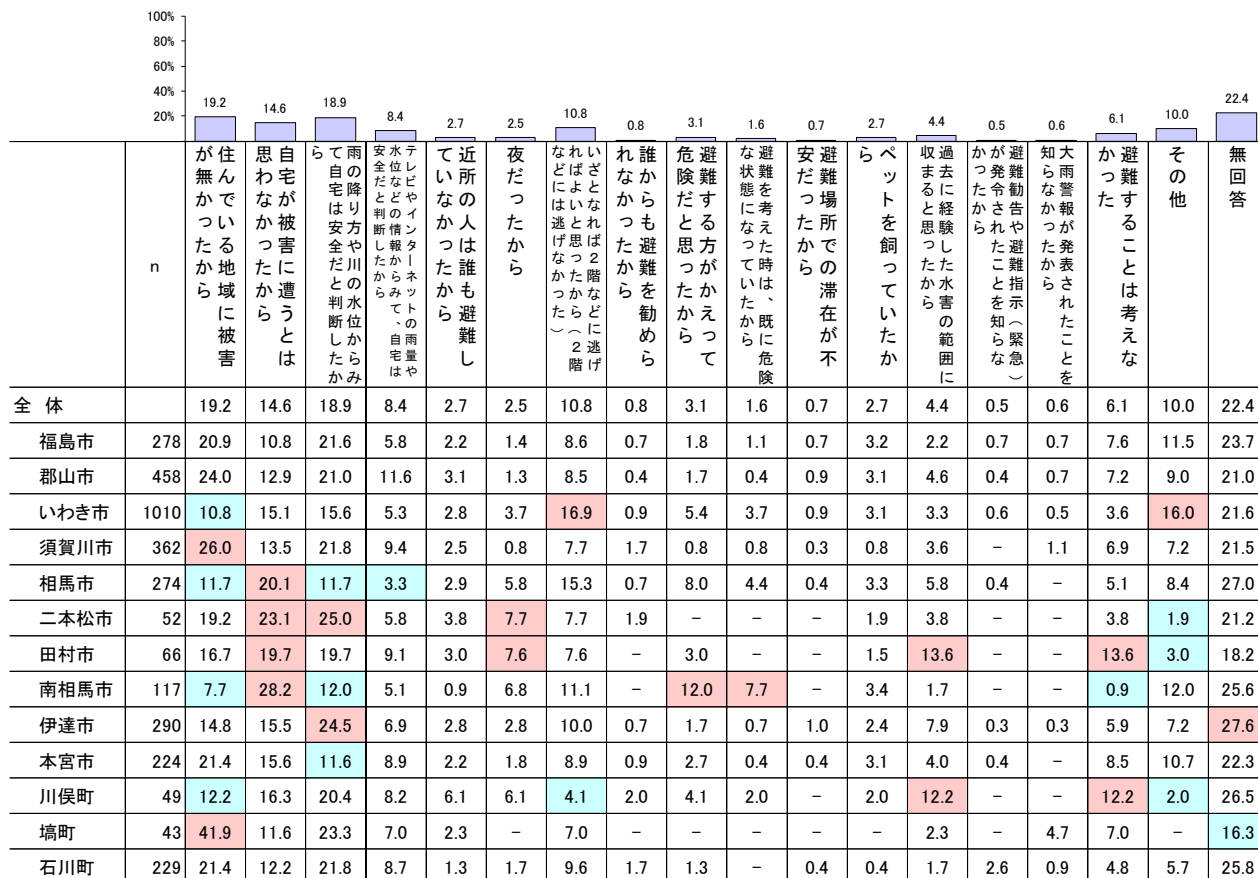


全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

避難しなかった理由では「雨の降り方や川の水位からみて自宅は安全だと判断したから」が37.9%と最も高く、次いで「自宅が被害に遭うとは思わなかったから」が33.5%、「住んでいる地域に被害が無かったから」が31.7%となっている。

市町別にみると、「住んでいる地域に被害が無かったから」は郡山市で35%以上、須賀川市、二本松市で40%以上、塙町で55%以上と全体に比べ高い。「自宅が被害に遭うとは思わなかったから」は相馬市、二本松市、田村市で40%以上、南相馬市で50%と全体に比べ高い。

【避難しなかった決め手となった理由】



全体より5%以上高い値 全体より5%以上低い値

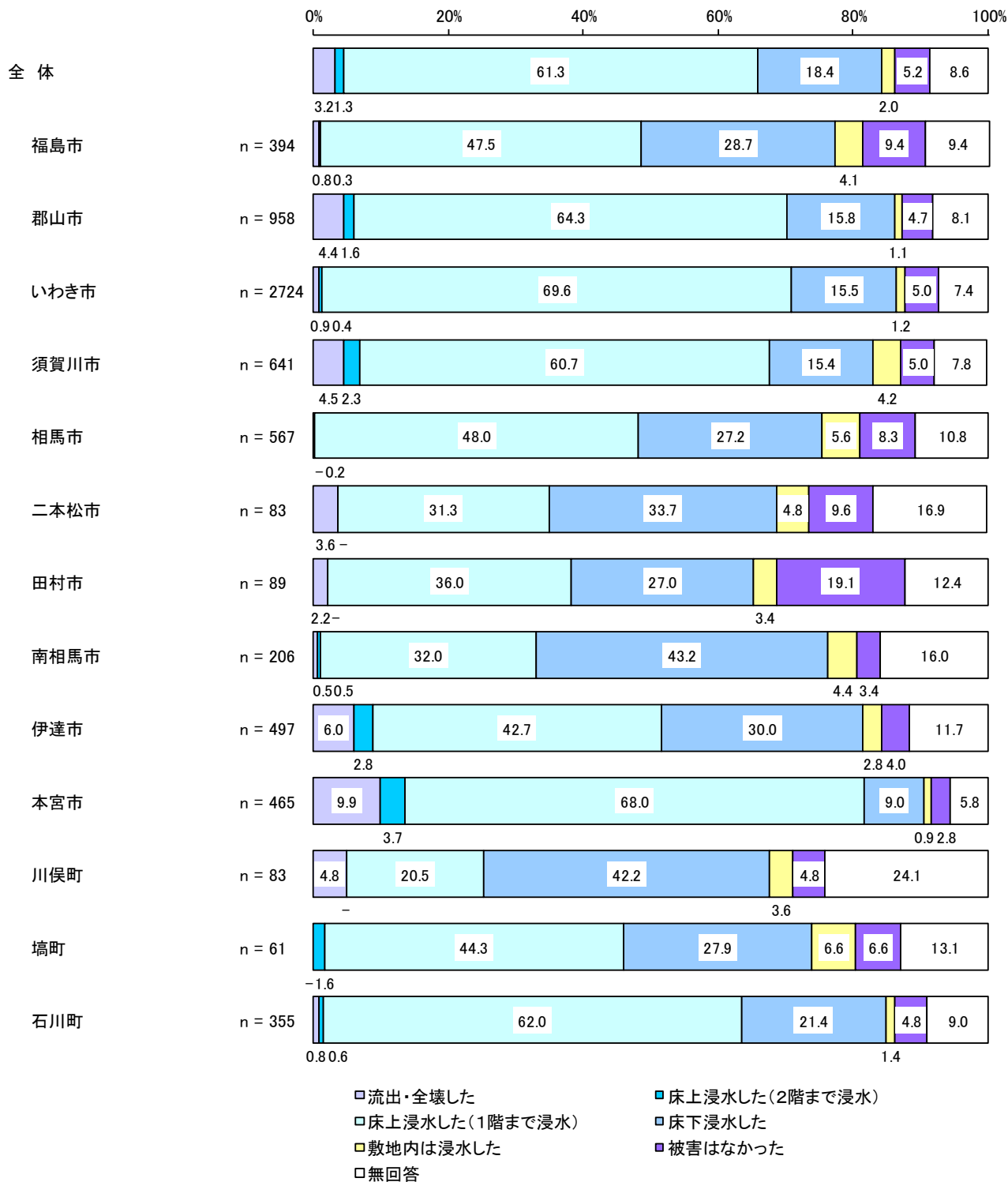
避難しなかった決め手となった理由については「住んでいる地域に被害が無かったから」が19.2%と最も高く、次いで「雨の降り方や川の水位からみて自宅は安全だと判断したから」が18.9%、「自宅が被害に遭うとは思わなかったから」が14.6%となっている。

市町別にみると、「住んでいる地域に被害が無かったから」は須賀川市で25%以上、塙町で40%以上と全体に比べ高い。「自宅が被害に遭うとは思わなかったから」は相馬市、二本松市、田村市、南相馬市で2割～3割と全体に比べ高い。

3-2-5 台風第19号および10月25日の大雨による被害について

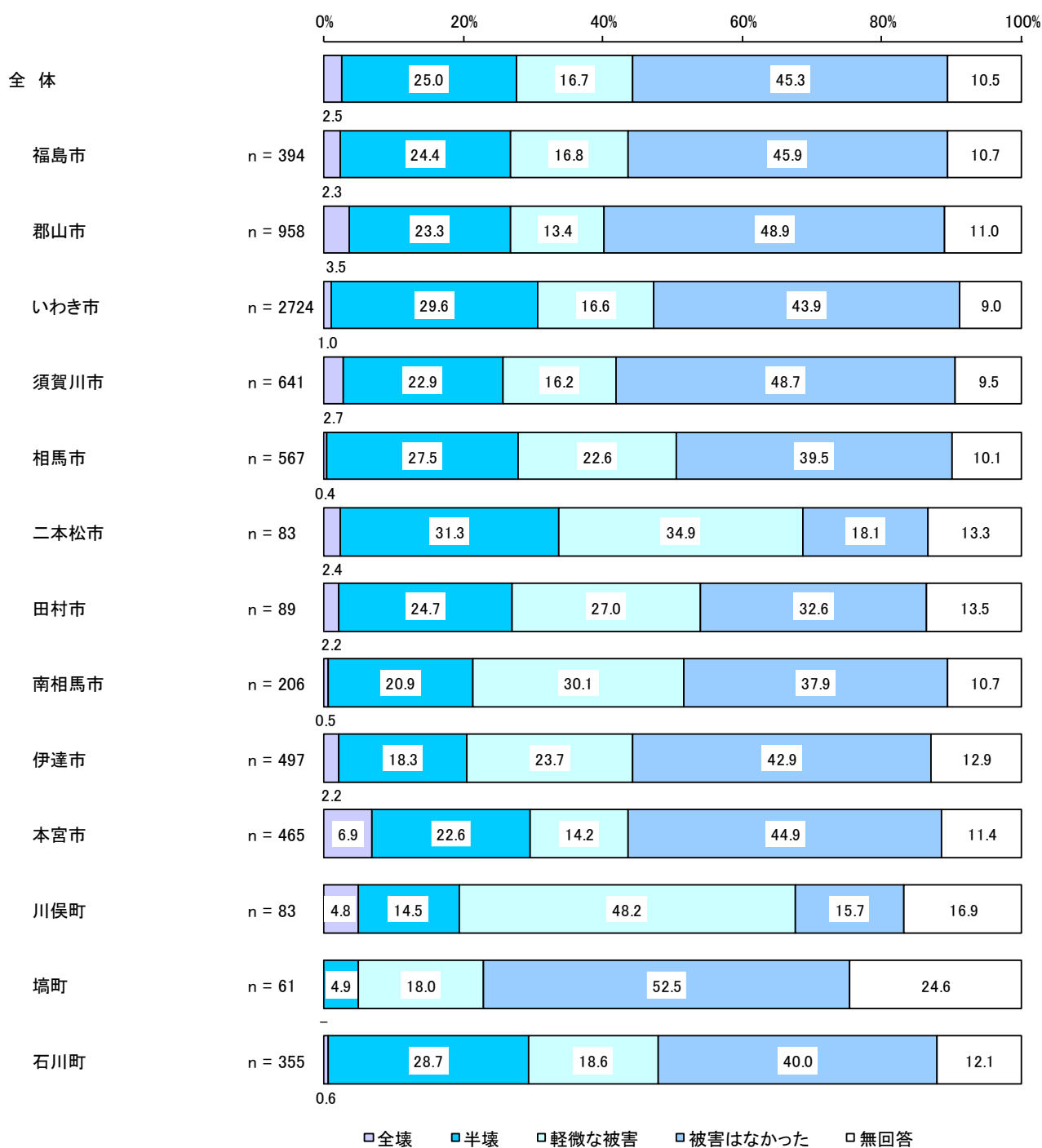
「台風第19号や10月25日の大雨による被害についてお尋ねします」

問43. あなたの自宅について、浸水による被害はありましたか。(〇は1つ)



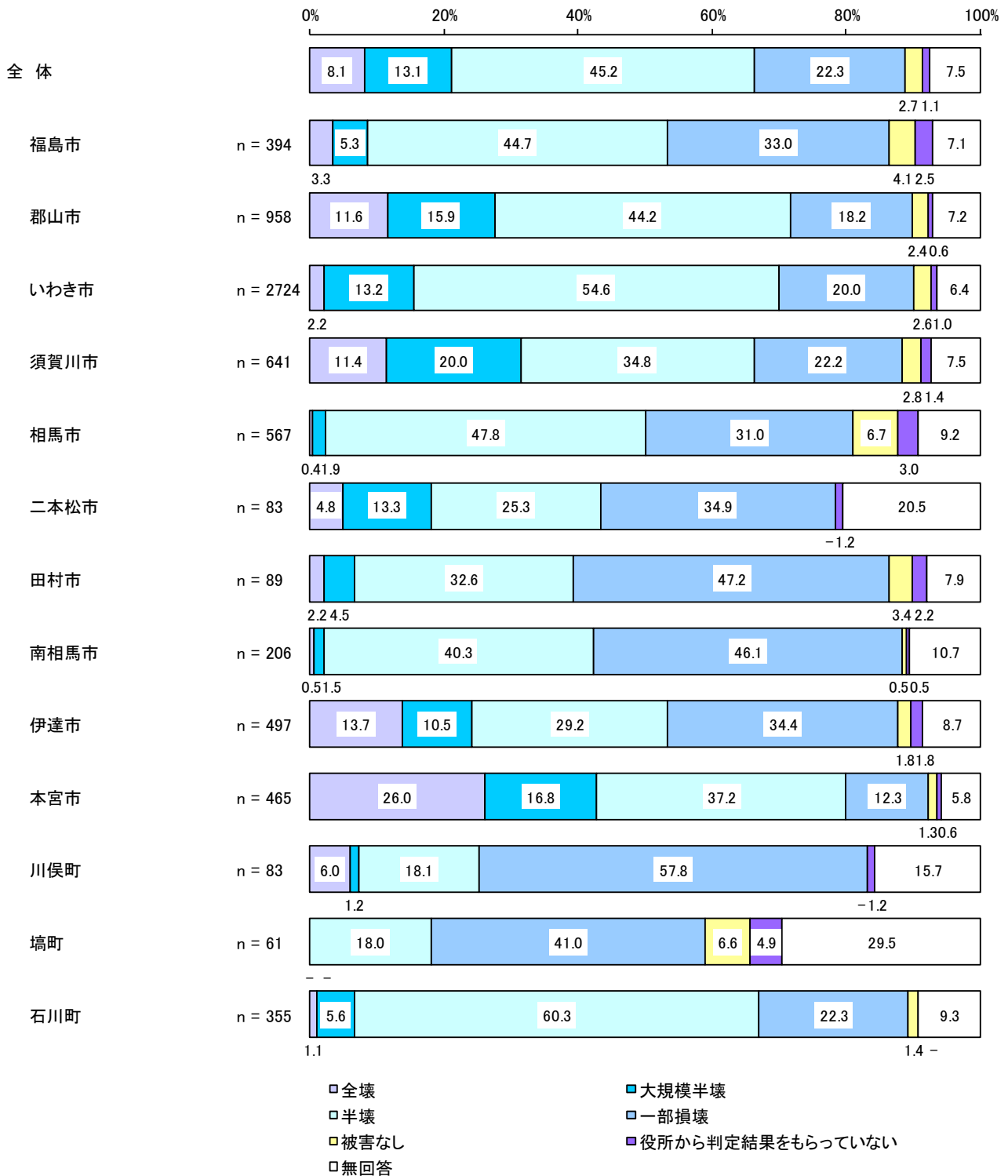
自宅における浸水被害については「床上浸水した(1階まで浸水)」が61.3%と最も高く、次いで「床下浸水した」が18.4%となっている。

問44. あなたの自宅について、土砂による被害はありましたか。(〇は1つ)



自宅における土砂による被害については「被害はなかった」が45.3%と最も高く、次いで「半壊」が25.0%となっている。

問45. 台風第19号又は10月25日大雨の後、ご自宅の被害に対して役所から示された「罹災証明書の判定内容」をお答えください。(〇は1つ)



罹災証明書の判定内容については「半壊」が45.2%と最も高く、次いで「一部損壊」が22.3%、「大規模半壊」が13.1%となっている。

3-2-6 その他

《その他》

問46. 台風第19号や10月25日の大雨の際に、避難することで困ったこと、避難をためらったことがありましたら、ご記入ください(自由記載)。

代表的な回答は以下のとおり。

【避難行動に関して困ったこと】

- ・テレビやエリアメールでの避難情報が阿武隈川流域となっていたが、どの辺りまでが流域にあたるのが分からなく、避難するか迷った。地区名などがわかると避難しやすいと思った。(30代)
- ・避難する時に車で移動したが道路土手の土砂崩れが何箇所もあり通行出来ない所があつて困った。(50代)
- ・地域の避難場所が河川の近くで避難を迷った。(50代)
- ・避難場所が遠く(約4km先)、水災のため今回氾濫した川を渡って行かなければ指定された避難場所に行けないのは問題があるため近くに避難場所を作っていただくと大変助かる。(60代)
- ・家から出るな、あるいは避難の指示が出されている中で、川の様子を見には行けないので、大きな川の流れ以外の河川のモニタリング情報が県関連のウェブページ上で公開してほしい(例えば塩野川の水位等)。(60代)

【避難所において困ったこと】

- ・避難所ではプライバシーがない状態のため、長時間いることができなかった。(50代)
- ・避難指示が出た地域の世帯数に対して避難所の収容人数が全然足りず避難できない。(60代)
- ・避難所に指定された体育館に、毛布、座布団等がなくて、後から避難して来た同居家族に持ってきてもらい、寒さをしのいだ。またこのような避難勧告が出た場合、体育館に行くかどうかは家族と良く話し合う。(70代)

【避難をためらった理由】

- ・今回の台風では避難場所の方から水が上がって来ており、深夜であることもあり、避難するリスクがかなり高い状況であった。(20代)
- ・避難の際、1才児が高熱を出しており、避難所の大勢の人の中には行けず、自身も妊娠中のため避難所への避難は断念した。自宅2階へ避難するも川の水位が上がり身の危険を感じ、職場へ避難させてもらった。乳児や(発熱中の)妊婦など安心して避難できる場所をもう少し増やしてほしいです。(30代)
- ・避難所が1箇所しかなく、入れないだろうと思い、家に居ることも危険と考えましたが、車での移動にも危険が伴うだろうことも予想されたのでずっと自宅で夜を過ごしました。(60代)
- ・雨の降りしきる真夜中に、老人夫婦が避難することは、かえって危険ではないかというためらいがあった。更に持病の高血圧が悪化するのではないかと懸念された。(70代)
- ・ペットがいるため、避難所に行けず、友人の所に行きました。ペットと同行避難が出来ると安心です。(70代)

【情報の伝達・取得について困ったこと】

- ・台風19号の時、地元出身ではなく、エリアメールに記載された地域の場所が自宅のところなのかよくわからなかった。こまかく、他の地域から来た人でもわかるようなエリアメールの出し方をしてほしい。(30代)
- ・雨と風で防災無線の内容がきちんと聞きとれなかったもので、ホームページで調べたがどこにのっているのか分からなかった。(30代)
- ・エリアメールで知らせていただけるのは、ありがたいが、頻発されるとどれが重要なのか分かりにくくなるように思われる。(40代)

- ・避難場所までの交通事情がわからずにどの道路が一番安全か迷った。(50代)
- ・エリアを一律にして対応しているため、真にせまった感覚が無った。どの場所を優先させるか。パワーシフトを考えた対応が必要でないか。情報に危機感が感じられない。ただ情報を出せばいいんだという感がある。(60代)
- ・消防団の車が鐘を鳴らしながら通ったが、“火の用心”程度のもので、緊急性は感じられなかった。もっと強く避難するようスピーカーで伝える、個別に家を回って言われれば、避難したと思う。今後は、人を当てにしないで、早目に避難するよう心がけていきたい。(60代)
- ・災害が夜の場合を問わず、堤防破壊などがありそうな時は、水が流れ出す前に流れ出す方向の地域の人達に車等（消防団・役所の人）を、大きな声で情報を発信してほしい。防災行政無線は雨の音でぜんぜん聞こえなかった。また、夜も眠っていると聞こえない。(60代)

問47. 今回の災害や今後の災害対策に関して、福島県に対するご意見・ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください(自由記載)。

代表的な回答は以下のとおり。

【河川の整備に関する指摘・要望】

- ・河川の越水、溢水に対する処置を早急をお願いしたい。(50代)
- ・遊水池の面積拡大。阿武隈川の面積拡大。川底の整備。遊水地のポンプ場の整備。(50代)
- ・早く次に備えて対処してほしい。川の底を深くする、堤防を上げるなど早急な工事を望みます。(50代)

【避難所の整備に関する指摘・要望】

- ・避難所の毛布がすぐになくなり固い床の家で一晩過ごした人が沢山いました。また季節柄日に日に寒くなり、避難所では寝られないことも多く、初日の時点で段ボール(下に敷く用)だけでももう少しあればと思いました。(30代)
- ・災害の避難する際に、動物(犬・猫)を飼っている家族の方は、車の中で過ごす避難になります。一家族の犬・猫も避難する際一緒に避難できる場所を確保してほしいです。(50代)
- ・避難所の開設数を増やしてほしいです。(60代)

【罹災証明、補助金に関する指摘・要望】

- ・災害後の行政の手続きが多すぎる。家の片付けをしながら、手続きも一緒にするのでとても大変だった。申請をもっと簡単にして欲しい(30代)
- ・床上で1m以上にならないと助成金が出ない。床も壁も、家財も台所、風呂場も浸水してしまっても、半壊扱いは納得いかない。基準があるのはわかっているが、浸水に関しての基準の見直しをしてほしい。(50代)
- ・商売をしている人が今回の災害で活用したと思うグループ補助金の申請、手続き等がかなり難しく、市職員商工会員さんも良くわからず、皆さん困っている状況だった。申請等わかりやすいものにしてほしいものです。(60代)

【仮設住宅に関する指摘・要望】

- ・今はみなし物件にいますが、みなし物件が終わってしまった時、どうしたらいいか今から不安です。家財など(車も)そろえるのにかなりお金を使ったので、引越すするのも金銭的にきびしい(30代)
- ・借上住宅は避難者が探した物件をタイムリーに引越し出来るよう対応して欲しい。市や県が決めるまでの時間がかかりすぎる。また、市や県が指定をする物件よりも避難している方に探してもらった方が手間も時間も費用もかからないし避難している方にとっても助かる事をわかってほしいと思います。(50代)
- ・借上住宅について。床上浸水し、とても住める状態ではないので早めに判断し、借上住宅の対応前に借りた方々にも、さかのぼって対応してもらいたい。4人家族で借上住宅の上限6万となっているが、ペットがいる場合、6万以下の物件が極端に少ない為、6万をこえる部分は個人負担など柔軟な対応をしてもらいたい。(60代)

【情報の伝達・取得に関する指摘・要望】

- ・避難所へ行きました。2日間お世話になり、ありがたく思っています。ただし言わせていただければ、1人毛布1枚で寒かったこと。食事はペットボトルとおにぎり1個、ぜいたくは言いませんが後にテレビなどでみていると、場所により大変差があったように思います。他の避難所などは、あたたかい食べ物などあったとのこと。それに情報がわかりません。若い方はスマートフォンなどで、知っていたようですが、私達年令の高い方はわかりませんでした。せめてテレビなど置いてほしいと思います。(60代)
- ・10月12日深夜、特に自宅周辺の状況がわからず不安だった時、消防団員の方からLINEで自宅周辺の

画像、動画を送ってもらい、情報が入り少し安心しました。台風第19号のような大きな災害の際、小さな町はTVでは情報を得られません。LINEやメールを活用した情報提供をお願いしたいです。(60代)

- ・自然災害は気象情報がなによりも大切になります。公共放送はなによりもたよりになりますが、地域によって災害の状況が違いますので地元の行政機関からの情報が市民を動かすものとなります。その中で防災無線は最もたよりにしていますが、屋外スピーカーでは大雨、大風のなかではほとんど聞きとれません。個別(家庭用)受信機の設置がなによりも大切になりますので全世帯に個別受信機を設置されますよう要望させていただきます。(70代)

【自治体、避難所運営者等への感謝の気持ち】

- ・地域の消防団が見廻り活動をして、早め早めの情報や警報を出してくれるためとてもありがたかった。(40代)
- ・初めての経験で、自宅に居住できなく1ヶ月間、避難所でお世話になりました。その間、たくさんの行政の方にお世話になり、子供も居た為子供達に優しくお声をかけて下さる職員さんもおり、ありがたい気持ちでいっぱいでした。経験してみて初めて、様々な支援があることを知りました。今現在も借り上げ住宅で生活させて頂き、安心して眠れています。ありがとうございます。(40代)
- ・被災後の手続きの説明が迅速かついい感じで感激しました。今後共よろしく願います。(70代)

IV 參考資料

4-1 アンケート調査票

台風第19号等での避難行動に関するアンケート

ご記入にあたってのお願い

- 1 必ず、封筒の宛名ご本人様に回答をお願いいたします。
- 2 調査票や封筒に氏名・住所を記入して頂く必要はありません。
- 3 回答には、濃いえんぴつか、黒または青のボールペン・万年筆をご使用ください。
- 4 回答方法は、あてはまる選択肢の番号を○で囲んで下さい。
- 5 ご自分の意見に近い選択肢がない場合は「その他（ ）」の選択肢の番号を○で囲み、（ ）の中にその具体的な内容をご記入ください。
- 6 設問によって回答していただく方が限られる場合があります。説明文や矢印に従ってお進みください。

すべての記入が終わりましたら、お忙しいところ恐縮ですが、

令和2年3月15日（日）までに

あなたご自身の状況についてお伺いします。

問1. あなたの年齢について教えてください。(○は1つ)

- | | | | |
|--------|--------|--------|----------|
| 1. 10代 | 3. 30代 | 5. 50代 | 7. 70代 |
| 2. 20代 | 4. 40代 | 6. 60代 | 8. 80代以上 |

問2. あなたの性別(自認する性)を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問3(1). 台風第19号が発生した10月12日時点で、あなたを含めて同居家族は何人でしたか。

あなたを含めて同居家族は()人

問3(2). 台風第19号が発生した10月12日時点で、あなたを含めた同居家族の中に、以下のような方々はいらっしゃいましたか。(○はいくつでも)

- | | | |
|--------|---------------|---------------|
| 1. 乳幼児 | 4. 高校生 | 7. 妊産婦 |
| 2. 小学生 | 5. 75歳以上の方 | 8. 当てはまる人はいない |
| 3. 中学生 | 6. 介護・介助が必要な方 | |

問4. 台風第19号が発生した10月12日時点での、あなたのご職業を教えてください。(○は1つ)

1. 給与所得者(フルタイム)	5. 年金生活者
2. 自営業	6. 無職
3. 臨時社員、職員・パート・アルバイトなど	7. 学生
4. 専業主婦/主夫	8. その他()

問5(1). 台風第19号が発生した10月12日時点の、あなたのお住まいの市町名を教えてください。(○は1つ)

1. 福島市	4. 須賀川市	7. 田村市	10. 本宮市	13. 石川町
2. 郡山市	5. 相馬市	8. 南相馬市	11. 川俣町	14. その他
3. いわき市	6. 二本松市	9. 伊達市	12. 塙町	()

問5(2). 台風第19号が発生した10月12日時点の、あなたのお住まいの地区名を教えてください。(大字単位でお書きください)

大字・町()

問6(1). 台風第19号が発生した10月12日に、あなたがお住まいになっていたご自宅は以下のどれですか。(○は1つ)

1. 平屋	4. 集合住宅の1階	7. その他
2. 2階建ての一軒屋	5. 集合住宅の2階	()
3. 3階建ての一軒屋	6. 集合住宅の3階以上	

問6(2). あなたがお住まいになっていたご自宅は、どのような造りですか。(○は1つ)

1. 木造	3. 鉄骨造	5. 分からない
2. 鉄筋コンクリート	4. その他()	

問7. あなたは以下の台風・豪雨の災害を経験しましたか。それぞれの災害について、最もあてはまるものに○を1つずつつけてください。

	経験 しなかった	経験したが特に 被害はなかった	家屋の一部に 被害があった	家屋に大きな 被害があった
① 昭和61年8月豪雨(8.5 水害)	1	2	3	4
② 平成元年台風13号	1	2	3	4
③ 平成10年8月末豪雨	1	2	3	4

問8. あなたは、今まで災害によって被害を受けたり、身近に危険を感じたりしたことはありますか。被害を受けたり危険を感じたりしたことがあるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 地震	5. 河川の氾濫	9. 雪崩	13. ガス爆発
2. 津波	6. 土砂崩れ・崖崩れ	10. 火山噴火	14. 火災
3. 台風(暴風雨)	7. 高潮	11. 落雷	15. その他()
4. 豪雨	8. 豪雪	12. 竜巻	16. 被害や危険を感じたことは無い

問9. 台風第19号発生前、あなたがお住まいの地域で洪水・浸水などの水害が発生すると思っていましたか。(○は1つ)

1. 被害を受けるような水害は絶対に起きないと思っていた
2. 被害を受けるような水害はたぶん起きないだろうと思っていた
3. 21世紀中に起きそうだと思っていた
4. ここ10年くらいの間に起きそうだと思っていた
5. 近いうちに起きそうだと思っていた
6. 水害が起こる場所とは知らなかった

問10. あなたのお住まいの地域の「ハザードマップ(水害)」を台風第19号発生前に見たことがありましたか。(○は1つ)

1. ハザードマップという言葉自体を知らなかった
2. ハザードマップという言葉は知っているが、自分の住んでいる地域にあることを知らなかった
3. ハザードマップ(水害)が自分の住んでいる地域に存在することを知っていたが、見たことはなかった
4. ハザードマップ(水害)を見たことはあるが、内容までは覚えていなかった
5. ハザードマップ(水害)を見て、内容も覚えていた
6. 住んでいる地域のハザードマップ(水害)はない

問11(1). あなたは「風水害時の避難場所」と「風水害時の避難所」の違いについて、台風第19号発生前に知っていましたか。(○は1つ)

※避難場所とは災害から命を守るために緊急的に避難する場所で、その場所でそのまま生活することは想定していません。

※避難所とは、自宅など生活の場を災害等で失った人が避難生活をするための施設です。

1. 知らなかった 2. 何となく知っていた 3. 知っていた 4. その他()

問11(2). あなたは「風水害の避難場所」について、台風第19号発生前に知っていましたか。(○は1つ)

1. 自分が避難場所に行く必要性があることを考えたことはなかった
2. 避難場所に行く必要性があることは知っていたが、避難場所がどこか知らなかった
3. 「たぶんここだろう」という見当はついていた
4. 広報・ハザードマップ・訓練などで正確に知っていた

問11(3). あなたは「風水害時の避難所」について、台風第19号発生前に知っていましたか。(○は1つ)

1. 自分が避難所に行く必要性があることを考えたことはなかった
2. 避難所に行く必要性があることは知っていたが、避難所がどこか知らなかった
3. 「たぶんここだろう」という見当はついていた
4. 広報・ハザードマップ・訓練などで正確に知っていた

問12. あなたは「風水害時の避難計画」を、台風第19号発生前に立てていましたか。(○は1つ)

1. 自分が災害時に避難する必要性があることを考えていなかった
2. 災害時の具体的な避難方法や避難場所についてほとんど考えていなかった
3. 計画まではなかったが、大まかな避難の場所や方法は考えていた
4. 災害時の避難方法・避難場所について明確に計画を立てていた

問13. あなたは「お住まいの地域での防災訓練」に、台風第19号発生前に参加したことがありますか。(○は1つ)

1. 参加したことがなかった 4. ほぼ毎年のように参加していた
2. 参加したことはめったになかった 5. 地域で防災訓練を行っていること自体を知らなかった
3. 何年かごとに参加していた 6. 地域で防災訓練は行っていない

問14(1). あなたは、台風第19号発生前に気象に関する以下の用語を知っていましたか。知っていたものに○を付けてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|---------|-------------|
| 1. 大雨警報 | 3. 洪水警報 | 5. 土砂災害警戒情報 |
| 2. 大雨特別警報 | 4. 暴風警報 | 6. 知らなかった |

問14(2). あなたは、台風第19号発生前に住民避難に関する以下の用語を知っていましたか。知っていたものに○を付けてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 避難準備・高齢者等避難開始 | 5. 警戒レベル4(すみやかに避難) |
| 2. 避難勧告 | 6. 警戒レベル5(災害がすでに発生しており、命を守るための最善の行動をとる) |
| 3. 避難指示(緊急) | 7. 知らなかった |
| 4. 警戒レベル3(高齢者等はすみやかに避難) | |

問15(1). あなたは、これまでの生活において防災に関する知識を得る機会や学ぶ機会があったと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|-----------|
| 1. なかった | 2. 多少あった | 3. 十分にあった |
|---------|----------|-----------|

→「1.なかった」を選択した場合は、5ページの間16へお進みください。

問15(2). 問15(1)で「2. 多少あった」又は「3. 十分にあった」を選んだ方は、これまでの生活において防災に関する知識を得る機会や学ぶ機会を活用していましたか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|-----------|----------------|
| 1. 活用しなかった | 2. 多少活用した | 3. 可能な限り活用してきた |
|------------|-----------|----------------|

台風第 19 号が上陸した 10 月 12 日、雨が降る前のあなたの行動についてお尋ねします。

問16. あなたは雨が降り出す前には、台風第 19 号についてどのように考えていましたか。(○はいくつでも)

1. たいした被害はないと思った
2. 暴風による被害を警戒していた
3. 水害が起きるかもしれないと思った
4. 水害が起きるとしても過去に経験した範囲に収まるだろうと考えていた
5. 水害が起きるとしても住宅のかさ上げ等の対策をしていたので大丈夫と考えていた
6. 過去の水害の後に堤防強化などの対策がとられたので大丈夫と考えていた
7. 被害が出そうなので、台風の影響が強まる前に避難が必要と考えていた

問17. あなたは台風第 19 号の情報を雨が降り出す前にはどこから入手していましたか。(○は主な入手源を3つまで)

なお、その中で最も重視したものについては、◎をつけてください。(◎は1つ)

- | | |
|----------------------------|--|
| 1. テレビ | 9. 家族・友人・知人等 |
| 2. ラジオ(自治体が貸与する防災ラジオは含まない) | 10. 消防団・自主防災組織・民生委員等 |
| 3. 新聞 | 11. インターネット |
| 4. スマートフォンのアプリ | 12. SNS (Twitter , facebook , LINE など) |
| 5. 市町村が発信する防災メール(エリアメール) | 13. その他() |
| 6. 市町村が発信する防災メール(登録メール) | 14. 情報は入手していなかった |
| 7. 戸別受信機(自治体が貸与する防災ラジオを含む) | 15. 覚えていない・分からない |
| 8. 防災行政無線(屋外スピーカー) | |

問18. 台風第 19 号に対して、雨が降り出す前に何らかの行動をしていましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 普段より詳しく気象に関わる情報を確認した | 7. ハザードマップを確認した |
| 2. 家族・親戚と連絡をとり話をした | 8. 避難所又は避難場所とそのルートを確認した |
| 3. 友人・知人と連絡をとり話をした | 9. 外出の予定を変更した |
| 4. 食料や懐中電灯など非常時の物品を準備した | 10. その他() |
| 5. 住宅の補強(窓ガラスの補強など)を行った | 11. 特になにもしていない |
| 6. 家具や大切なものを上階や高いところに上げた | |

台風第19号が上陸した10月12日、雨が降り出してからのあなたの行動についてお尋ねします。

問19(1). 台風第19号では様々な「気象警報」が発表されました。あなたが入手した「気象警報」を全て選んで下さい。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|---------------------|-----------------|
| 1. 暴風警報 | 4. 洪水警報 | 7. 覚えていない・分からない |
| 2. 大雨警報 | 5. 土砂災害警戒情報 | |
| 3. 大雨特別警報 | 6. 気象警報が出たことは知らなかった | |

→「6. 気象警報が出たことは知らなかった」又は「7. 覚えていない・分からない」を選択した場合は、問20(1)へお進みください。

問19(2). 問19(1)で「1. 暴風警報」～「5. 土砂災害警戒情報」を選んだ方は、「気象警報」をどこから入手していましたか。(○は主な入手源を3つまで)

- | | |
|----------------------------|-------------------------------------|
| 1. テレビ | 8. 防災行政無線(屋外スピーカー) |
| 2. ラジオ(自治体が貸与する防災ラジオは含まない) | 9. 家族・友人・知人等 |
| 3. 新聞 | 10. 消防団・自主防災組織・民生委員等 |
| 4. スマートフォンアプリ | 11. インターネット |
| 5. 市町村が発信する防災メール(エリアメール) | 12. SNS(Twitter, facebook, LINE など) |
| 6. 市町村が発信する防災メール(登録メール) | 13. その他() |
| 7. 戸別受信機(自治体が貸与する防災ラジオを含む) | 14. 覚えていない・わからない |

問20(1). 以下の「避難情報」のうち、あなたの住んでいる地域が対象となったものはどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 避難準備・高齢者等避難開始 | 4. 避難情報は出ていない |
| 2. 避難勧告 | 5. 覚えていない・分からない |
| 3. 避難指示(緊急) | |

→「4. 避難情報は出ていない」又は「5. 覚えていない・分からない」を選択した場合は、7ページ問21へお進みください。

問20(2). 問20(1)で「1. 避難準備・高齢者等避難開始」～「3. 避難指示(緊急)」を選んだ方は、「避難情報」をどこから入手していましたか。(○は主な入手源を3つまで)

1. テレビ	8. 防災行政無線(屋外スピーカー)
2. ラジオ(自治体が貸与する防災ラジオは含まない)	9. 家族・友人・知人等
3. 新聞	10. 消防団・自主防災組織・民生委員等
4. スマートフォンアプリ	11. インターネット
5. 市町村が発信する防災メール(エリアメール)	12. SNS(Twitter, facebook, LINE など)
6. 市町村が発信する防災メール(登録メール)	13. その他()
7. 戸別受信機(自治体が貸与する防災ラジオを含む)	14. 覚えていない・わからない

問21. あなたはご自宅が被災する前に避難しましたか。(○は1つ)

※ ここでいう「避難」とは、避難場所など自宅以外の安全な場所へ移動することのほか、自宅やマンションなどの上階などに移動した場合も含まれます。

1. 避難した	2. 避難しなかった
---------	------------

→「2.避難しなかった」を選択した場合は、9ページの問29へお進みください。

問22. 問21で「1. 避難した」を選んだ方は、最終的にどこに避難しましたか。(○は1つ)

※避難場所とは災害から命を守るために緊急的に避難する場所で、その場所でそのまま生活することは想定していません。

※避難所とは、自宅など生活の場を災害等で失った人が避難生活をするための施設です。

1. 避難場所	3. 親戚・知人宅	5. 自宅やマンションなどの上階
2. 避難所	4. その他の建物	6. その他()

問23. 問21で「1. 避難した」を選んだ方は、避難した理由について教えてください。(○はいくつでも)
なお、避難する決め手となった理由については、◎をつけてください。(◎は2つまで)

1. 雨の降り方が激しく身の危険を感じたから	8. 近所の人から避難を始めたから
2. 河川の水位が上がっているのを見たから	9. 避難準備・高齢者等避難開始が発令されたから
3. 自宅の近くなどで急に水が上がってきたから	10. 避難勧告が発令されたから
4. 同居の家族に避難しようと言われたから	11. 避難指示(緊急)が発令されたから
5. 別居の家族に避難を勧められたから	12. 大雨警報が発表されたから
6. 近所の人や消防団員などに避難を勧められたから	13. 洪水警報が発表されたから
7. テレビやインターネットなどで雨量や河川の水位などの情報を得たから	14. 大雨特別警報が発表されたから
	15. その他()

問24. 問21で「1. 避難した」を選んだ方は、避難を開始したおおまかな時間を教えてください。

※24 時間表記でお答えください。

1. 10月12日()時頃 2. 10月13日()時頃 3. 覚えていない・分からない

問25. 問21で「1. 避難した」を選んだ方は、誰と避難しましたか。(1の場合○は1つ、1以外の場合○はいくつでも)

1. 1人で避難した 2. 家族など同居者 3. 近隣住民 4. その他()

問26. 問21で「1. 避難した」を選んだ方は、避難先から最初に自宅などへ戻った大まかな時間を教えてください。

※24 時間表記でお答えください。

※自宅やマンションなどの上階へ避難した方は、自宅などの下の階へ最初に戻った大まかな時間を教えてください。

1. 10月12日()時頃 4. 戻れていない
2. 10月13日()時頃 5. 覚えていない・分からない
3. 10月14日以降()日頃

→「4. 戻れていない」を選択した場合は、8ページの間28へお進みください。

問27. 問26で「4. 戻れていない」以外を選んだ方は、避難先から自宅などへ最初に戻る決め手となった理由を教えてください。(○は2つまで)

※自宅やマンションなどの上階へ避難した方は、自宅などの下の階へ戻ったきっかけを教えてください。

1. 自宅周辺の避難情報が解除されたから 7. 他の避難者が自宅へ戻ったから
2. 大雨特別警報が解除されたから 8. 家族と相談して決めた
3. 大雨警報が解除されたから 9. 避難先での生活がきびしかったから
4. 洪水警報が解除されたから 10. 自宅の状況が心配で見に帰りたかったから
5. 雨がやんだから 11. その他()
6. 近くの河川の水位が下がったから

問28. 問22で「5. 自宅やマンションなどの上階」を選んだ方は、自宅やマンション以外へ避難しなかった理由について教えてください。(〇はいくつでも)

なお、自宅やマンション以外へ避難しない決め手となった理由については、◎をつけてください。(◎は2つまで)

→問22で「5. 自宅やマンションなどの上階」以外を選んだ方は、10ページの間32へお進みください。

1. 上階への避難で安全を確保できると考えていたため
2. 自宅が被害に遭うとは思わなかったから
3. 雨の降り方や川の水位からみて、自宅は安全だと判断したから
4. テレビやインターネットの雨量や水位などの情報から、外に避難するより自宅の方が安全と判断したから
5. 近所の人は誰も自宅の外へ避難していなかったから
6. 夜だったから
7. 誰からも自宅以外へ避難することを勧められなかったから
8. テレビなどで自宅の上階への避難で身の安全を確保することが伝えられていたから
9. 自宅以外へ避難する方がかえって危険だと思ったから
10. 自宅以外へ避難することを考えた時は、既に危険な状態になっていたから
11. 避難場所での滞在が不安だったから
12. ペットを飼っていたから
13. 過去に経験した水害の範囲に収まると思ったから
14. 避難勧告や避難指示(緊急)が発令されたことを知らなかったから
15. 大雨警報や大雨特別警報が発表されたことを知らなかったから
16. 自宅以外へ避難することは考えなかった
17. その他()

→10ページの間32へお進みください。

問29. 問21で「2. 避難しなかった」を選んだ方は、避難しなかった理由について教えてください。(〇はいくつでも)

なお、避難しなかった決め手となった理由については、◎をつけてください。(◎は2つまで)

1. 自宅が被害に遭うとは思わなかったから
2. 雨の降り方や川の水位からみて自宅は安全だと判断したから
3. テレビやインターネットの雨量や水位などの情報から安全だと判断したから
4. 近所の人は誰も避難していなかったから
5. 夜だったから
6. いざとなれば2階などに逃げればよいと思ったから(2階などには逃げなかった)
7. 誰からも避難を勧められなかったから
8. 避難する方がかえって危険だと思ったから
9. 避難を考えた時は、既に危険な状態になっていたから
10. 避難場所での滞在が不安だったから
11. ペットを飼っていたから
12. 過去に経験した水害の範囲に収まると思ったから
13. 避難勧告や避難指示(緊急)が発令されたことを知らなかったから
14. 大雨警報や大雨特別警報が発表されたことを知らなかったから
15. 避難することは考えなかった
16. その他()

問30. 問21で「2. 避難しなかった」を選んだ方は、周囲からの避難の呼びかけはありましたか。(〇はいくつでも)

1. 同居している家族・親戚から避難の呼びかけがあった
2. 別居している家族・親戚から避難の呼びかけがあった
3. 近所の人や友人・知人から避難の呼びかけがあった
4. 役場職員や消防団員等から避難の呼びかけがあった
5. 避難の呼びかけは特になかった
6. その他()

問31. 問21で「2. 避難しなかった」を選んだ方は、どのようなきっかけがあれば、「避難した」と思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. もっと危機感のある避難情報の提供 | 6. 近所の人や友人・知人からの呼びかけ |
| 2. 役所等の広報車の呼びかけ | 7. 役場職員や消防団員等からの呼びかけ |
| 3. 防災無線の呼びかけ | 8. テレビなどからの切迫感のある呼びかけ |
| 4. 同居家族からの呼びかけ | 9. その他() |
| 5. 同居以外の家族・親戚からの呼びかけ | 10. 避難はしない |

台風第19号から約2週間後、10月25日に福島県内では一部の地域に「大雨警報」や「洪水警報」が発表されました。10月25日のあなたの状況についてお尋ねします。

問32. あなたが入手した「気象警報」を全て選んで下さい。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|------------------------------------|
| 1. 大雨警報 | 4. 気象警報は発表されたが自分の住んでいる地域には発表されなかった |
| 2. 洪水警報 | |
| 3. 気象警報は発表されていない | 5. 覚えていない・分からない |

問33. 10月25日に、あなたが入手した「避難情報」を全て選んで下さい。(○はいくつでも)

※10月25日に福島県内では、一部の地域に「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」、「避難指示(緊急)」が発令されました。

- | | |
|------------------|------------------------------------|
| 1. 避難準備・高齢者等避難開始 | 5. 避難情報は発令されたが自分の住んでいる地域には発令されていない |
| 2. 避難勧告 | |
| 3. 避難指示(緊急) | 6. 覚えていない・分からない |
| 4. 避難情報は発令されていない | |

問34. あなたはご自宅が被災する前に避難しましたか。

※ここでいう「避難」とは、避難場所など自宅以外の安全な場所へ移動することのほか、自宅の上階などに移動した場合も含まれます。

- | | | |
|---------|------------|-----------------------|
| 1. 避難した | 2. 避難しなかった | 3. 台風第19号による避難を継続していた |
|---------|------------|-----------------------|

→「2.避難しなかった」を選択した場合は、13ページの間42へお進みください。

→「3.台風第19号により避難を継続していた」を選択した場合は、14ページの間43へお進みください。

問35. 問34で「1. 避難した」を選んだ方は、最終的にどこに避難しましたか。(○は1つ)

※避難場所とは災害から命を守るために緊急的に避難する場所で、その場所でそのまま生活することは想定していません。

※避難所とは、自宅など生活の場を災害等で失った人が避難生活をするための施設です。

- | | | |
|---------|-----------|------------------|
| 1. 避難場所 | 3. 親戚・知人宅 | 5. 自宅やマンションなどの上階 |
| 2. 避難所 | 4. その他の建物 | 6. その他() |

問36. 問34で「1. 避難した」を選んだ方は、避難した理由について教えてください。(○はいくつでも)
 なお、避難する決め手となった理由については、◎をつけてください。(◎は2つまで)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| 1. 雨の降り方が激しく身の危険を感じたから | 8. 近所の人々が避難を始めたから |
| 2. 河川の水位が上がっているのをみたから | 9. 避難準備・高齢者等避難開始が発令されたから |
| 3. 自宅の近くなどで急に水が上がってきたから | 10. 避難勧告が発令されたから |
| 4. 同居の家族に避難しようと言われたから | 11. 避難指示(緊急)が発令されたから |
| 5. 別居の家族に避難を勧められたから | 12. 大雨警報が発表されたから |
| 6. 近所の人や消防団員などに避難を勧められたから | 13. 洪水警報が発表されたから |
| 7. テレビやインターネットで雨量や河川の水位などの情報を得たから | 14. 台風第19号の経験で避難が必要と考えたから |
| | 15. その他() |

問37. 問34で「1. 避難した」を選んだ方は、避難を開始したおおまかな時間を教えてください。
 ※24 時間表記でお答えください。

- | | | |
|----------------|----------------|-----------------|
| 1. 10月25日()時頃 | 2. 10月26日()時頃 | 3. 覚えていない・分からない |
|----------------|----------------|-----------------|

問38. 問34で「1. 避難した」を選んだ方は、誰と避難しましたか。(1の場合○は1つ、1以外の場合○はいくつでも)

- | | | | |
|------------|------------|---------|-----------|
| 1. 1人で避難した | 2. 家族など同居者 | 3. 近隣住民 | 4. その他() |
|------------|------------|---------|-----------|

問39. 問34で「1. 避難した」を選んだ方は、避難先から最初に自宅やマンションなどへ戻った大まかな時間を教えてください。

※24 時間表記でお答えください。

※自宅やマンションなどの上階へ避難した方は、自宅などの下の階へ最初に戻った大まかな時間を教えてください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 10月25日()時頃 | 4. 戻れていない |
| 2. 10月26日()時頃 | 5. 覚えていない・分からない |
| 3. 10月27日以降()日頃 | |

→「4. 戻れていない」を選択した場合は、12ページの間41へお進みください。

問40. 問39で「4. 戻れていない」以外を選んだ方は、避難先から自宅へ最初に戻る決め手となった理由を教えてください。(○は2つまで)

※自宅やマンションなどの上階へ避難した方は、自宅の下の階へ戻ったきっかけを教えてください。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 自宅周辺の避難情報が解除されたから | 6. 他の避難者が自宅へ戻ったから |
| 2. 大雨警報が解除されたから | 7. 家族と相談して決めた |
| 3. 洪水警報が解除されたから | 8. 避難先での生活がきびしかったから |
| 4. 雨がやんだから | 9. 自宅の状況が心配で見に帰りたかったから |
| 5. 近くの河川の水位が下がったから | 10. その他() |

問41. 問35で「5. 自宅やマンションなどの上階」を選んだ方は、自宅やマンション以外へ避難しなかった理由について教えてください。(〇はいくつでも)

なお、自宅やマンション以外へ避難しない決め手となった理由については、◎をつけてください。(◎は2つまで)

→問35で「5. 自宅やマンションなどの上階」以外を選んだ方は、14ページの間43へお進みください。

1. 上階への避難で安全を確保できると考えていたため
2. 自宅が被害に遭うとは思わなかったから
3. 雨の降り方や川の水位からみて自宅は安全だと判断したから
4. テレビやインターネットの雨量や水位などの情報から、外に避難するより自宅の方が安全と判断したから
5. 近所の人は誰も自宅の外へ避難していなかったから
6. 夜だったから
7. 誰からも自宅以外へ避難することを勧められなかったから
8. テレビなどで自宅の上階への避難で身の安全を確保することが伝えられていたから
9. 自宅以外へ避難する方がかえって危険だと思ったから
10. 自宅以外へ避難することを考えた時は、既に危険な状態になっていたから
11. 避難場所での滞在が不安だったから
12. ペットを飼っていたから
13. 過去に経験した水害の範囲に収まると思ったから
14. 避難勧告や避難指示(緊急)が発令されたことを知らなかったから
15. 大雨警報が発表されたことを知らなかったから
16. 自宅以外へ避難することは考えなかった
17. その他()

→14ページの間43へお進みください

問42. 問34で「2. 避難しなかった」を選んだ方は、避難しなかった理由について教えてください。(〇はいくつでも)

なお、避難しなかった決め手となった理由については、◎をつけてください。(◎は2つまで)

1. 住んでいる地域に被害が無かったから
2. 自宅が被害に遭うとは思わなかったから
3. 雨の降り方や川の水位からみて自宅は安全だと判断したから
4. テレビやインターネットの雨量や水位などの情報からみて、自宅は安全だと判断したから
5. 近所の人は誰も避難していなかったから
6. 夜だったから
7. いざとなれば2階などに逃げればよいと思ったから(2階などには逃げなかった)
8. 誰からも避難を勧められなかったから
9. 避難する方がかえって危険だと思ったから
10. 避難を考えた時は、既に危険な状態になっていたから
11. 避難場所での滞在が不安だったから
12. ペットを飼っていたから
13. 過去に経験した水害の範囲に収まると思ったから
14. 避難勧告や避難指示(緊急)が発令されたことを知らなかったから
15. 大雨警報が発表されたことを知らなかったから
16. 避難することは考えなかった
17. その他()

台風第 19 号や 10 月 25 日の大雨による被害についてお尋ねします。

※台風第 19 号と 10 月 25 日の大雨でそれぞれ被害があった場合は、被害の大きい選択肢を選んでください。

問43. あなたの自宅について、浸水による被害はありましたか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|-------------------|-------------|
| 1. 流出・全壊した | 3. 床上浸水した(1階まで浸水) | 5. 敷地内は浸水した |
| 2. 床上浸水した(2階まで浸水) | 4. 床下浸水した | 6. 被害はなかった |

問44. あなたの自宅について、土砂による被害はありましたか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|----------|------------|
| 1. 全壊 | 2. 半壊 | 3. 軽微な被害 | 4. 被害はなかった |
|-------|-------|----------|------------|

問45. 台風第 19 号又は 10 月 25 日大雨の後、ご自宅の被害に対して役所から示された「罹災証明書の判定内容」をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|---------|---------------------|
| 1. 全壊 | 3. 半壊 | 5. 被害なし |
| 2. 大規模半壊 | 4. 一部損壊 | 6. 役所から判定結果をもらっていない |

その他

問46. 台風第19号や10月25日の大雨の際に、避難することで困ったこと、避難をためらったことがありましたら、ご記入ください(自由記載)。

問47. 今回の災害や今後の災害対策に関して、福島県に対するご意見・ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください(自由記載)。

以上でご回答いただく内容は終わりです。

ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。